



操作マニュアル

目次

1 システム概要	5
madric success の活用例.....	5
A's と連動の流れ.....	6
数量算出の CSV 保存.....	7
マスターについて.....	8
タイプとは.....	8
テンプレートとは.....	8
構成品とは.....	8
マスターを標準搭載.....	8
Madric Drive 保存.....	9
Madric Drive とは.....	9
Madric Drive を標準搭載.....	9
入門トレーニング.....	10
物件の読み込み.....	10
madric success の起動.....	10
見積書概要.....	11
新規マスター名.....	11
会社情報.....	11
担当者情報.....	13
見積書情報.....	14
タイプ.....	14
見積作成.....	14
見積書編集.....	15
見積書出力.....	16
事前チェック.....	16
詳細合計 (設定変更).....	16
詳細合計 (値引き逆算).....	17
印刷設定.....	17
印刷.....	18
見積書保存.....	19
madric success の終了.....	19
madric success の単独起動.....	20
新規マスター名.....	20
スタート画面.....	21
新規作成.....	21
開く.....	21
マスター設定.....	21
2 見積書概要	22
見積書情報.....	23
見積金額.....	24
会社情報.....	25
会社マスター編集.....	25
新規登録.....	26
既存更新.....	26
既存削除.....	26
担当者情報.....	27
担当者マスター編集.....	27
新規登録.....	28
既存更新.....	28
既存削除.....	28

タイプ.....	29
タイプマスター編集.....	29
構成確認.....	29
マスター設定.....	29
別名保存.....	30
見積作成.....	31
3 見積書作成	32
メイン画面.....	32
ファイル.....	33
新規.....	33
上書き保存.....	33
名前を付けて保存.....	33
数量更新.....	34
見積書概要.....	34
スタート画面へ戻る.....	34
終了.....	34
編集.....	35
明細修正.....	35
アンドゥ・リドゥ.....	36
明細上下移動.....	36
明細追加.....	37
明細入替.....	38
明細削除.....	39
メモ行挿入.....	39
任意入力.....	40
マスターへ反映・登録.....	41
マスターへ反映.....	41
マスターへ登録.....	41
出力.....	42
事前チェック.....	42
詳細合計.....	43
設定変更.....	43
値引き入力.....	44
値引き逆算.....	44
印刷設定.....	45
印刷形式.....	45
担当者電話番号 (連絡先).....	45
社判.....	45
確認印欄.....	45
内訳項目.....	46
備考欄.....	46
初期値に設定.....	46
ブラウザでプレビュー.....	47
A4 縦の例.....	47
A4 横の例.....	47
実行予算の例.....	47
ブラウザで印刷.....	48
PDF 保存.....	48
Excel 出力.....	49
見積書 A4 横の例.....	50
見積書 A4 縦の例.....	51

実行予算書 A4 横の例.....	52
Excel 出カ-カスタマイズ.....	53
ファイルの読み込み.....	53
カスタマイズ可能項目.....	54
書式設定.....	54
表紙のカスタマイズ.....	55
リンク設定.....	55
設定.....	56
マスター設定を開く.....	56
タイプ設定.....	56
タイプの切り替え.....	56
タイプ内のテンプレート変更.....	57
環境設定.....	58
基本設定.....	58
消費税設定.....	58
詳細合計設定.....	58

4 マスター設定 59

マスターの構成.....	59
マスターの管理.....	60
別名保存.....	60
名称編集.....	61
削除.....	61
明細マスター.....	62
明細の絞り込み.....	62
明細の上下移動.....	62
明細情報の修正.....	63
数量根拠設定.....	64
計算式の例.....	65
条件式設定.....	67
条件式.....	67
判定.....	67
明細の追加.....	68
明細の削除.....	68
Excel によるメンテナンス.....	69
エクスポート.....	69
編集用シート.....	70
追加用シート.....	70
上書き保存して閉じる.....	70
インポート.....	71
構成品マスター.....	72
構成品とは.....	72
構成品情報の修正.....	73
構成品の追加.....	73
構成品の削除.....	73
構成品の上下移動.....	73
構成品設定.....	74
関連付けの追加.....	74
関連付けの削除.....	74
関連付けの上下移動.....	74
構成品 CSV 設定.....	75
構成品名、単位.....	75
CSV ファイル.....	75
CSV ファイルの内容.....	75

条件.....	76
集計方法.....	76
構成品例-建築面積.....	77
構成品マスター.....	77
明細マスター.....	77
テンプレートマスター.....	78
タイプマスター.....	78
見積書作成.....	78
構成品例-建具 (引違 16520).....	79
構成品マスター.....	79
明細マスター.....	79
テンプレートマスター.....	80
タイプマスター.....	80
見積書作成.....	80
テンプレートマスター.....	81
テンプレートとは.....	81
テンプレート情報の修正.....	82
テンプレートの追加.....	82
テンプレートの削除.....	82
テンプレートの上下移動.....	82
テンプレート編集.....	83
明細追加.....	83
明細削除.....	84
明細上下移動.....	84
テンプレート数量根拠設定.....	85
タイプマスター.....	86
タイプとは.....	86
タイプ編集.....	87
タイプ、メモ.....	87
テンプレートの追加.....	87
テンプレートの削除.....	87
テンプレートの入替.....	88
タイプ追加.....	88
タイプ、メモ.....	88
テンプレート構成の設定.....	88
タイプ削除.....	89
タイプ上下移動.....	89
科目マスター.....	90
科目マスターの使用場面.....	90
科目マスター編集.....	91
科目追加.....	91
科目名変更.....	91
科目削除.....	92
科目上下移動.....	92
発注先マスター.....	93
発注先マスターの使用場面.....	93
発注先マスター編集.....	94
発注先情報の修正.....	94
発注先追加.....	94
発注先削除.....	95
発注先上下移動.....	95
単位マスター.....	96
単位マスターの使用場面.....	96
単位マスター編集.....	97
単位追加.....	97

単位名変更.....	97
単位削除.....	98
単位上下移動.....	98
インポート・エクスポート.....	99
エクスポート(PC保存).....	99
インポート(PCから).....	100

5 Madric Drive 保存 101

マスターの共有.....	102
エクスポート(クラウド保存).....	102
インポート(クラウドから).....	103
Madric Drive でマスター管理.....	104
見積データのクラウド保存.....	105
A's の保存終了時にアップロード.....	105
Madric Drive の既存プラン読み込み	105
madric success の起動.....	106
見積書保存.....	107
madric success の終了.....	107
A's を保存して終了.....	108
Madric Drive でインポート.....	109
Madric Drive でエクスポート.....	110
madric success で開く.....	111
PDF データのクラウド保存.....	112
A's の保存終了時にアップロード.....	112
Madric Drive の既存プラン読み込み	112
madric success の起動.....	113
PDF 保存.....	114
madric success の終了.....	114
A's を保存して終了.....	115
Madric Drive でインポート.....	116
Madric Drive で公開.....	117
コンテンツ追加.....	117
【管理者用】専用ページ.....	117
【お客様用】専用ページ-PC版.....	118
【お客様用】専用ページ-スマートフォン版.....	119
madric success 単独起動の場合.....	120
Madric Drive の起動.....	120
新規物件の作成.....	120
コンテンツのインポート.....	121
見積データのエクスポート.....	121
PDF データの公開.....	121

1 システム概要

madric success は、営業見積システムです。
 A's の数量算出と連携し、自動拾いにより、簡単に素早く見積書を作成できます。
 設定内容をまとめたマスターを使用し、タイプやテンプレートを切り替えながら、複数提案することが可能です。

madric success の活用例

■ プレゼンボードと同時に見積書を提示

A's でプレゼンボード作成



同じプランから見積書作成

No.	品名	数量	単価	金額
1	本体工事	1	式	25,055,693
2	設備工事	1	式	4,539,600
3	設備費	1	式	1,947,200
前引分				142,692
小計				32,000,000
消費税(10.0%)				388,800
合計金額				32,388,800

■ タイプ別に提案

木造 2 階建て タイプ 1

No.	品名	数量	単価	金額
1	本体工事	1	式	25,055,693
2	設備工事	1	式	4,539,600
3	設備費	1	式	1,947,200
前引分				142,692
小計				32,000,000
消費税(10.0%)				388,800
合計金額				32,388,800

標準搭載のマスターに
複数のタイプを登録済み

木造 2 階建て タイプ 2

No.	品名	数量	単価	金額
1	本体工事	1	式	29,999,600
2	設備工事	1	式	4,539,600
3	設備費	1	式	1,947,200
前引分				144,600
小計				36,528,000
消費税(10.0%)				3,652,800
合計金額				40,180,800


A's と連動の流れ

A's と連動させる場合は、以下の流れで操作します。

A's プラン入力

- ・A's にて、物件データ（プラン図、屋根伏図は必須）を入力します。
- ・数量算出は、madric success の起動時に自動実行されますので、A's で実行しなくてもかまいません。

madric success 起動

- ・クイックメニュー、またはメインメニューの （営業見積）をクリックします。

見積書概要、見積書作成

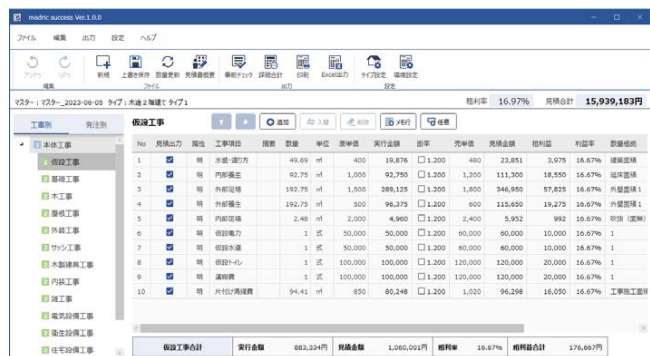
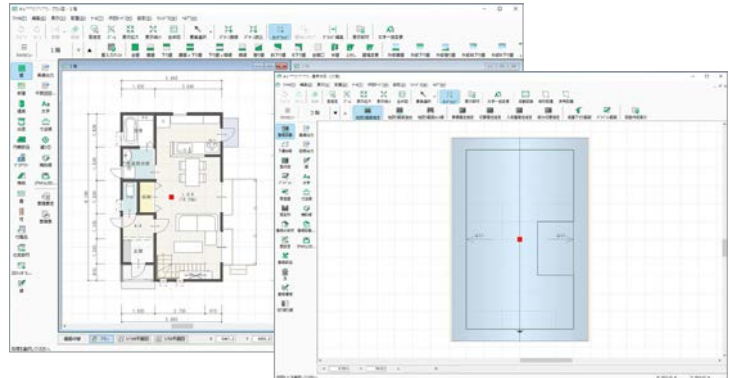
- ・見積書情報（見積名、工事名、有効期限など）会社情報、担当者情報を入力します。
- ・見積書作成を実行します。

見積書編集

- ・見積書を、必要に応じて編集します。
- ・明細追加、入替え、単価設定、メモ入力、値引き設定等が可能です。
- ・タイプ、テンプレートの切り替えにより、複数の見積書作成も可能です。

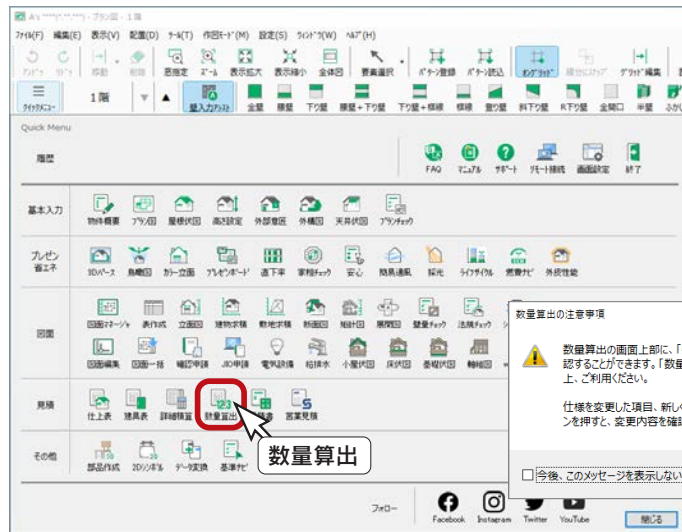
見積書出力、保存

- ・作成した見積書を出力します。
- ・保存することで、読み込んで編集することができます。



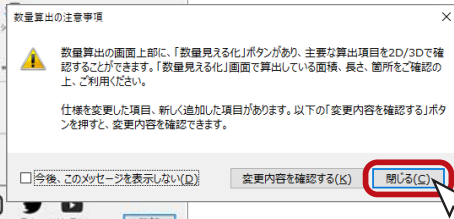
数量算出の CSV 保存

A's と madric success の連携では、A's の数量算出で自動的に保存される CSV ファイルを使用します。数量算出を起動すると、自動集計処理が実行され、数量算出項目が表示されますが、このとき、算出結果が一括で自動保存されます。

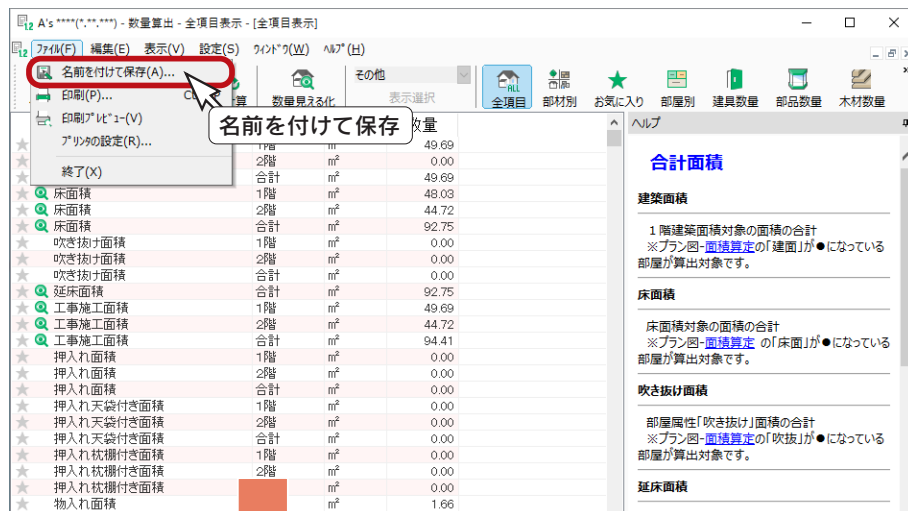


クイックメニュー、またはメインメニューの (数量算出) をクリックします。
 *メインメニューでは「見積・積算」タブにあります。

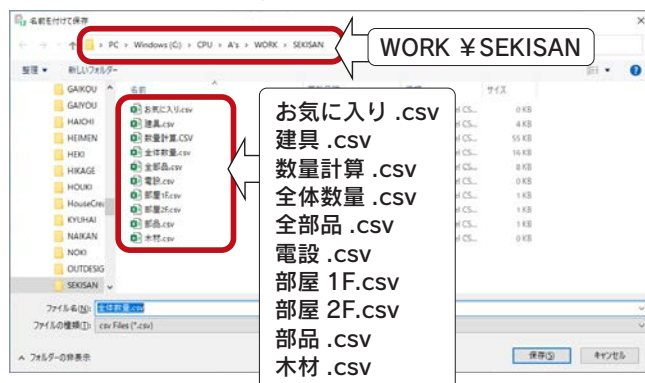
数量算出の注意事項が表示されるので、内容をご確認の上、「閉じる」をクリックしてください。
 数量算出の画面が表示されます。



閉じる



名前を付けて保存




WORK ¥ SEKISAN

- お気に入り.csv
- 建具.csv
- 数量計算.csv
- 全体数量.csv
- 全部品.csv
- 電設.csv
- 部屋 1F.csv
- 部屋 2F.csv
- 部品.csv
- 木材.csv

数量算出の画面で、「ファイル」⇒「名前を付けて保存」を選択すると、保存済みのファイルを確認できます。データは、A's インストール先の「WORK ¥ SEKISAN」フォルダーに、CSV 形式で保存されます。なお、「WORK ¥ SEKISAN」フォルダーのデータは、物件保存までの一時的なデータです。物件保存により、正式に保存されます。

madric success 起動時の数量算出実行、数量更新

A's から madric success を起動すると、数量算出が自動で実行され、CSV ファイルも自動で保存されます。また、madric success のメイン画面では  (数量更新) により、CSV ファイルも更新されます。

マスターについて

madric success では、A's の CSV ファイルとマスターを使用して、見積書を作成します。
 マスターとは、見積書作成に関する設定内容の一式です。
 タイプ、テンプレート、明細、構成品、単位などの各種設定が含まれます。

一つのシステムに複数のマスターを登録し、切り替えて使うこともできます。
 「〇〇マスター」と呼ぶものは、〇〇の設定をまとめたものです。

■ タイプとは

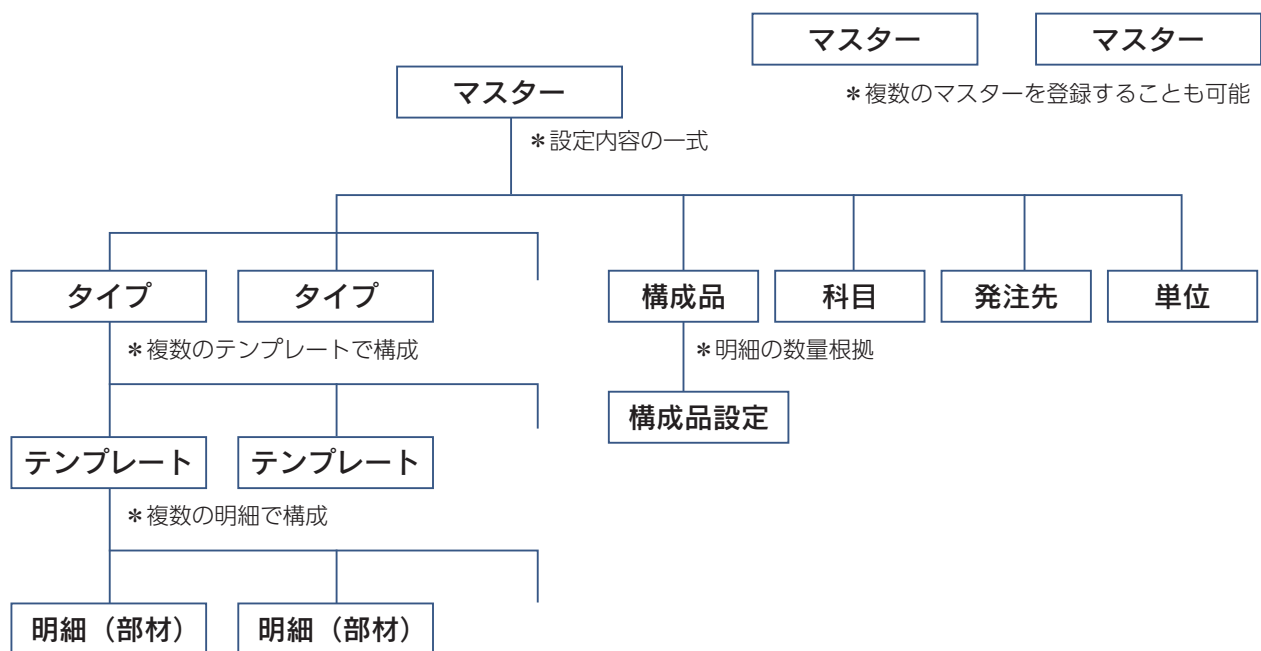
複数のテンプレートで構成される集まりです。
 見積書の明細一式がそろるように、テンプレートを構成します。

■ テンプレートとは

複数の明細で構成される集まりです。
 グレードや工事科目などに応じて作成します。

■ 構成品とは

A's の数量算出で自動的に保存される CSV ファイルの内容を指定の条件で絞込み、集計した数量情報です。
 明細の数量根拠として指定します。



マスターを標準搭載

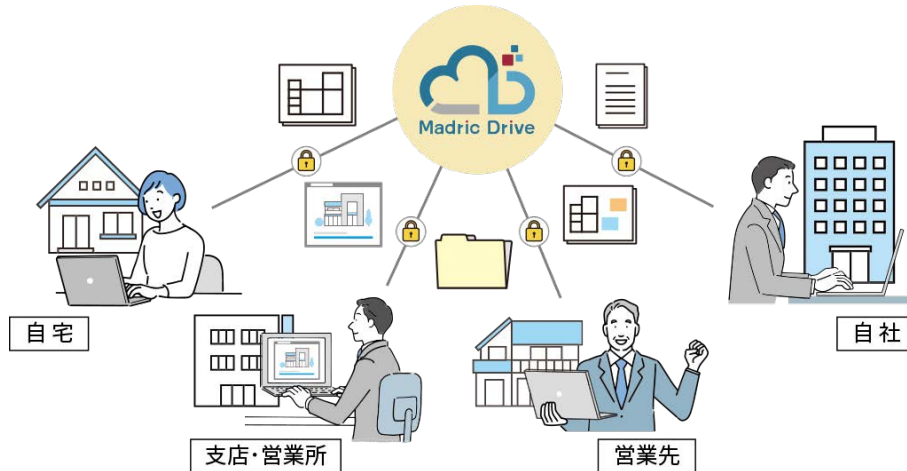
madric success には、マスターが標準搭載されています。
 マスターの作成作業をしなくても、すぐに見積書作成を実行することができます。
 マスターの作成・編集は自由にできますので、標準搭載のマスターを、自社仕様のマスターに編集することも可能です。

詳細は、第 4 章「マスター設定」をご覧ください。

Madric Drive 保存

Madric Drive とは

Madric Drive は、インターネット環境があればどこからでもアクセスができる、クラウド型データ共有サービスです。A's で入力した物件データを圧縮することなく、そのままクラウド上に保存・共有ができます。また、A's で作成した各種パースなどの画像データや、プレゼンボードデータをはじめ、Microsoft Office データ（Word、Excel、PowerPoint）や、JW-CAD などの汎用 CAD データも保存可能です。さらに、データ保存だけでなく、お施主様や協力業者向けに専用ページを公開して情報共有やコミュニケーションを図ることもできます。



BCP 対策やプライバシー面でも安心

ファイルや通信は暗号化されており、安全にデータのやり取りが可能です。データは国内の複数施設で保管されるため、バックアップも安心です。クラウド上にデータ保存されるため、BCP(事業継続計画)対策としても有効です。

Madric Drive を標準搭載

madric success には、Madric Drive が標準搭載されています。madric success の各種マスターやデータを、Madric Drive に保存でき、管理および共有できます。

* madric success の契約プランに応じて、Madric Drive の保存容量が異なります。



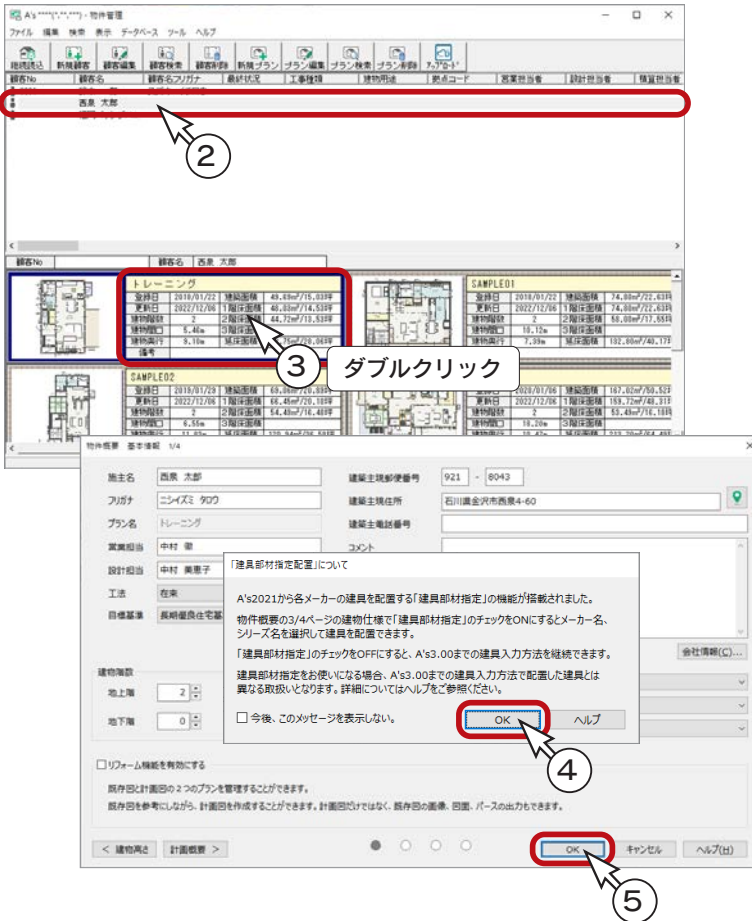
詳細は、第 5 章「Madric Drive 保存」をご覧ください。

入門トレーニング

madric success を初めてお使いになる方のために、起動から見積書出力までを、トレーニング形式で説明します。
A's に標準搭載されているサンプル物件、顧客「西泉太郎」のプラン⇒「トレーニング」を使用します。

ここではサンプル物件を使用していますが、プラン図、屋根伏図が入力済みであれば、どの物件を使用してもかまいません。

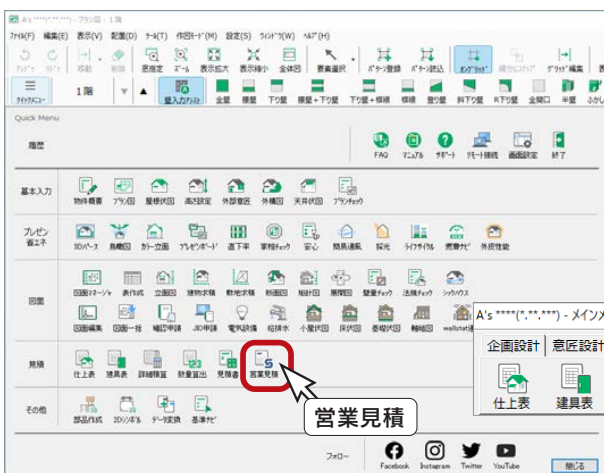
物件の読み込み



サンプル物件を読み込みましょう。

- ① A's を起動し、物件管理の画面を表示する
- ② サンプル物件の顧客「西泉太郎」をクリック
- ③ 「トレーニング」をダブルクリック
* プランの位置は異なる場合があります。
- ④ 「建具部材指定配置」についてメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上「OK」をクリック
* 物件概要が表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック
* プラン図の画面とメインメニューが表示されます。
動作設定により、プラン図は表示されない場合もあります。

madric success の起動



クイックメニュー、またはメインメニューの (営業見積) をクリックします。

* メインメニューでは「見積・積算」タブにあります。

見積・積算

営業見積

営業見積

見積書概要

A's から madric success を起動すると、見積書概要のダイアログが表示されます。
初回起動時は、新規マスター名の入力になります。

見積書概要

■ 新規マスター名

標準搭載の madric success オリジナルのマスターに、任意のマスター名を付けてください。
ここでは、日付を入力しています。

* マスター名は、マスター設定で変更できます。

! 最初に会社情報、担当者情報の登録を
会社情報、担当者情報は、初期設定されていません。
見積書の出力に必要な情報になりますので、以下で説明する手順で登録してください。

■ 会社情報

会社情報を新規登録します。

- ① 会社情報の「参照」をクリック
* 会社選択のダイアログが表示されます。
- ② 「マスター編集」をクリック
* 会社マスター編集のダイアログが表示されます。

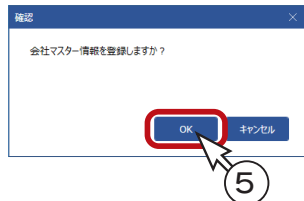
会社選択

会社マスター編集

- ③会社マスター情報を入力 (右の表を参照)
 - * 入力欄をクリックすると、入力できる状態になります。
 - * 御社の情報を入力してください。
 - 以下の例では、弊社の情報を入力しています。
- ④「登録」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ⑤「OK」をクリック
 - * 会社マスターに登録されます。

会社マスター情報

登録名	直接入力 (* 必須入力項目)
会社名	// (* 必須入力項目)
代表者	//
支店名	//
郵便番号	//
住所 1	郵便番号から自動入力 (修正可)
住所 2	直接入力
電話番号	//
FAX 番号	//
URL	//
メールアドレス	//
メモ 1	//
メモ 2	//
社判	画像データ (png ファイル) を準備し、「参照」ボタンから選択

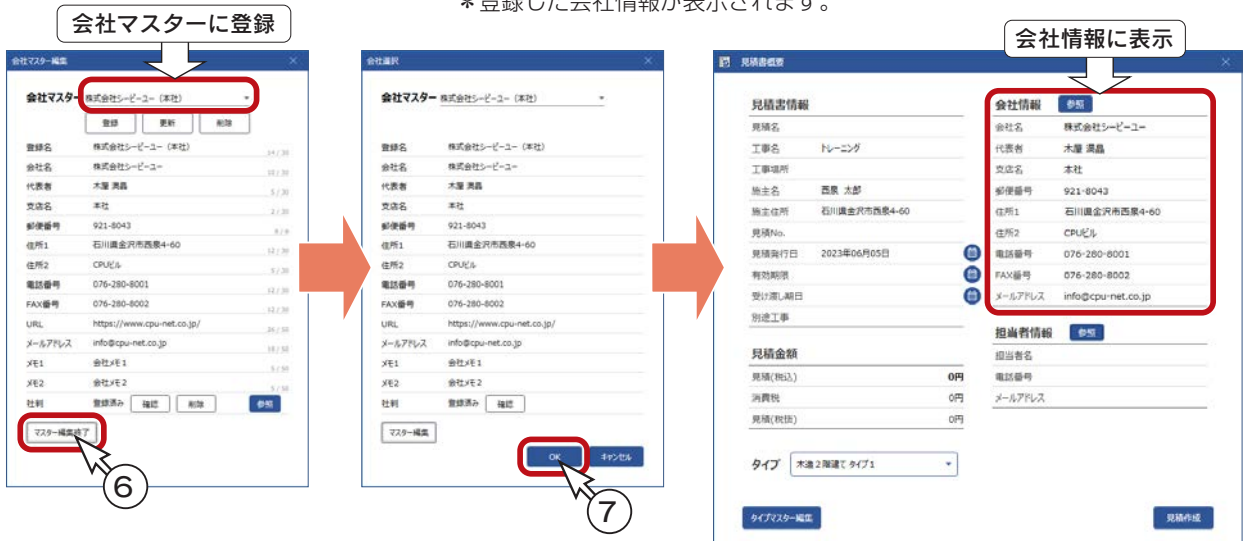


* 社判は、png ファイルのみ対応しています。透過した png ファイルを推奨します。

社判の例



- ⑥「マスター編集終了」をクリック
 - * 会社選択のダイアログに戻ります。
- ⑦「OK」をクリック
 - * 見積書概要のダイアログに戻ります。
 - * 登録した会社情報が表示されます。



■ 担当者情報

担当者情報を新規登録します。

- ① 担当者情報の「参照」をクリック
* 担当者選択のダイアログが表示されます。
- ② 「マスター編集」をクリック
* 担当者マスター編集のダイアログが表示されます。



担当者選択

担当者マスター編集

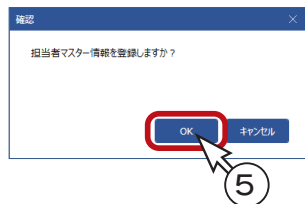


担当者マスター情報

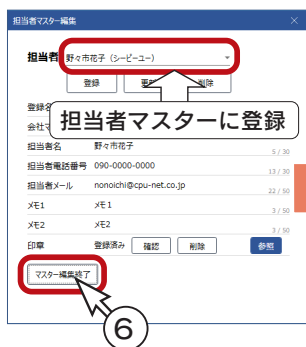
- ③ 担当者マスター情報を入力 (右の表を参照)
* 入力欄をクリックすると、入力できる状態になります。
- ④ 「登録」をクリック
* 確認のメッセージが表示されます。
- ⑤ 「OK」をクリック
* 担当者マスターに登録されます。

登録名	直接入力 (* 必須入力項目)
会社マスター	会社マスターから選択
担当者名	直接入力 (* 必須入力項目)
担当者電話番号	//
担当者メール	// (メールアドレスを入力)
メモ 1	//
メモ 2	//
印章	画像データ(png,jpg,gif ファイル)を準備し、「参照」ボタンから選択

印章の例



- ⑥ 「マスター編集終了」をクリック
- ⑦ 担当者選択のダイアログに戻るので、「OK」をクリック
* 見積書概要のダイアログに戻ります。
* 登録した担当者情報が表示されます。



■ 見積書情報

見積書情報は、直接入力します。A'sの物件概要から転記される項目もあります。
入力欄でカーソルが点滅します。入力欄は、クリックで切り替えてください。Tabキーでも切り替えが可能です。

入力例

見積書情報	
見積名	西泉太郎様邸新築工事
工事名	西泉太郎様邸新築工事
工事場所	石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
施主名	西泉 太郎
施主住所	石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
見積No.	001
見積発行日	2023年06月05日
有効期限	2023年06月末日
受け渡し期日	2023年12月末日
別途工事	外構工事

入力項目

見積名	直接入力（保存時のファイル名初期値）
工事名	物件概要から転記（直接入力も可）
工事場所	//
施主名	//
施主住所	//
見積 No.	直接入力
見積発行日	作成日を自動表示 (直接変更、📅でカレンダーから選択可)
有効期限	直接入力 (📅でカレンダーから選択可)
受け渡し期日	直接入力 (📅でカレンダーから選択可)
別途工事	直接入力

物件概要から転記

A'sの物件概要から、以下の項目を転記します。
() 内が物件概要の項目名です。

- ・ 工事名 (基本情報-プラン名)
- ・ 工事場所 (計画概要-敷地概要-住居表示)
- ・ 施主名 (基本情報-施主名)
- ・ 施主住所 (基本情報-建築主現住所)

見積書情報入力後は、
タイプを選択へ

■ タイプ

タイプは、登録済みのタイプマスターから選択します。
ここでは、「木造 2 階建て タイプ 1」を選択しています。

木造 2 階建て タイプ 1

■ 見積作成

見積書概要を入力後は、「見積作成」をクリックしてください。
見積書作成後、madric success のメイン画面が表示されます。

見積作成へ

見積作成

見積書編集

見積書概要ダイアログの「見積作成」をクリックすると、メイン画面が表示されます。
見積書を、必要に応じて編集します。

メイン画面

No	見積出力	属性	工事項目	摘要	数量	単位	原単価	実行金額	出率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量単位	テンプレート
1		明	仮設工事		1	式		883,334			1,060,001	176,667	16.67%		
2		明	基礎工事		1	式		1,167,260			1,402,712	235,452	16.79%		
3		明	木工事		1	式		5,205,576			6,347,310	1,141,734	17.99%		
4		明	屋根工事		1	式		340,770			405,838	65,066	16.03%		
5		明	外装工事		1	式		660,328			727,548	126,770	17.42%		
6		明	サッシ工事		1	式		1,124,880			1,124,880	187,480	16.67%		
7		明	木製建具工事		1	式		283,200			699,840	116,640	16.67%		
8		明	内装工事		1	式		335,438			402,798	67,360	16.72%		
9		明	雑工事		1	式		266,423			325,960	57,537	17.65%		
10		明	電気設備工事		1	式		551,500			670,300	118,800	17.72%		
11		明	衛生設備工事		1	式		960,000			1,152,000	192,000	16.67%		
12		明	住宅設備工事		1	式		850,000			1,020,000	170,000	16.67%		
本体工事合計								実行金額	12,663,677円	見積金額	15,339,183円	粗利率	17.21%	粗利益合計	2,655,506円

メイン画面の初期表示では、科目集計が表示されます。
左側のツリーから科目を選択すると、明細が表示されます。

No	見積出力	属性	工事項目	摘要	数量	単位	原単価	実行金額	出率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量単位	テンプレート
1	<input checked="" type="checkbox"/>	明	水盛・盛り方		49.69	㎡	400	19,876	<input type="checkbox"/> 1.200	480	23,851	3,975	16.67%	建築面積	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	明	内即養生		92.75	㎡	1,000	92,750	<input type="checkbox"/> 1.200	1,200	111,300	18,550	16.67%	延床面積	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	明	外部足場		192.75	㎡	1,500	289,125	<input type="checkbox"/> 1.200	1,800	346,950	57,825	16.67%	外壁面積1	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	明	外部養生		192.75	㎡	775	149,775	<input type="checkbox"/> 1.200	600	115,650	19,275	16.67%	外壁面積1	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	明	内即足場		2.48	㎡	600	1,488	<input type="checkbox"/> 1.200	2,400	5,952	992	16.67%	吹抜(面積)	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	明	仮設電力		1	式	50,000	50,000	<input type="checkbox"/> 1.200	60,000	60,000	10,000	16.67%	1	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	明	仮設水道		1	式	50,000	50,000	<input type="checkbox"/> 1.200	60,000	60,000	10,000	16.67%	1	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	明	仮設トイレ		1	式	100,000	100,000	<input type="checkbox"/> 1.200	120,000	120,000	20,000	16.67%	1	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	明	運搬費		1	式	100,000	100,000	<input type="checkbox"/> 1.200	120,000	120,000	20,000	16.67%	1	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	明	片付け清掃費		94.41	㎡	850	80,248	<input type="checkbox"/> 1.200	1,020	96,298	16,050	16.67%	工事施工面積	
仮設工事合計								実行金額	883,334円	見積金額	1,060,001円	粗利率	16.67%	粗利益合計	176,667円

見積書編集の操作説明は、ここでは省略します。
詳細は、第3章「見積書作成」をご覧ください。
マスターの編集等は、第4章「マスター設定」をご覧ください。

！ マスターにより見積項目、見積金額が異なる

madric success では、A's の CSV ファイルとマスターを使用して、見積書を作成します。
本マニュアルで使用しているマスターは、開発中のもののため、製品版での見積項目、見積金額とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

見積書出力

編集した見積書を出力します。

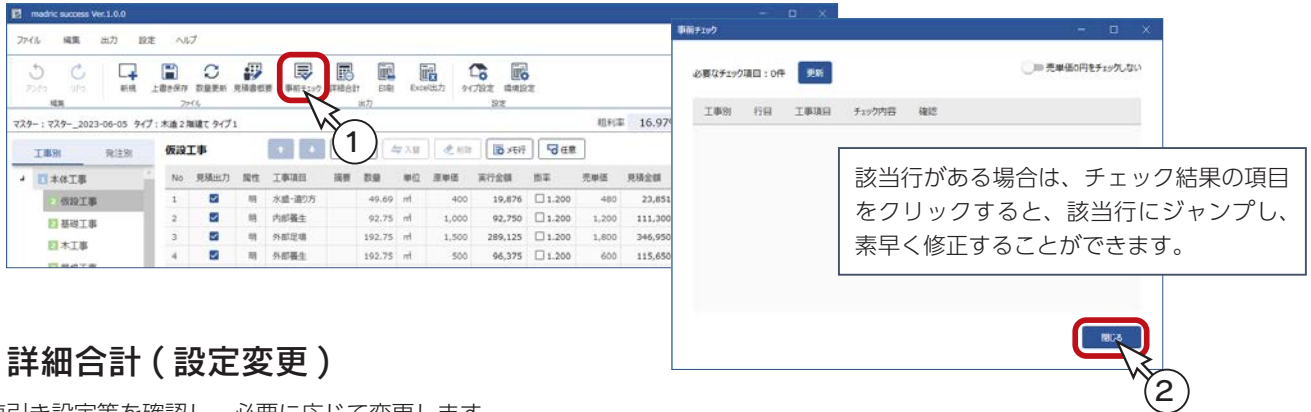
事前チェック

出力の前に、0円単価、0以下の数量を確認します。

- ① (事前チェック) をクリック、または「出力」⇒「事前チェック」を選択

* 事前チェックのダイアログにチェック結果が表示されます。この例では、該当行はありません。

- ② 確認後は、「閉じる」をクリック



詳細合計 (設定変更)

値引き設定等を確認し、必要に応じて変更します。

- ① (詳細合計) をクリック、または「出力」⇒「詳細合計」を選択

* 詳細合計のダイアログが表示されます。

ダイアログの上部に、現在設定されている値引き対象と粗利対象が表示されます。

- ② 「設定変更」をクリック
- ③ 「環境設定」の「詳細合計設定」タブが表示されるので、値引き対象と粗利対象を変更
* 例えば、値引き対象、粗利対象ともに「税込」に変更します。
- ④ 「OK」をクリック

* ダイアログの表示が、「値引き対象：税込 粗利対象：税込」になります。



■ 詳細合計（値引き逆算）

見積金額を固定して、逆算により値引きを設定してみましょう。
ダイアログは、「値引き対象：税込 粗利対象：税込」の例です。

- ① 「見積金額合計 [A] を固定」を ON(☑) にする
- ② 見積金額合計 [A] の欄をクリックすると入力できる状態になるので、金額を入力
- ③ 「再計算」をクリック
 - * 値引き、消費税額、粗利金額が再計算されます。
 - * 「リセット」をクリックすると、値引きが「0」の状態に戻ります。
- ④ 「OK」をクリック

■ 印刷設定

見積書出力に関する設定を行います。

- ① (印刷) をクリック、または「出力」⇒「印刷」を選択
 - * 印刷設定のダイアログが表示されます。
- ② 例えば、以下のように設定

印刷形式……………A4 縦
担当者電話番号……………あり
社判……………あり
確認印欄……………あり
内訳項目……………1 階層

- ③ 確認印欄の「設定」をクリック
 - * 確認印欄出力設定のダイアログが表示されます。
- ④ 例えば、以下のように設定

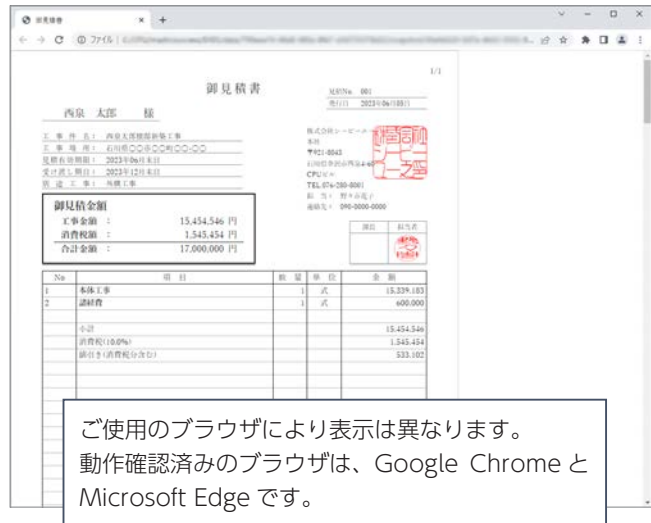
欄の数……………2
欄の名称……………あり
名称設定……………課長、担当者
印章設定……………担当者に設定

- ⑤ 「OK」をクリック
 - * 確認印欄にプレビューが表示されます。

「初期値に設定」をクリックすると、現在の印刷設定を初期値に設定します。

■ 印刷

「PDF 保存」は OFF () であることを確認し、「印刷」をクリックしてください。
既定のブラウザに見積書がプレビューされます。

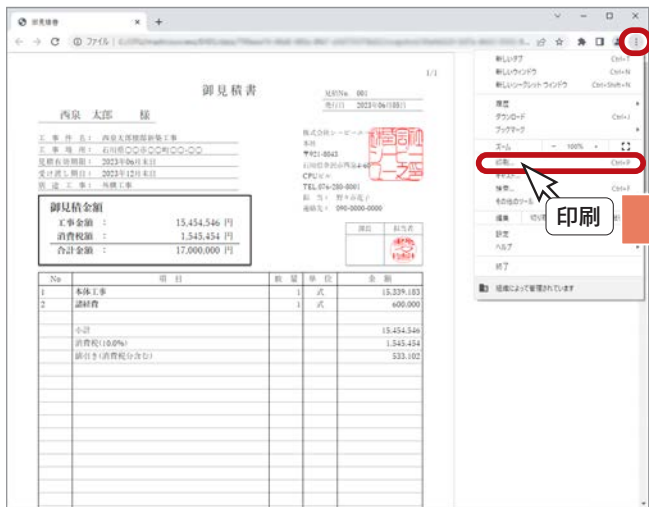


印刷は、ブラウザ上で実行します。

印刷方法は、ご利用のブラウザにより異なります。ご利用のブラウザの印刷方法に従ってください。

例えば Google Chrome の場合は、Ctrl + P キーを押す、または画面右上の をクリックし「印刷」を選択すると、印刷の画面が表示されます。

印刷の画面



PDF 出力

送信先を「PDF に保存」に設定すると、PDF ファイルに保存することができます。
また、印刷設定のダイアログの「PDF 保存」にチェックを入れた場合も、PDF ファイルに保存することができます。

Excel 出力

見積書を、Excel 形式で出力することも可能です。
詳細は、[\[P.49 ~\]](#) をご覧ください。



印刷後は、ブラウザを閉じて、印刷設定のダイアログの「キャンセル」をクリックしてください。

見積書保存

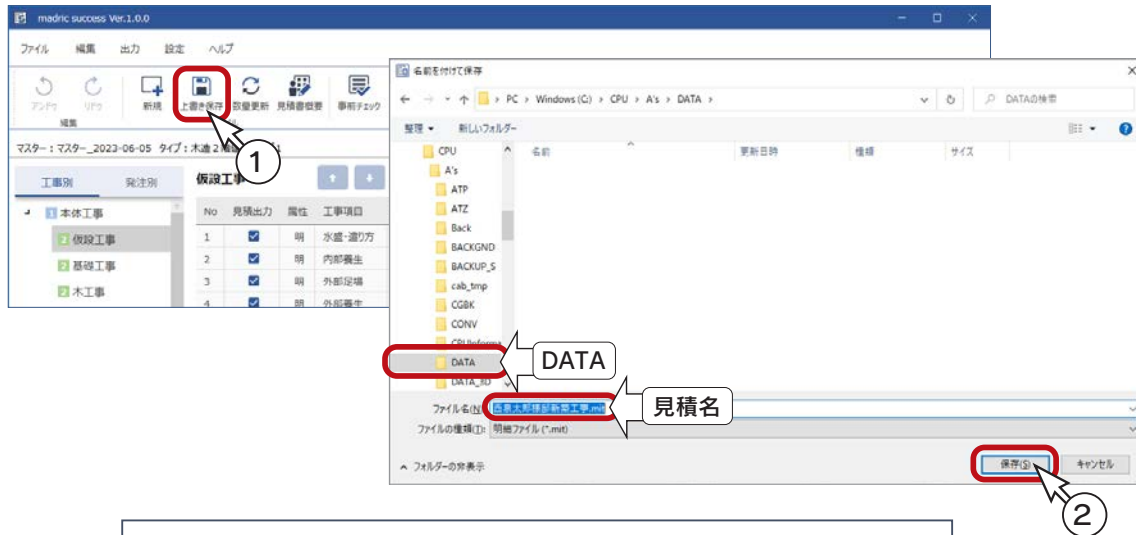
編集中の見積書を保存します。

- ①  (上書き保存) をクリック

* 一度も保存していないので、名前を付けて保存のダイアログが表示されます。

* 「ファイル」⇒「上書き保存」、または「名前を付けて保存」を選択してもかまいません。

- ② 保存先、ファイル名を設定し「保存」をクリック

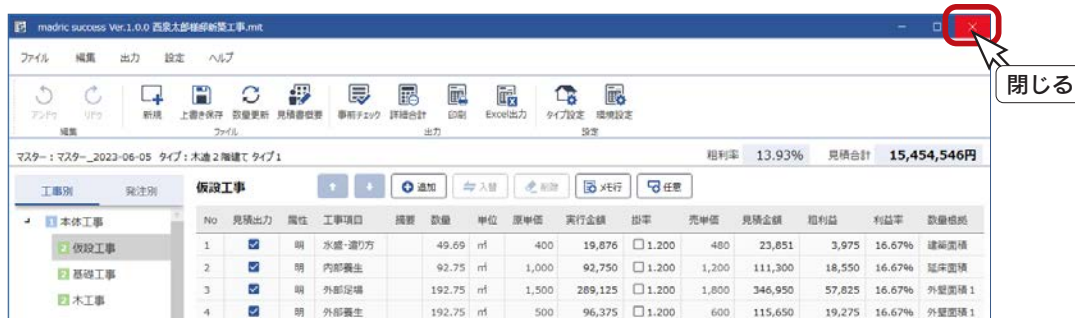


保存先の初期設定は、A's インストール先の「DATA」フォルダーです。
「設定」⇒「環境設定」⇒「基本設定」の「見積書保存場所」で変更できます。
見積書情報の見積名が入力されている場合は、ファイル名に表示されます。

madric success の終了

見積書の編集を終了し、メイン画面を閉じます。

「ファイル」⇒「終了」を選択します。タイトルバー右端の  (閉じる) をクリックしてもかまいません。



保存に関するメッセージが表示されます。

ここでは、保存済みなので「保存しない」でかまいません。

なお、保存後に見積書を編集した場合は、「保存」をクリックしてください。



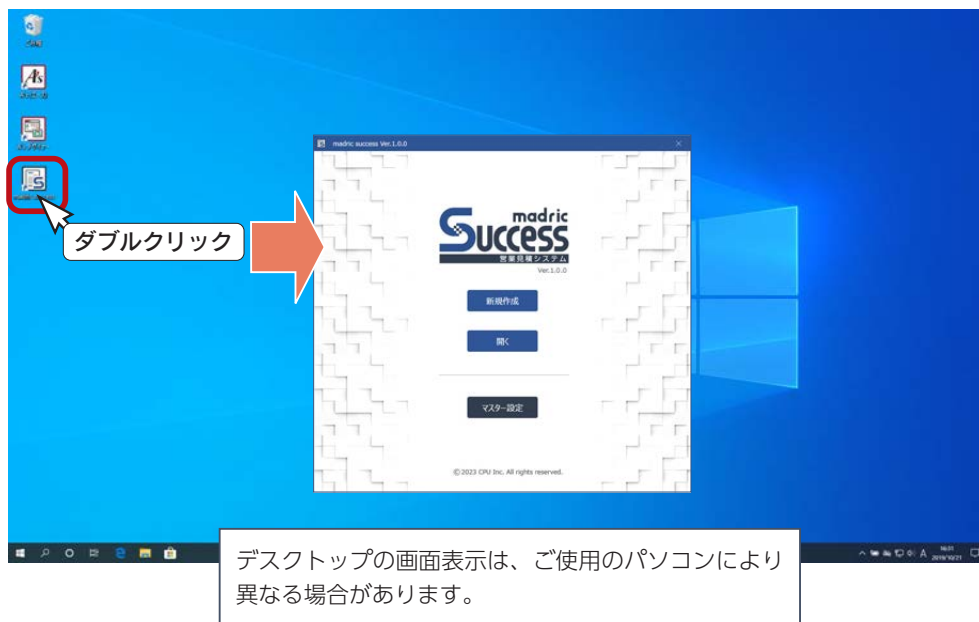
madric success の単独起動

madric success は、A's と連動する場合は、A's のメニューから起動しますが、単独起動も可能です。

madric success 単独版について

madric success は、A's がインストールされていない環境でも動作させることができます。複数の PC でマスターを統一することで、見積書を共有することができます。

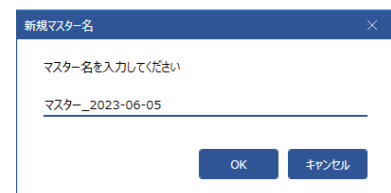
デスクトップ上に自動作成されたショートカット  (madric success) をダブルクリックします。スタート画面が表示されます。



■ 新規マスター名

A's から起動、単独起動のいずれかの初回起動時に、新規マスター名の入力になります。

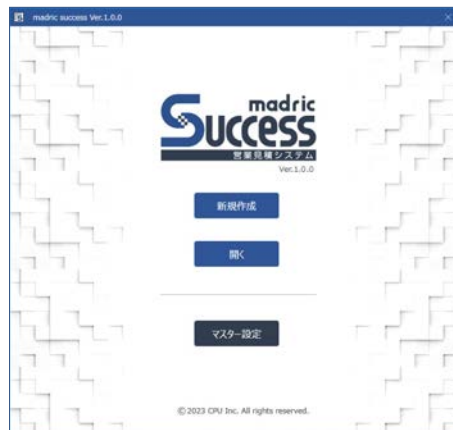
標準搭載の madric success オリジナルのマスターに、任意のマスター名を付けてください。右の例では、日付を入力しています。



マスターの編集等は、第 4 章「マスター設定」をご覧ください。

スタート画面

madric success を単独起動すると、スタート画面が表示され、3つの処理を選択することができます。



■ 新規作成

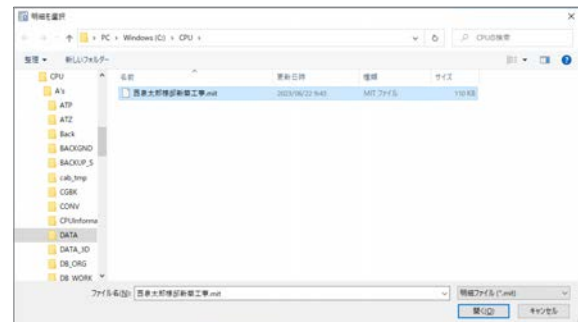
新たに見積書を作成する場合は、「新規作成」をクリックします。見積書概要のダイアログが表示されますので、見積書情報、会社情報、担当者情報を入力し「見積作成」をクリックしてください。madric success のメイン画面が表示されます。

見積書概要は、メイン画面でも確認修正が可能です。
詳細は、第2章「見積書概要」をご覧ください。



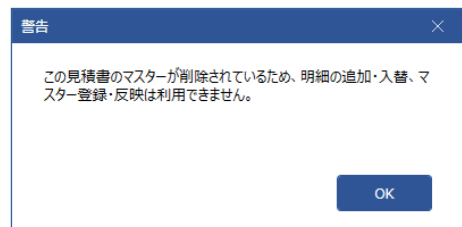
■ 開く

保存済みの見積書を開く場合は、「開く」をクリックします。ダイアログが表示されますので、ファイルを選択し「開く」をクリックします。madric success のメイン画面が表示されます。



! マスターが異なる場合

保存済みの見積書は、見積書作成時のマスターとリンクしています。見積書を開いた際に、リンクしているマスターが存在しない場合は、警告が表示されます。
明細の追加・入替、マスター登録・反映は利用できません。



■ マスター設定

「マスター設定」をクリックすると、マスター設定のダイアログが表示され、各種マスターの設定が可能です。



詳細は、第4章「マスター設定」をご覧ください。

2

見積書概要

見積書概要の入力について説明します。

見積書概要のダイアログは、以下のいずれかの操作で表示されます。

- ・A'sのクイックメニュー、またはメインメニューの  (営業見積) をクリック
- ・スタート画面にて、「新規作成」をクリック
- ・メイン画面にて、 (見積書概要) をクリック、または「ファイル」⇒「見積書概要」を選択
- ・メイン画面にて、「ファイル」⇒「新規」を選択

スタート画面



見積書概要



メイン画面



メイン画面の「見積書概要」から開いた場合は、タイプの選択、「タイプマスター編集」、「見積作成」ボタンはありません。

見積書情報

見積書情報は、直接入力します。A's から起動した場合は、物件概要から転記される項目もあります。

入力項目

見積名	直接入力（保存時のファイル名初期値）
工事名	物件概要から転記（直接入力も可）
工事場所	//
施主名	//
施主住所	//
見積No.	直接入力
見積発行日	作成日を自動表示 (直接変更、📅でカレンダーから選択可)
有効期限	直接入力 (📅でカレンダーから選択可)
受け渡し期日	直接入力 (📅でカレンダーから選択可)
別途工事	直接入力

*入力欄でカーソルが点滅します。
入力欄は、クリックで切り替えてください。

見積書情報

物件概要から転記

A's の物件概要から、以下の項目を転記します。
() 内が物件概要の項目名です。

- ・工事名 (基本情報-プラン名)
- ・工事場所 (計画概要-敷地概要-住居表示)
- ・施主名 (基本情報-施主名)
- ・施主住所 (基本情報-建築主現住所)

入力例

見積書情報

*入力内容は、見積書の出力時に反映します。

見積金額

見積金額は、見積書を作成すると自動的に表示されます。
 メイン画面から開いた場合は、金額が表示されます。

見積書作成前

見積書情報

見積名 田中三郎様邸新築工事
 工事名 田中三郎様邸新築工事
 工事場所 石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
 施主名 田中 三郎
 施主住所 石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
 見積No. 001
 見積発行日 2023年06月05日
 有効期限 2023年06月末日

会社情報

会社名 株式会社シーピーユー
 代表者 木塚 満晶
 支店名 本社
 郵便番号 921-8043
 住所1 石川県金沢市西泉4-60
 住所2 CPUビル
 電話番号 076-280-8001
 FAX番号 076-280-8002
 メールアドレス info@cpu-net.co.jp

担当者情報

担当者名 野々市花子
 電話番号 090-0000-0000
 メールアドレス nonoichi@cpu-net.co.jp

見積金額

見積(税込)	0円
消費税	0円
見積(税抜)	0円

タイプ 木造2階建てタイプ1

メイン画面から開いた場合

見積書情報

見積名 田中三郎様邸新築工事
 工事名 田中三郎様邸新築工事
 工事場所 石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
 施主名 田中 三郎
 施主住所 石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
 見積No. 001
 見積発行日 2023年06月05日
 有効期限 2023年06月末日

会社情報

会社名 株式会社シーピーユー
 代表者 木塚 満晶
 支店名 本社
 郵便番号 921-8043
 住所1 石川県金沢市西泉4-60
 住所2 CPUビル
 電話番号 076-280-8001
 FAX番号 076-280-8002
 メールアドレス info@cpu-net.co.jp

担当者情報

担当者名 野々市花子
 電話番号 090-0000-0000
 メールアドレス nonoichi@cpu-net.co.jp

見積金額

見積(税込)	18,588,565円
消費税	1,689,869円
見積(税抜)	16,898,696円

↓ *見積金額は、見積書の出力時に反映します。

1/1

御見積書

田中 三郎 様

見積No. 001
発行日 2023年06月05日

工 事 件 名 : 田中三郎様邸新築工事
 工 事 場 所 : 石川県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
 見積有効期限 : 2023年06月末日
 受け渡し期日 : 2023年12月末日
 別 途 工 事 : 外構工事

株式会社シーピーユー
 本社
 〒921-8043
 石川県金沢市西泉4-60
 CPUビル
 TEL.076-280-8001
 担 当 : 野々市花子
 連絡先 : 090-0000-0000

御見積金額

工事金額	16,898,696 円
消費税額	1,689,869 円
合計金額	18,588,565 円

課長	担当者
[Red Seal]	[Red Seal]

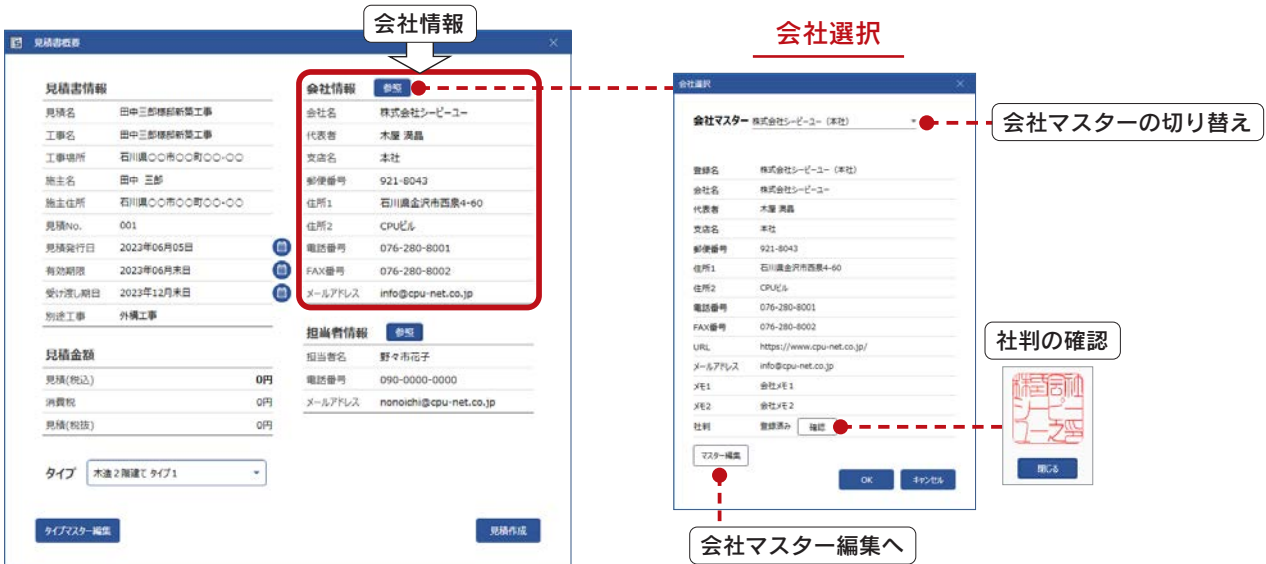
No	項目	数量	単位	金額
1	本体工事	1	式	16,298,695
2	諸経費	1	式	600,000
	小計			16,898,696
	消費税(10.0%)			1,689,869

会社情報

会社情報は、会社マスターとして管理します。

「参照」をクリックすると、会社選択のダイアログが表示され、会社マスターの切り替えや編集が可能です。

初回起動時は、会社情報は登録されていませんので、マスター編集で新規登録してください。(⇒ [【P.11,12】参照](#))



会社マスター編集

会社選択のダイアログの「マスター編集」をクリックすると、会社マスター編集のダイアログが表示されます。会社マスターの新規登録、既存更新、既存削除が可能です。

会社マスター編集



会社選択へ戻る

会社マスター情報

登録名	直接入力 (必須入力項目)
会社名	//
代表者	//
支店名	//
郵便番号	//
住所 1	郵便番号から自動入力 (修正可)
住所 2	直接入力
電話番号	//
FAX 番号	//
URL	//
メールアドレス	//
メモ 1	//
メモ 2	//
社判	画像データ (png ファイル) を準備し、 「参照」 ボタンから選択

* 社判は、png ファイルのみ対応しています。
背景色を透過した png ファイルを推奨します。

■ 新規登録

会社マスターの新規登録は、以下のように操作します。

- ①既存の会社マスターが存在する場合は、会社マスターのリストの空白行を選択
 - * 情報がクリアされ、新規登録しやすくなります。
- ②会社マスター情報を入力（前ページ参照）
- ③「登録」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ④登録してよい場合は「OK」をクリック
 - * 会社マスターに登録されます。

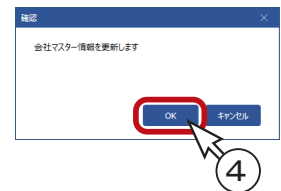
会社マスターのリストの空白行を選択すると、情報をクリアすることができます。



■ 既存更新

会社マスターの既存更新は、以下のように操作します。

- ①更新する会社マスターを表示
- ②情報を更新
- ③「更新」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ④更新してよい場合は、「OK」をクリック
 - * 会社マスターが更新されます。



■ 既存削除

会社マスターの既存削除は、以下のように操作します。

- ①削除する会社マスターを表示
- ②「削除」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ③削除してよい場合は、「OK」をクリック
 - * 会社マスターが削除されます。

担当者が存在する会社マスターは削除できません。



担当者情報

担当者情報は、担当者マスターとして管理します。
 「参照」をクリックすると、担当者選択のダイアログが表示され、担当者マスターの編集が可能です。
 複数の担当者を登録した場合は、担当者の切り替えや、デフォルトの設定もできます。

初回起動時は、担当者情報は登録されていないので、マスター編集で新規登録してください。(⇒ [P.13](#) 参照)

担当者マスター編集

担当者選択のダイアログの「マスター編集」をクリックすると、担当者マスター編集のダイアログが表示されます。
 担当者マスターの新規登録、既存更新、既存削除が可能です

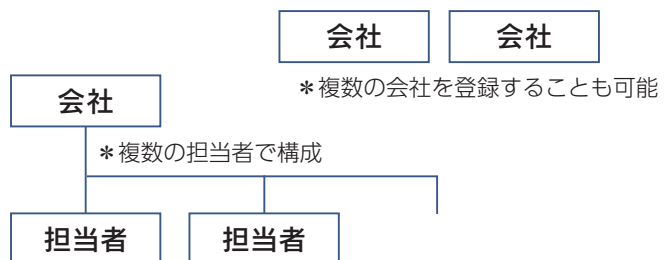
担当者マスター編集

担当者選択へ戻る

担当者マスター情報

登録名	直接入力 (必須入力項目)
会社マスター	会社マスターから選択
担当者名	直接入力
担当者電話番号	//
担当者メール	// (メールアドレスを入力)
メモ1	//
メモ2	//
印章	画像データ (png,jpg,gif ファイル) を準備し、「参照」ボタンから選択

会社マスターと担当者マスター

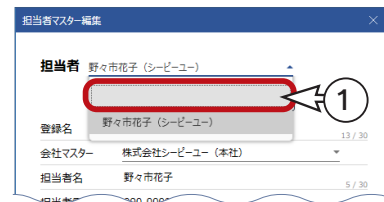


■ 新規登録

担当者マスターの新規登録は、以下のように操作します。

- ① 既存の担当者が存在する場合は、担当者マスターのリストの空白行を選択
 - * 情報がクリアされ、新規登録しやすくなります。
- ② 担当者マスター情報を入力（前ページ参照）
- ③ 「登録」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ④ 登録してよい場合は「OK」をクリック
 - * 担当者マスターに登録されます。

担当者マスターのリストの空白行を選択すると、情報をクリアすることができます。

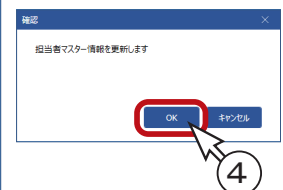


担当者マスターのリストに追加

■ 既存更新

担当者マスターの既存更新は、以下のように操作します。

- ① 更新する担当者マスターを表示
- ② 情報を更新
- ③ 「更新」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ④ 更新してよい場合は、「OK」をクリック
 - * 担当者マスターが更新されます。



■ 既存削除

担当者マスターの既存削除は、以下のように操作します。

- ① 削除する担当者マスターを表示
- ② 「削除」をクリック
 - * 確認のメッセージが表示されます。
- ③ 削除してよい場合は、「OK」をクリック
 - * 担当者マスターが削除されます。



タイプ



タイプは、登録済みのタイプマスターから選択します。「タイプマスター編集」をクリックすると、タイプマスターの詳細を確認、編集できます。マスターが複数登録されている場合は、マスターを切り替えることもできます。

タイプマスター編集

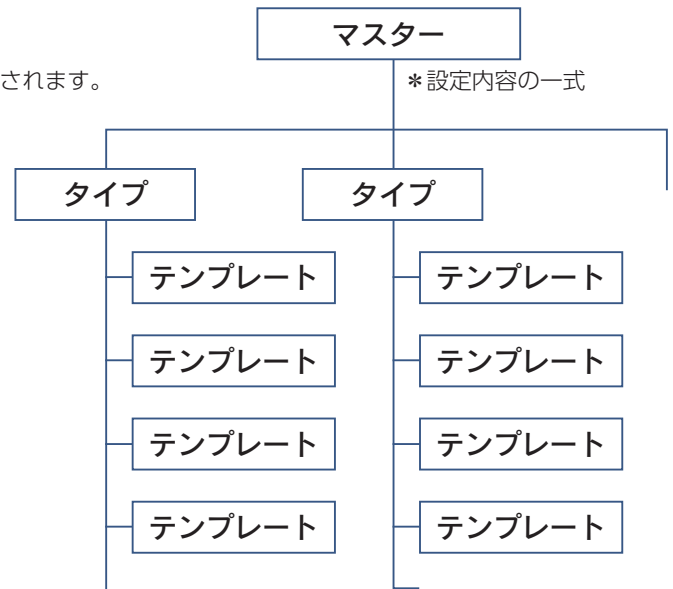
タイプは、複数のテンプレートで構成されています。タイプマスター編集では、各タイプの構成確認、別名保存が可能です。

■ 構成確認

タイプを選択すると、タイプに含まれているテンプレートが表示されます。



マスターの構成



*タイプは、複数のテンプレートで構成され、テンプレートの数は、タイプにより異なります。

■ マスター設定

マスターが複数登録されている場合は、マスターを切り替えることができます。「マスター設定」をクリックすると、マスター設定のダイアログが表示され、各種マスターの設定が可能です。

詳細は、第4章「マスター設定」をご覧ください。

! マスターの切り替えは慎重に


ここで選択されているマスターが、「見積作成」の実行時にリンクされ、以後変更はできません。保存済みの見積書を開いた際に、リンクしているマスターが存在しない場合は、警告が表示されます。明細の追加・入替、マスター登録・反映は利用できません。


■ 別名保存

既存のタイプのテンプレート構成を変更後、別名を付けて新たなタイプとして追加することができます。以下のように操作します。

①テンプレート構成を変更

追加……右側のテンプレート候補を選択し  をクリック（リストの最後に追加）

削除……左側のテンプレートを選択し  をクリック

入替……左側のテンプレートと右側のテンプレート候補をそれぞれ選択し  をクリック（複数入替可能）

*以下は、「木造2階建てタイプ1」の「内装A」と「内装B」を入れ替えた例です。



②「保存」をクリック

*タイプ別名保存の画面が表示されます。

③タイプ名を入力

*以下の例では、「木造2階建てタイプ1B」と入力しています。

*必要に応じて、タイプメモを入力します。

④「OK」をクリック

*タイプマスターに追加されます。



⑤タイプ編集後は、「OK」をクリック

*見積書概要のダイアログに戻ります。

見積作成

見積書概要を入力後は、「見積作成」をクリックしてください。
見積書作成後、madric success のメイン画面が表示されます。

メイン画面

No.	見積出力	属性	工事項目	検索	数量	単位	原単価	実行金額	利率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量根拠	テンプレート
1		料	仮設工事		1	式		910,072			1,092,086	182,014	16.67%		
2		料	基礎工事		1	式		1,309,420			1,573,304	263,884	16.77%		
3		料	木工事		1	式		5,864,208			7,150,490	1,286,182	17.99%		
4		料	屋根工事		1	式		276,733			328,949	52,226	15.88%		
5		料	外装工事		1	式		597,753			723,898	126,145	17.42%		
6		料	左官工事		1	式		47,215			56,484	9,269	16.41%		
7		料	サッシ工事		1	式		1,136,000			1,363,200	227,200	16.67%		
8		料	木製建具工事		1	式		876,800			1,052,160	175,360	16.67%		
9		料	内装工事		1	式		268,468			442,388	173,920	16.71%		
10		料	雑工事		1	式		258,032			313,736	55,704	17.76%		
11		料	電気設備工事		1	式		27,000			30,000	3,000	10.00%		
12		料	衛生設備工事		1	式		960,000			1,152,000	192,000	16.67%		
本体工事合計								13,481,791円			16,298,695円		17.28%		2,816,904円

3 見積書作成

madric success のメイン画面での、見積書作成処理について説明します。
 見積書概要ダイアログの「見積作成」をクリックすると、メイン画面が表示されます。
 また、madric success のスタート画面の「開く」をクリック後、保存済みの見積書を開いた場合も、メイン画面が表示されます。

メイン画面

madric success のメイン画面は、以下のような構成になっています。

タイトル
アプリケーション名、バージョン、ファイル名

ツールバー
各処理を集めたメニュー

ツールアイコン
よく使う機能をアイコン化

粗利率・見積合計
粗利率 16.97% 見積合計 16,898,696円

明細編集ボタン
詳細編集ボタン

編集画面
編集画面

工種別の合計
工種別の合計

科目・発注先ツリー
工事別では科目、発注別では発注先をツリーで表示

マスター・タイプ
選択中のマスターとタイプを表示

No	見積出力	属性	工事項目	摘要	数量	単位	原単価	実行金額	粗率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量根拠	テンプレート
1		粗	仮設工事		1	式	910,072	910,072		1,092,086	182,014	16.67%			
2		粗	基礎工事		1	式	1,309,420	1,309,420		1,573,304	263,884	16.77%			
3		粗	木工事		1	式	5,864,308	5,864,308		7,150,490	1,286,182	17.99%			
4		粗	屋根工事		1	式	276,723	276,723		328,949	52,226	15.88%			
5		粗	外装工事		1	式	597,753	597,753		723,898	126,145	17.59%			
6		粗	左官工事		1	式	47,215	47,215		56,484	9,269	16.41%			
7		粗	サッシ工事		1	式	1,136,000	1,136,000		1,363,200	227,200	16.67%			
8		粗	木製建具工事		1	式	876,800	876,800		1,052,160	175,360	16.67%			
9		粗	内装工事		1	式	368,468	368,468		442,388	73,920	16.71%			
10		粗	雑工事		1	式	258,032	258,032		313,736	55,704	17.76%			
11		粗	電気設備工事		1	式	27,000	27,000		30,000	3,000	10.00%			
12		粗	衛生設備工事		1	式	960,000	960,000		1,152,000	192,000	16.67%			
本林工事合計					実行金額		13,481,791円	見積金額	16,298,695円	粗利率	17.28%	粗利益合計	2,816,904円		

フォントサイズの設定
 「設定」⇒「環境設定」⇒「基本設定」で、編集画面のフォントサイズを設定できます。
 8～18ピクセルの間で調整できます。初期設定は、13ピクセルです。



ファイル

メイン画面のファイル処理について説明します。



新規

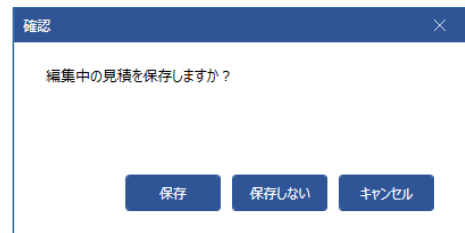
編集中の見積書を保存、または破棄して、新規の見積書を作成します。



(新規) をクリック、または「ファイル」⇒「新規」を選択すると、確認のメッセージが表示されますので、以下のいずれかを選択します。

- 保存 …… 見積書を保存してから新規作成に進む
- 保存しない …… 見積書を保存せずに新規作成に進む
- キャンセル …… 新規作成を中止する

新規作成に進むと、見積書概要のダイアログが表示されます。



見積書概要の詳細は、第 2 章をご覧ください。

上書き保存

編集作業を終了せずに、現在の状態でファイルに保存した上で、作業を続けます。



(上書き保存) をクリック、または「ファイル」⇒「上書き保存」を選択します。ショートカットキーは、Ctrl + S です。一度も保存していない場合は、「名前を付けて保存」に進みます。

名前を付けて保存

編集中の見積書に名前を付けて保存します。

「ファイル」⇒「名前を付けて保存」を選択します。ショートカットキーは、Ctrl + Shift + S です。ダイアログが表示されますので、保存先、ファイル名を設定し「保存」をクリックしてください。



保存先の初期設定は、A's インストール先の「DATA」フォルダーです。
 「設定」⇒「環境設定」⇒「基本設定」の「見積書保存場所」で変更できます。
 見積書情報の見積名が入力されている場合は、ファイル名に表示されます。

数量更新

A's から madric success を起動している場合、プランに変更があった場合に、A's の数量算出を再実行して、数量を更新します。



(数量更新) をクリック、または「ファイル」⇒「数量更新」を選択します。

編集中の見積書が、現物件の「新規作成」のものである場合に実行できます。

見積書概要

見積書概要を確認、変更します。



(見積書概要) をクリック、または「ファイル」⇒「見積書概要」を選択すると、見積書概要のダイアログが表示されます。

詳細は、第 2 章「見積書概要」をご覧ください。

スタート画面へ戻る

madric success のスタート画面に戻り、処理を選択し直します。

「ファイル」⇒「スタート画面へ戻る」を選択すると、madric success のスタート画面が表示されます。

スタート画面の詳細は、[\[P.21\]](#) をご覧ください。

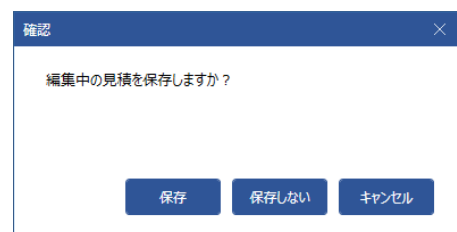
終了

見積書の編集を終了し、メイン画面を閉じます。

「ファイル」⇒「終了」を選択します。タイトルバー右端の  (閉じる) をクリックしてもかまいません。

確認のメッセージが表示されますので、以下のいずれかを選択します。

- 保存 …………… 見積書を保存してから終了する
- 保存しない …… 見積書を保存せずに終了する
- キャンセル …… 終了を中止する



編集

メイン画面の編集処理について説明します。

明細修正

必要に応じて、明細を修正します。
修正できる項目は、右のとおりです。

修正可能項目

見積出力	見積書への出力の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>)
工事項目	直接入力
摘要	//
数量	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
単位	単位マスターから選択
原単価	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
掛率	見積金額の計算に掛率使用の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>) 掛率は直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
売単価	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
数量根拠	ダブルクリックで数量根拠設定画面へ

属性「明」が対象

明細は、属性に「明」と表記されています。
属性が「科」の行は科目集計なので、明細編集の対象外です。
左側のツリーから科目を選択して、明細を表示してください。

- * 修正可能項目をクリックすると、修正できる状態になります。
- * 有 () 無 () は、クリックして切り替えます。



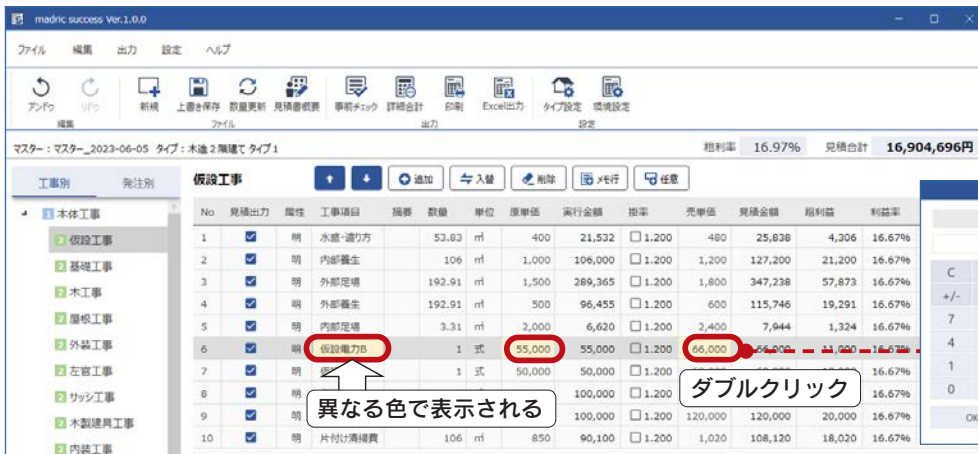
数量根拠設定



* 数量根拠設定の詳細は、[\[P.64\]](#) をご覧ください。

* 修正した項目は、異なる色で表示されます。

以下は、「仮設工事」⇒「仮設電気」を「仮設電気 B」に変更し、原単価と売単価を変更した例です。



* 数量、原単価、掛率、売単価は、ダブルクリックすると電卓で入力することができます。

アンドウ・リドゥ



(アンドウ)……メイン画面を開いてから行った編集内容を、逆順に取り消すことができます。
ショートカットキーは、Ctrl + Z です。



(リドゥ)……アンドウの逆です。主にアンドウしすぎた場合に使用します。
ショートカットキーは、Ctrl + Y です。

*アンドウ・リドゥは、20 回まで可能です。

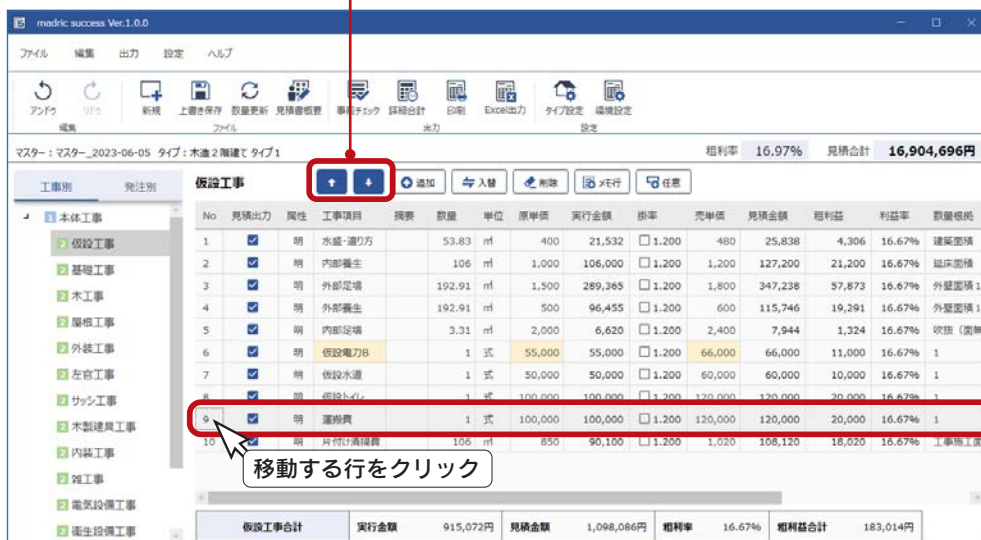
アンドウ・リドゥ



明細上下移動

明細行をクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。

上へ・下へ



明細追加

明細マスターから明細を選択して追加します。

- ①科目、または発注先を選択
 - * 以下の例では、「仮設工事」を選択しています。
- ②追加する行を指定
 - * 追加する行は指定しなくてもかまいません。
 - 追加する行を指定しない場合は、最終行に追加されます。
- ③「追加」をクリック、または「編集」⇒「明細追加」を選択
 - * 明細選択の画面が表示されます。
 - * 選択している科目（ここでは「仮設工事」）で絞り込まれた明細が表示されます。
 - * 条件を変更し「検索」をクリックすると、絞り込み結果を変更することができます。
- ④追加する明細を選択
 - * 以下の例では、「発生材処分費」を選択しています。
 - * Shift キー、Ctrl キーを利用して、複数の明細をまとめて選択することができます。
- ⑤「OK」をクリック
 - * 明細が追加されます。
 - * 自動拾いに該当すれば、数量も入力されます。

明細追加

明細の絞り込み

明細ID	科目	工事項目	仕様・種類	単位	原単価	売単価	発注先	備考	明細.x/E
MSO_000001	仮設工事	水溝-溝り方		㎡	400	480	自社		
MSO_000002	仮設工事	内部養生		㎡	1,000	1,200	自社		
MSO_000003	仮設工事	外部定場		㎡	1,500	1,800	自社		
MSO_000004	仮設工事	外部養生		㎡	500	600	自社		
MSO_000005	仮設工事	内部定場		㎡	2,000	2,400	自社		
MSO_000006	仮設工事	巻巻き場	巻巻き6寸以上	㎡	2,000	2,400	自社		
MSO_000007	仮設工事	仮設電力		式	50,000	60,000	自社		
MSO_000008	仮設工事	仮設水道		式	50,000	60,000	自社		
MSO_000009	仮設工事	仮設トイレ		式	100,000	120,000	自社		
MSO_000010	仮設工事	運搬費		式	100,000	120,000	自社		
MSO_000011	仮設工事	発生材処分費	仮設材処分	式	850	1,020	自社		
MSO_000012	仮設工事	発生材処分費	仮設材処分	式	100,000	120,000	自社		

明細が追加される

No	見出し	属性	工事項目	数量	単位	原単価	実行金額	比率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量他
1	水溝-溝り方	明		53.83	㎡	400	21,532	1.200	480	25,638	4,306	16.67%	建築費
2	内部養生	明		106	㎡	1,000	106,000	1.200	1,200	127,200	21,200	16.67%	建築費
3	外部定場	明		192.91	㎡	1,500	289,365	1.200	1,800	347,238	57,873	16.67%	外壁費
4	外部養生	明		192.91	㎡	500	96,455	1.200	600	115,746	19,291	16.67%	外壁費
5	内部定場	明		3.31	㎡	2,000	6,620	1.200	2,400	7,944	1,324	16.67%	収支(
6	仮設電力B	明		1	式	55,000	55,000	1.200	66,000	66,000	11,000	16.67%	1
7	仮設水道	明		1	式	50,000	50,000	1.200	60,000	60,000	10,000	16.67%	1
8	仮設トイレ	明		1	式	100,000	100,000	1.200	120,000	120,000	20,000	16.67%	1
9	発生材処分費	明	仮設材処分	1	式	100,000	100,000	1.200	120,000	120,000	20,000	16.67%	1
10	運搬費	明		1	式	100,000	100,000	1.200	120,000	120,000	20,000	16.67%	1
11	片付け清掃費	明		106	㎡	850	90,100	1.200	1,020	108,120	18,020	16.67%	工事費

明細入替

選択した明細を、明細マスターから選択した明細に入れ替えます。

①明細を選択

*以下の例では、「外装工事」⇒「防火サイディング(レンガ調)」を選択しています。

②「入替」をクリック、または「編集」⇒「明細入替」を選択

*明細選択の画面が表示されます。

*選択している科目(ここでは「外装工事」)で絞り込まれた明細が表示されます。

*条件を変更し「検索」をクリックすると、絞り込み結果を変更することができます。

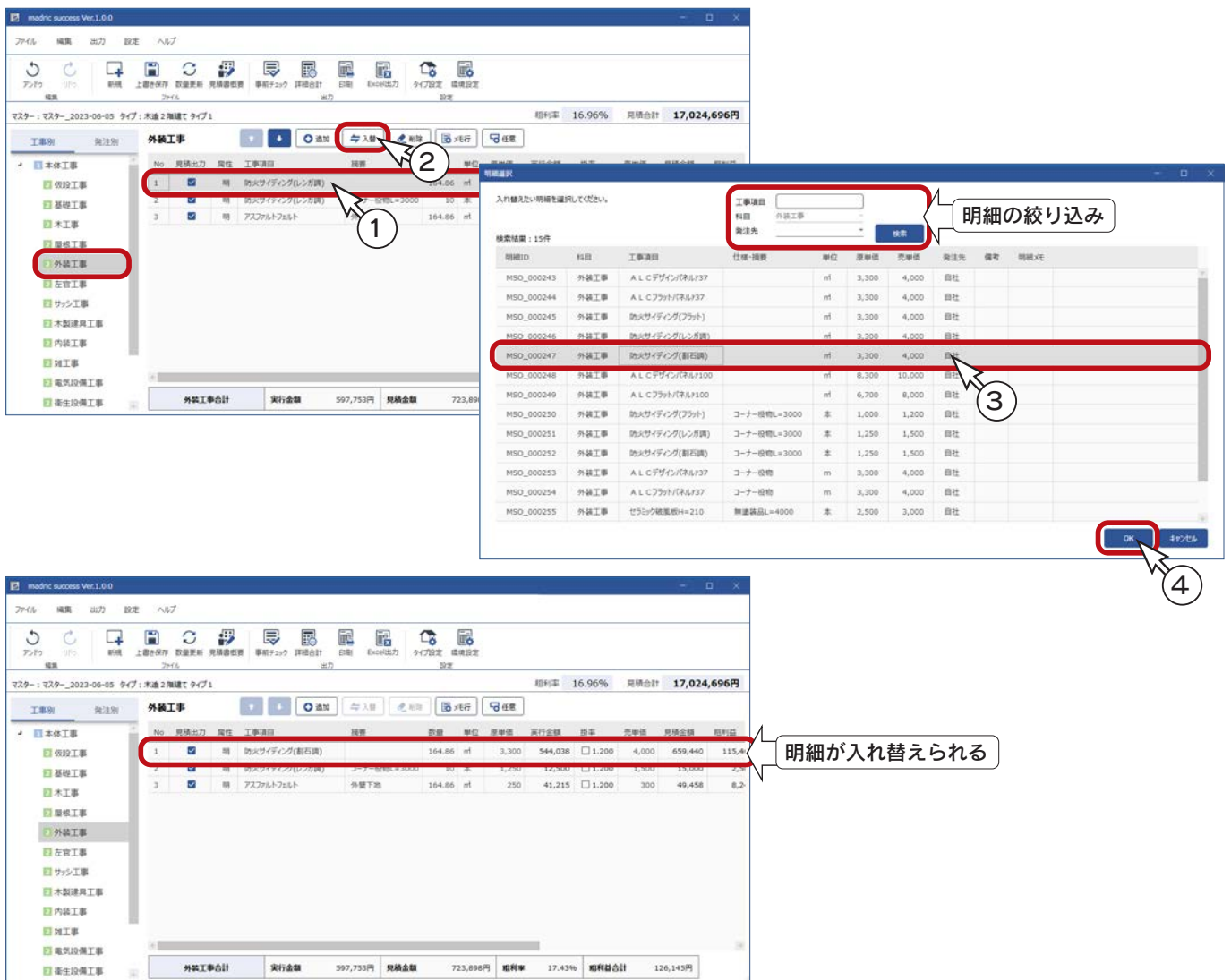
③入れ替える明細を選択

*以下の例では、「防火サイディング(割石調)」を選択しています。

④「OK」をクリック

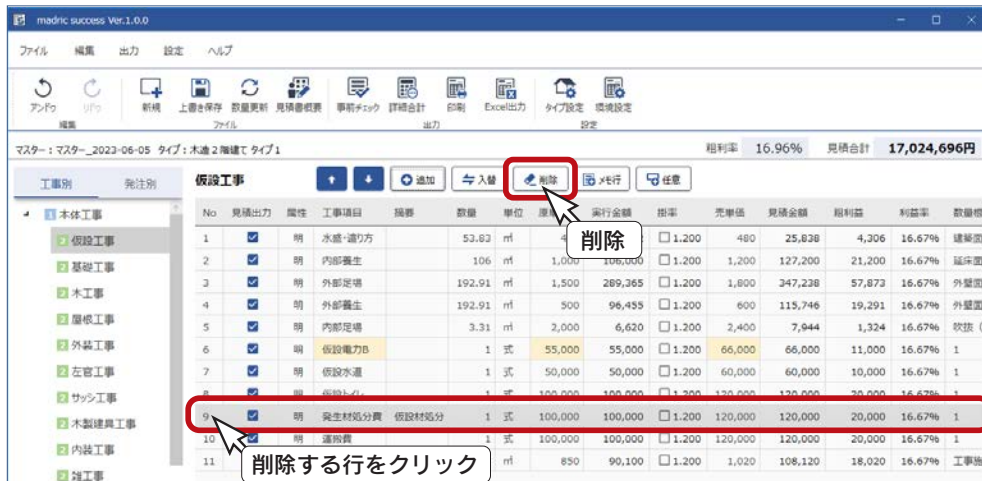
*明細が入れ替えられます。

*自動拾いに該当すれば、数量も入力されます。



明細削除

明細行をクリック後、「削除」をクリック、または「編集」⇒「明細削除」を選択すると、明細行を削除します。



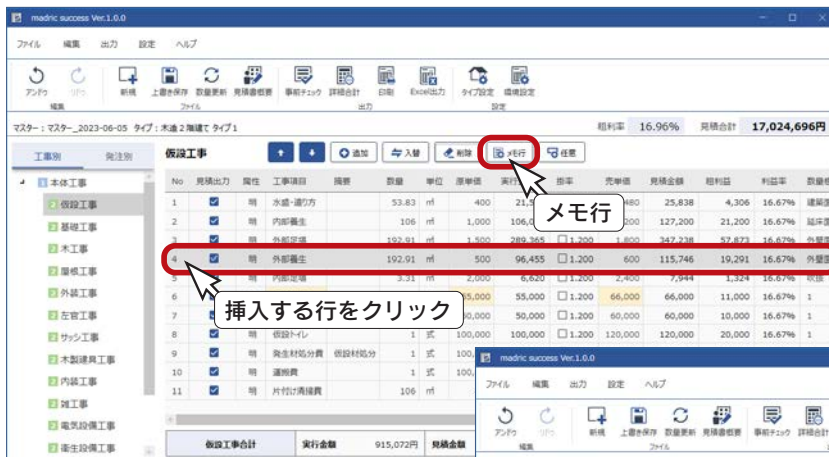
削除の確認はありません。削除を取り消したい場合は、 (アンドゥ) をクリックしてください。

メモ行挿入

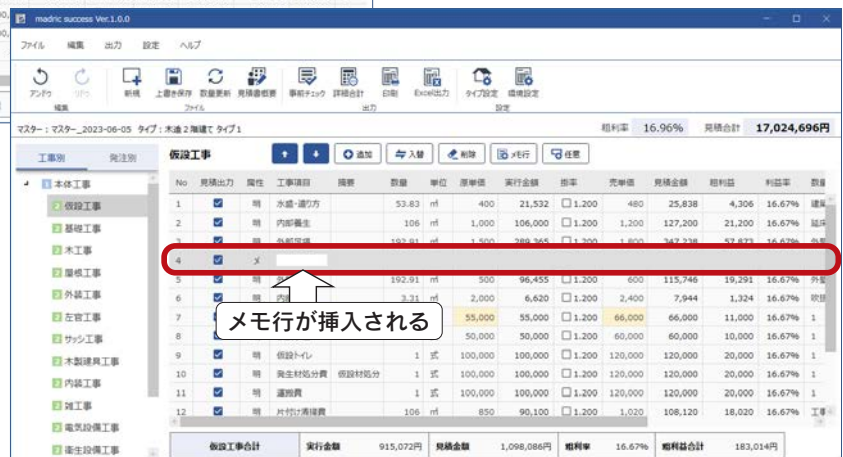
メモ行を追加します。

追加する行を選択した状態で「メモ行」をクリック、または「編集」⇒「メモ行挿入」を選択します。

追加する行を指定しない場合は、最終行に追加されます。



例えば、「仮設工事」の4行目を選択し、「メモ行」をクリックすると、4行目にメモ行が挿入されます。メモの内容は、直接入力します。



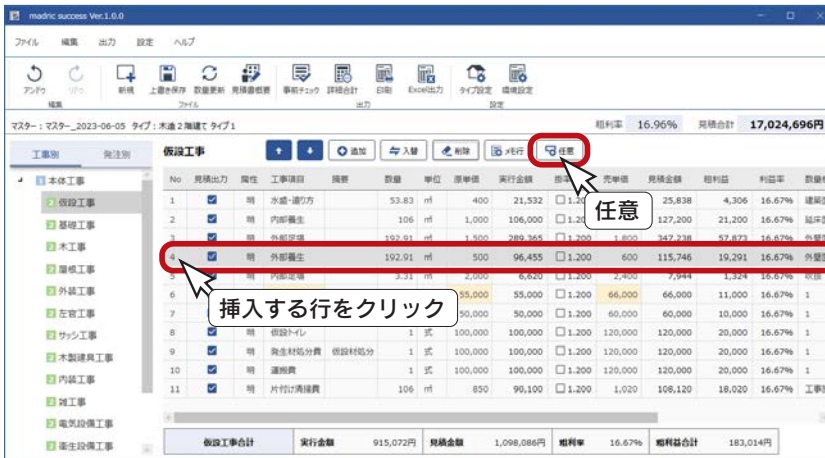
*メモ行は、属性欄に「X」と表示されます。

任意入力

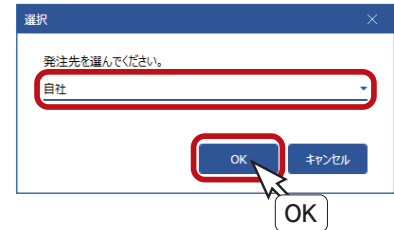
任意行を追加します。

追加する行を選択した状態で「任意」をクリック、または「編集」⇒「任意入力」を選択します。

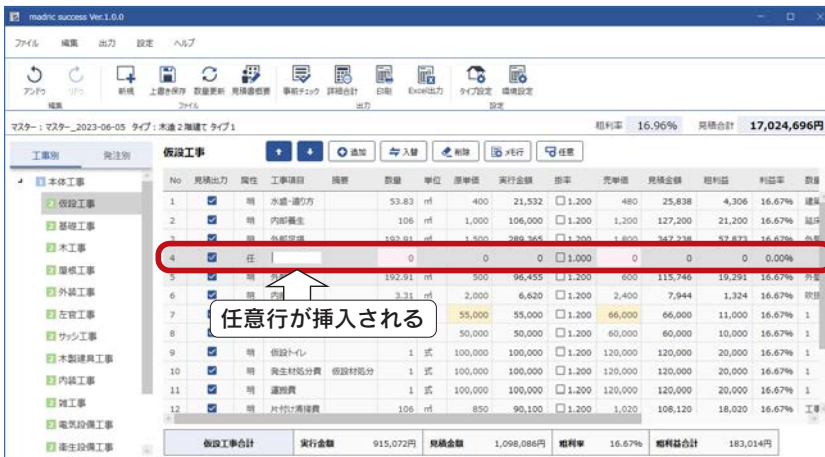
追加する行を指定しない場合は、最終行に追加されます。



例えば、「仮設工事」の4行目を選択し、「任意」をクリックすると、発注先を選択する必要がありますので、発注先を選択して「OK」をクリックしてください。



*発注別の表示で、任意入力を選択した場合は、「工事項目」の選択になります。



4行目に任意行が挿入されます。任意行の内容は、明細の修正可能項目と同様に入力します。

*任意行は、属性欄に「任」と表示されます。

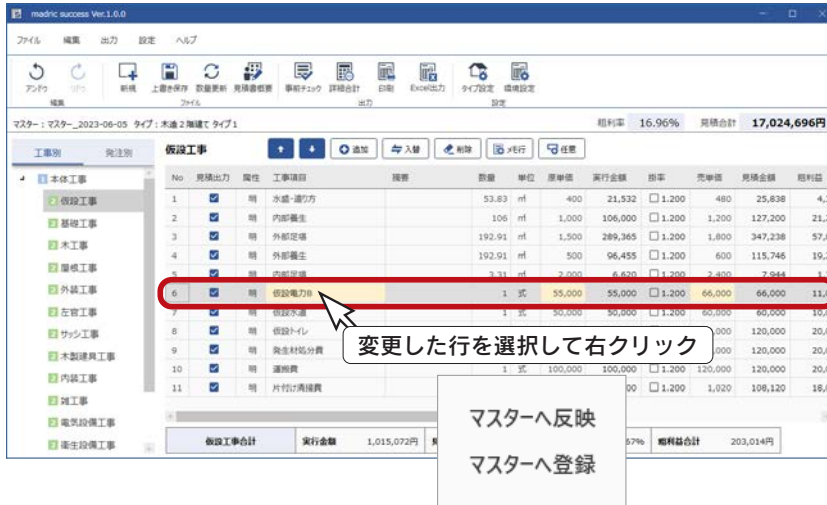
任意行の入力項目

見積出力	見積書への出力の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>)
工事項目	直接入力
摘要	//
数量	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
単位	単位マスターから選択
原単価	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
掛率	見積金額の計算に掛率使用の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>) 掛率は直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
売単価	直接入力 (ダブルクリックで電卓を表示)
数量根拠	ダブルクリックで数量根拠設定画面へ

*数量根拠設定の詳細は、[\[P.64\]](#) をご覧ください。

マスターへ反映・登録

変更した明細情報を、マスターの既存の明細と差し替え、または新しい明細として追加登録します。任意行を、新しい明細として追加登録することも可能です。



例えば、「仮設工事」⇒「仮設電気」の原単価と売単価を変更し、工事項目を「仮設電気 B」に変更したとします。

変更した行を選択して右クリックすると、「マスターへ反映」、「マスターへ登録」のメニューが表示されます。

■ マスターへ反映

「マスターへ反映」をクリックすると、反映処理後メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

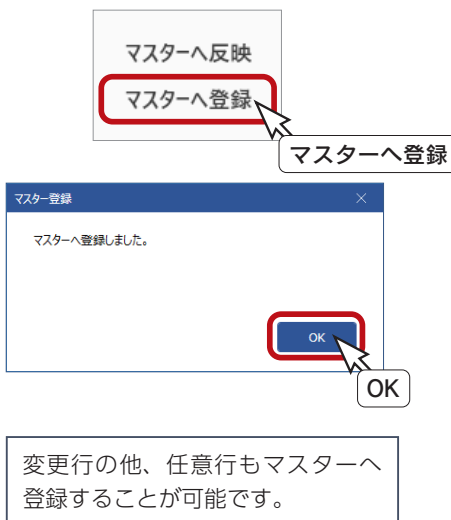


* 明細選択の画面で確認すると、既存の明細が変更されています。



■ マスターへ登録

「マスターへ登録」をクリックすると、登録処理後メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。



* 明細選択の画面で確認すると、新しい明細が追加されています。



出力

メイン画面の出力処理について説明します。

事前チェック

0円単価、0以下の数量を確認します。



(事前チェック)をクリック、または「出力」⇒「事前チェック」を選択すると、事前チェックのダイアログにチェック結果が表示されます。

見積出力が無(□)に設定されている行は、事前チェックの対象外です。

事前チェック

必要チェック項目: 2件 更新 売単価0円をチェックしない

工事別	行目	工事項目	チェック内容	確認
基礎工事	2	独立基礎	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>
雑工事	1	運搬費	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>

リストの確認欄の OFF(□) の項目数を更新

該当する科目に ●

売単価 0円をチェック対象外にする場合は ON(●) に

チェック内容を確認済みの場合は ON(☑) に

事前チェック

必要チェック項目: 2件 更新 売単価0円をチェックしない

工事別	行目	工事項目	チェック内容	確認
基礎工事	2	独立基礎	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>
雑工事	1	運搬費	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>

クリック

*事前チェックの各行をクリックすると、該当する工事項目にジャンプし、素早く修正することができます。

事前チェック

必要チェック項目: 2件 更新 売単価0円をチェックしない

工事別	行目	工事項目	チェック内容	確認
基礎工事	2	独立基礎	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>
雑工事	1	運搬費	「売単価」が0円になっています。	<input type="checkbox"/>

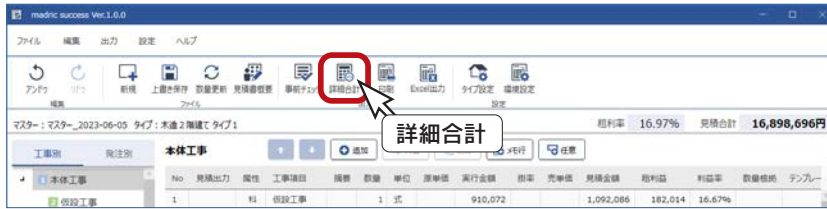
該当する工事項目にジャンプ

詳細合計

値引き設定を行います。合計金額を固定し、逆算することも可能です。



(詳細合計) をクリック、または「出力」⇒「詳細合計」を選択すると、詳細合計のダイアログが表示されます。



設定変更

ダイアログの上部に、現在設定されている値引き対象と粗利対象が表示されます。

「設定変更」をクリックすると、「環境設定」の「詳細合計設定」タブが表示され、設定を変更できます。以下のダイアログは、「値引き対象：税別 粗利対象：税別」の例です。

現在の設定

値引き対象：税別 粗利対象：税別

環境設定

詳細合計設定

現在の消費税率

消費税率 10.0% [Z] で計算しています。

表の右下に現在の消費税率が表示されます。消費税率は、「環境設定」の「消費税設定」タブで、税率、端数処理を変更できます。

設定変更に応じて、表の項目が変わります。以下は、変更例です。

値引き対象：税込 粗利対象：税別

見積金額 [A] 16,898,695 円(税別)

値引き [D] 0 円(税別)

見積金額合計 [A'] 18,588,565 円(税込) [A'=A+D] **税込**

見積金額合計 [A''] 18,588,565 円(税込) [A''=A'-D]

見積金額 [G] 16,898,696 円(税別) [G=A''/(1+Z)]

消費税額 [C] 1,689,869 円 [C'=A''-G]

実行金額 [B] 14,031,791 円(税別) **税別**

粗利金額 [E] 2,866,905 円(税別) [E=G-B]

粗利率 [F] 16.97 % [F=E/G]

値引き対象：税込 粗利対象：税込

見積金額 [A] 16,898,695 円(税別)

消費税額 [C] 1,689,870 円 [C=A×Z]

見積金額合計 [A'] 18,588,565 円(税込) [A'=A+C] **税込**

値引き [D] 0 円(税込)

見積金額合計 [A''] 18,588,565 円(税込) [A''=A'-D]

見積金額 [G] 16,898,696 円(税別) [G=A''/(1+Z)]

消費税額 [C'] 1,689,869 円 [C'=A''-G]

実行金額 [B] 14,031,791 円(税別)

実行金額合計 [B'] 15,434,971 円(税込) [B'=B(1+Z)] **税込**

粗利金額 [E] 3,153,594 円(税込) [E=A''-B']

粗利率 [F] 16.97 % [F=E/A'']

■ 値引き入力

値引きを入力して設定する場合は、以下のように操作します。
ダイアログは、「値引き対象：税別 粗利対象：税別」の例です。

- ①値引きの欄をクリックすると入力できる状態になるので、値引き金額を入力
- ②「再計算」をクリック
 - * 見積金額合計（税別）、消費税額、見積金額合計（税込）、粗利金額が再計算されます。
 - * 「リセット」をクリックすると、値引きが「0」の状態に戻ります。

項目	値	計算式
見積金額 [A]	16,898,695 円(税別)	
値引き [D]	8,695 円(税別)	
見積金額合計 [A']	16,898,695 円(税別)	[A'=A-D]
消費税額 [C]	1,689,870 円	[C=A'×Z]
見積金額合計 [A'']	18,588,565 円(税込)	[A''=A'+C]
実行金額 [B]	14,031,791 円(税別)	
粗利金額 [E]	2,866,904 円(税別)	[E=A'-B]
粗利率 [F]	16.97 %	[F=E/A']

項目	値	計算式
見積金額 [A]	16,898,695 円(税別)	
値引き [D]	8,695 円(税別)	
見積金額合計 [A']	16,890,000 円(税別)	[A'=A-D]
消費税額 [C]	1,689,000 円	[C=A'×Z]
見積金額合計 [A'']	18,579,000 円(税込)	[A''=A'+C]
実行金額 [B]	14,031,791 円(税別)	
粗利金額 [E]	2,858,209 円(税別)	[E=A'-B]
粗利率 [F]	16.92 %	[F=E/A']

■ 値引き逆算

見積金額を固定して、逆算により値引きを設定する場合は、以下のように操作します。
ダイアログは、「値引き対象：税別 粗利対象：税別」の例です。

- ①「見積金額合計 [A'] を固定」を ON(☑) にする
- ②見積金額合計 [A'] の欄をクリックすると入力できる状態になるので、金額を入力
- ③「再計算」をクリック
 - * 値引き、見積金額合計（税別）、消費税額、粗利金額が再計算されます。
 - * 「リセット」をクリックすると、値引きが「0」の状態に戻ります。

項目	値	計算式
見積金額 [A]	16,898,695 円(税別)	
値引き [D]	0 円(税別)	
見積金額合計 [A']	16,898,695 円(税別)	[A'=A-D]
消費税額 [C]	1,689,870 円	[C=A'×Z]
見積金額合計 [A'']	18,580,000 円(税込)	[A''=A'+C]
実行金額 [B]	14,031,791 円(税別)	
粗利金額 [E]	2,866,904 円(税別)	[E=A'-B]
粗利率 [F]	16.97 %	[F=E/A']

項目	値	計算式
見積金額 [A]	16,898,695 円(税別)	
値引き [D]	7,786 円(税別)	
見積金額合計 [A']	16,890,909 円(税別)	[A'=A-D]
消費税額 [C]	1,689,091 円	[C=A'×Z]
見積金額合計 [A'']	18,580,000 円(税込)	[A''=A'+C]
実行金額 [B]	14,031,791 円(税別)	
粗利金額 [E]	2,859,118 円(税別)	[E=A'-B]
粗利率 [F]	16.93 %	[F=E/A']

印刷設定

見積書出力に関する設定を行います。



(印刷) をクリック、または「出力」⇒「印刷」を選択すると、印刷設定のダイアログが表示されます。



印刷形式

A4 縦、A4 横、実行予算のいずれかに設定します。
実行予算に設定した場合は、内訳項目のみ設定します。

印刷の実行には、担当者情報の入力が必要です。
見積書概要の担当者情報をご確認ください。
(⇒ [P.27](#) 参照)

担当者電話番号 (連絡先)

見積書に表示のあり/なしを設定します。

社判

見積書に表示のあり/なしを設定します。
社判の登録は、見積書概要の会社情報で行います。

確認印欄

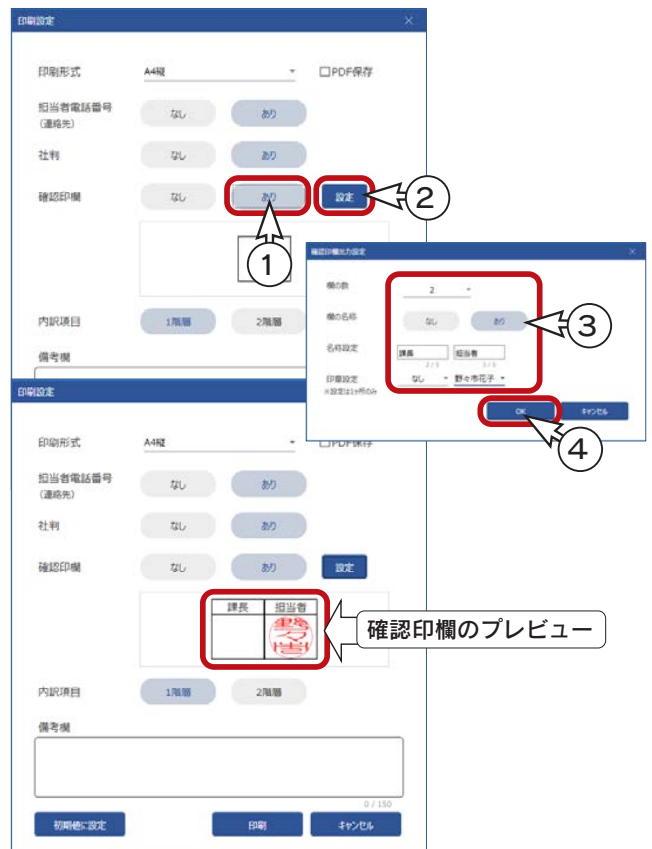
見積書に表示のあり/なしを設定します。
ありの場合は、以下のように操作して、出力設定を行います。

- ① 「確認印欄」の「あり」をクリック
- ② 「設定」をクリック
* 確認印欄出力設定のダイアログが表示されます。
- ③ 以下の項目を設定

欄の数 …… 最大4つまで
欄の名称 …… あり/なしを設定
名称設定 …… 欄の名称が有りの場合に入力
印章設定 …… いずれか1ヶ所の欄に設定可能

* 印章の登録は、見積書概要の担当者情報で行います。

- ④ 「OK」をクリック
* 確認印欄にプレビューが表示されます。



■ 内訳項目

見積書の内訳に表示させる項目の階層を設定します。
1 階層、2 階層のいずれかに設定します。

1 階層の例

1/1

御見積書

見積No. 001
発行日 2023年06月05日

田中 三郎 様

株式会社シーベエ
本社
〒921-8043
石川県金沢市西泉4-60
CPUビル
TEL.076-280-8001
担当: 野々中花子
連絡先: 090-0000-0000

工 事 件 名: 田中三郎様邸新築工事
工 事 場 所: 石川県〇〇市〇〇町〇〇〇〇
見積有効期限: 2023年06月末日
受け渡し期日: 2023年12月末日
別 途 工 事: 外構工事

御見積金額	
工事金額	16,890,909 円
消費税額	1,689,091 円
合計金額	18,580,000 円

No	項目	数量	単位	金額
1	本体工事	1	式	16,298,695
2	諸経費	1	式	600,000
	値引き			7,786
	小計			16,890,909
	消費税(10.0%)			1,689,091
合計金額				18,580,000

備考

2 階層の例

1/1

御見積書

見積No. 001
発行日 2023年06月05日

田中 三郎 様

株式会社シーベエ
本社
〒921-8043
石川県金沢市西泉4-60
CPUビル
TEL.076-280-8001
担当: 野々中花子
連絡先: 090-0000-0000

工 事 件 名: 田中三郎様邸新築工事
工 事 場 所: 石川県〇〇市〇〇町〇〇〇〇
見積有効期限: 2023年06月末日
受け渡し期日: 2023年12月末日
別 途 工 事: 外構工事

御見積金額	
工事金額	16,890,909 円
消費税額	1,689,091 円
合計金額	18,580,000 円

No	項目	数量	単位	金額
1	本体工事	1	式	16,298,695
1-1	仮設工事	1	式	1,092,086
1-2	基礎工事	1	式	1,573,304
1-3	木工事	1	式	7,150,490
1-4	屋根工事	1	式	328,949
1-5	外装工事	1	式	723,898
1-6	左官工事	1	式	56,484
1-7	サッシ工事	1	式	1,363,200
1-8	木製建具工事	1	式	1,052,160
1-9	内装工事	1	式	442,388
1-10	雑工事	1	式	313,736
1-11	電気設備工事	1	式	30,000
1-12	衛生設備工事	1	式	1,152,000
1-13	住宅設備工事	1	式	1,020,000
2	諸経費			600,000
2-1	諸費用	1	式	600,000
	値引き			7,786
	小計			16,890,909
	消費税(10.0%)			1,689,091
合計金額				18,580,000

備考

■ 備考欄

見積書の備考に出力したい内容がある場合は、入力してください。

■ 初期値に設定

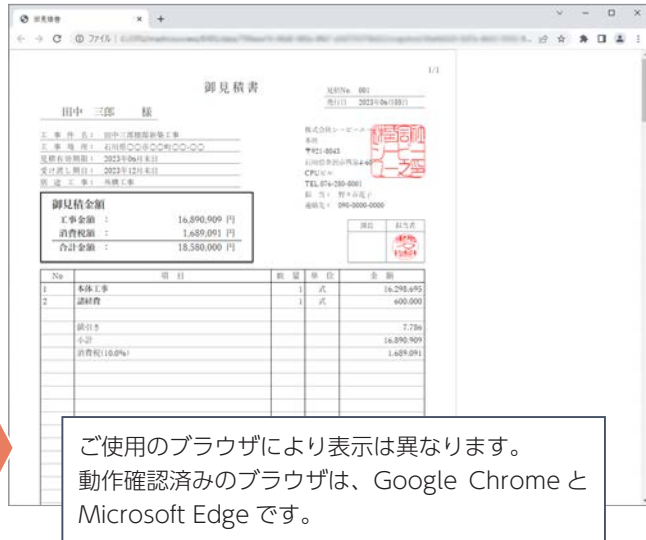
「初期値に設定」をクリックすると、現在の出力設定を初期値に設定します。

ブラウザでプレビュー

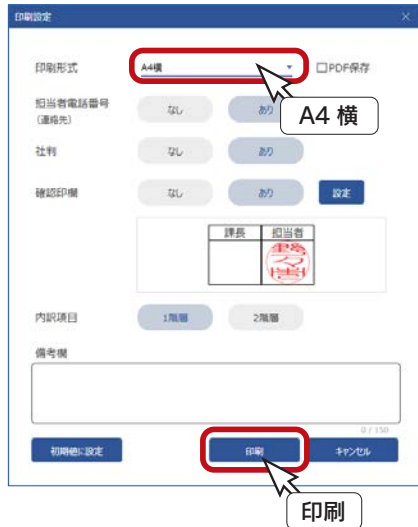
印刷設定のダイアログの「印刷」をクリックすると、既定のブラウザに見積書がプレビューされます。

PDF 保存は OFF に
印刷を実行する場合は、「PDF 保存」は OFF() にしてください。

■ A4 縦の例



■ A4 横の例




■ 実行予算の例

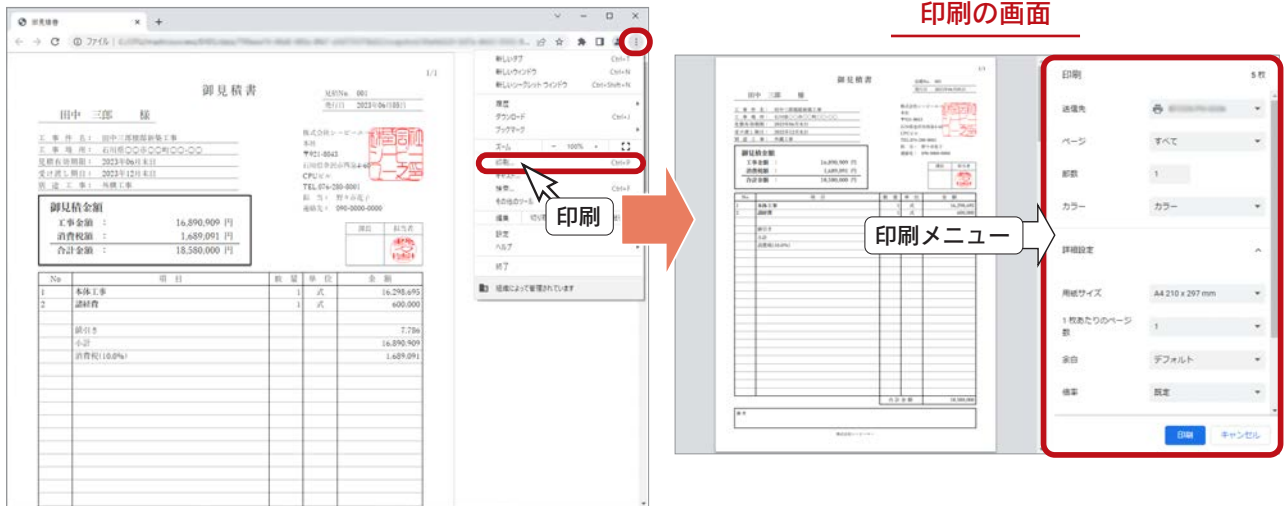


ブラウザで印刷

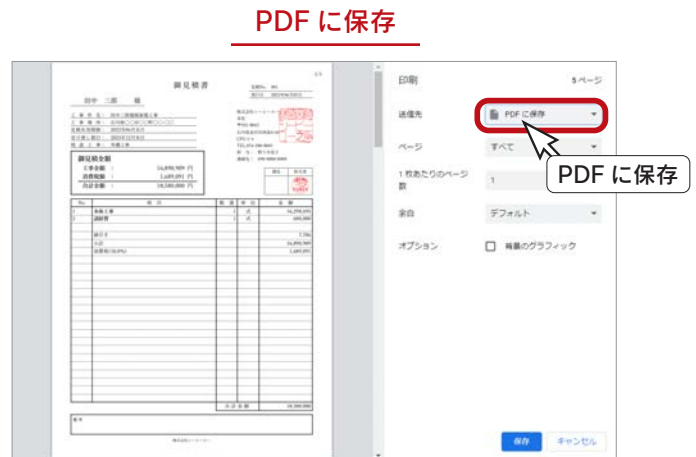
印刷は、ブラウザ上で実行します。

印刷方法は、ご利用のブラウザにより異なります。ご利用のブラウザの印刷方法に従ってください。

例えば Google Chrome の場合は、Ctrl + P キーを押す、または画面右上の  をクリックし「印刷」を選択すると、印刷の画面が表示されます。以下は、A4 縦の例です。



送信先を「PDF に保存」に設定すると、保存先、ファイル名を指定して、PDF ファイルに保存することができます。



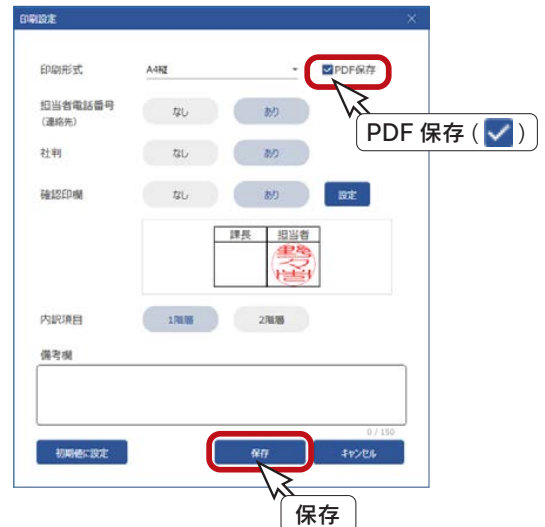
PDF 保存

印刷設定のダイアログの「PDF 保存」を ON() にすると、「印刷」ボタンが「保存」に変わります。

出力形式等を設定し、「保存」をクリックすると、見積書を PDF データとして保存します。

保存先、ファイル名

保存先は、A's インストール先の「[DATA]」フォルダーです。ファイル名は、見積書情報の見積名が入力されている場合は、「見積名+見積書+日時」になります。見積名が入力されていない場合は、「見積書+日時」になります。




Excel 出力

見積書を、Microsoft Excel 形式で出力します。Excel にて確認、修正し、印刷することができます。

Excel 2019 以降に対応しています。
お使いの Excel によって画面イメージが異なることがありますので、ご了承ください。

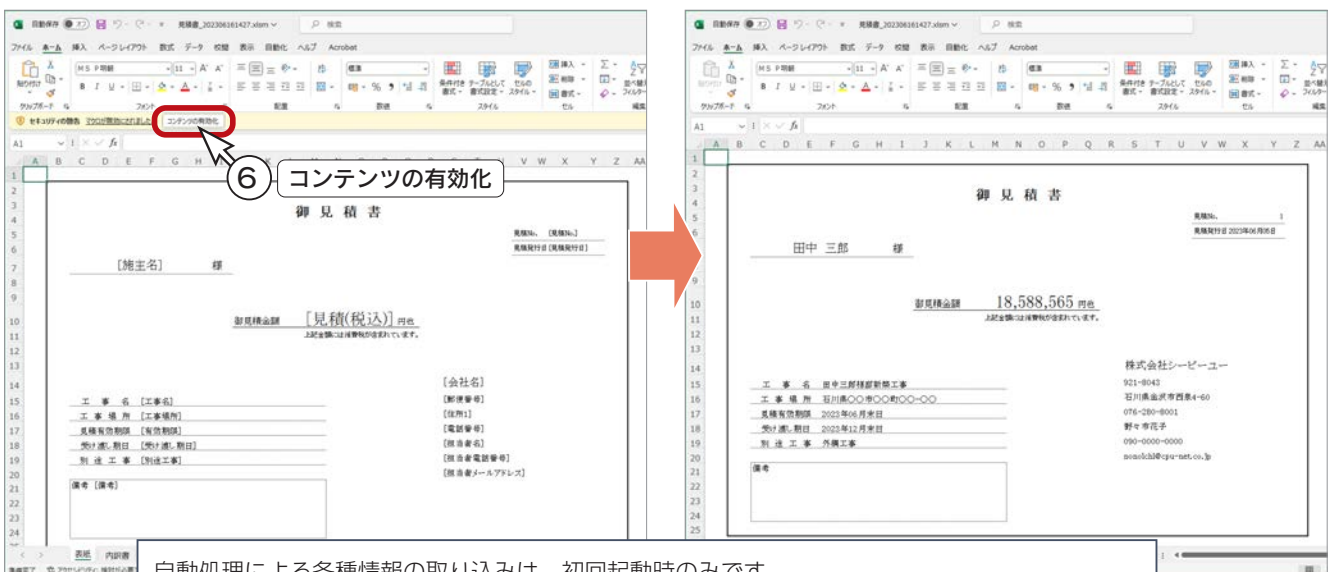
Excel 出力は、以下のように操作します。

- ①  (Excel 出力) をクリック、または「出力」⇒「Excel 出力」を選択
 - * Excel 出力のダイアログが表示されます。
- ② ファイルを選択
 - * 初期は 3 パターンが標準登録されています。
 - 以下の例では、「見積書 A4 横サンプル.xlsm」を選択しています。
- ③ 内訳に表示させる項目の階層を、1 階層、2 階層のいずれかに設定
- ④ 必要に応じて、備考欄を入力
- ⑤ 「出力」 をクリック



* Excel が起動しますが、セキュリティの都合上、マクロが無効にされた状態で起動します。

- ⑥ 自動処理を行うために、セキュリティの警告の「コンテンツの有効化」をクリック
 - * 見積書概要、見積書の各種情報を取り込み、内容を反映した表紙、内訳書、明細書が表示されます。



自動処理による各種情報の取り込みは、初回起動時のみです。
表紙、内訳書、明細書を表示後は、内容の修正も可能となりますので、取り込みは行われません。

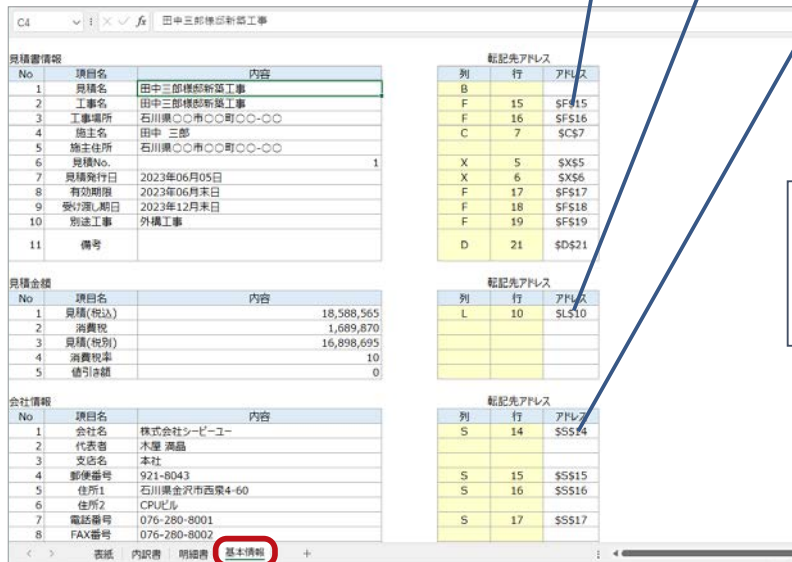
■ 見積書 A4 横の例

見積書 A4 横の表紙は、見積書概要から転記されます。
直接入力することもできます。

見積書 A4 横 - 表紙



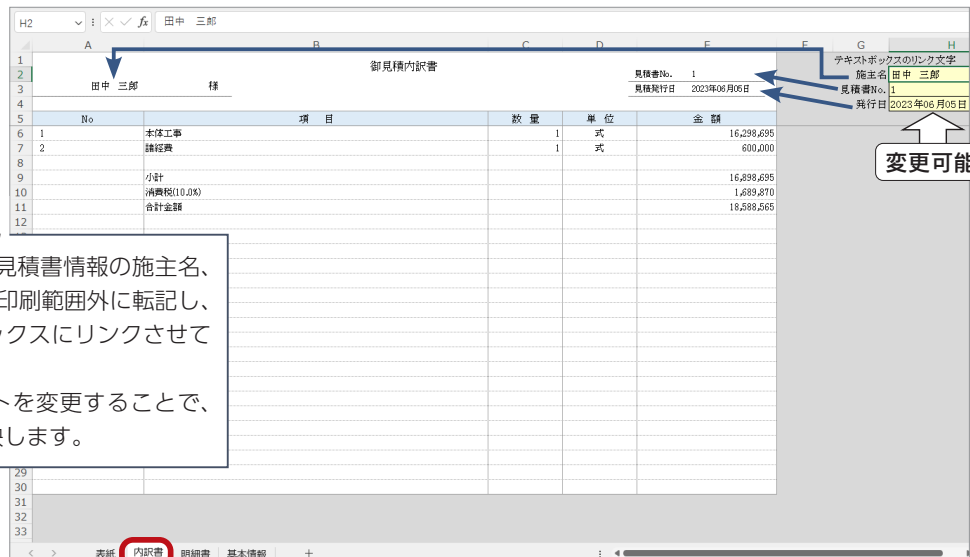
見積書 A4 横 - 基本情報



表紙へ直接転記

「基本情報」シートに見積書概要の見積書情報、見積金額、会社情報等を取り込み、「表紙」シートの転送先のアドレスを指定しています。

見積書 A4 横 - 内訳書



内訳書へ間接転記

「内訳書」シートは、見積書情報の施主名、見積書 No.、発行日を印刷範囲外に転記し、そこからテキストボックスにリンクさせています。
印刷範囲外のテキストを変更することで、内訳書にも変更が反映します。

見積書 A4 横 - 明細書

明細書へ間接転記
 「明細書」シートも、見積書情報の施主名、見積書 No.、発行日を印刷範囲外に転記し、そこからテキストボックスにリンクさせています。
 印刷範囲外のテキストを変更することで、明細書にも変更が反映します。

変更可能

見積書 A4 縦 - 表紙

■ 見積書 A4 縦の例

見積書 A4 縦の表紙は、内訳書と共存形式です。
 表紙項目は、見積書概要から直接ではなく、間接的に転記されます。

変更可能

見積書 A4 縦 - 基本情報

変更可能

表紙へ間接転記

「基本情報」シートに見積書概要の各種情報を取り込み、「表紙」シートの印刷範囲外に転送先のアドレスを指定しています。
 さらに、そこからテキストボックスにリンクさせています。
 印刷範囲外のテキストを変更することで、表紙にも変更が反映します。

見積書 A4 縦 - 明細書

明細書へ間接転記

「明細書」シートも、見積書情報の施主名、見積書 No.、発行日を印刷範囲外に転記し、そこからテキストボックスにリンクさせています。
印刷範囲外のテキストを変更することで、明細書にも変更が反映します。

実行予算書 A4 横 - 内訳書

■ 実行予算書 A4 横の例

実行予算書 A4 横は、内訳書と明細書で構成されています。

内訳書・明細書へ間接転記

「内訳書」シート、「明細書」シートともに、見積書情報の工事名、発行日を印刷範囲外に転記し、そこからテキストボックスにリンクさせています。
印刷範囲外のテキストを変更することで、内訳書・明細書にも変更が反映します。

実行予算内訳書

実行予算書 A4 横 - 明細書


実行予算明細書

Excel 出力ーカスタマイズ

標準搭載の Excel ファイルをカスタマイズします。

自社仕様に合わせた表紙設定や、内訳書・明細書の行数、行高さ、文字書式の変更などができます。

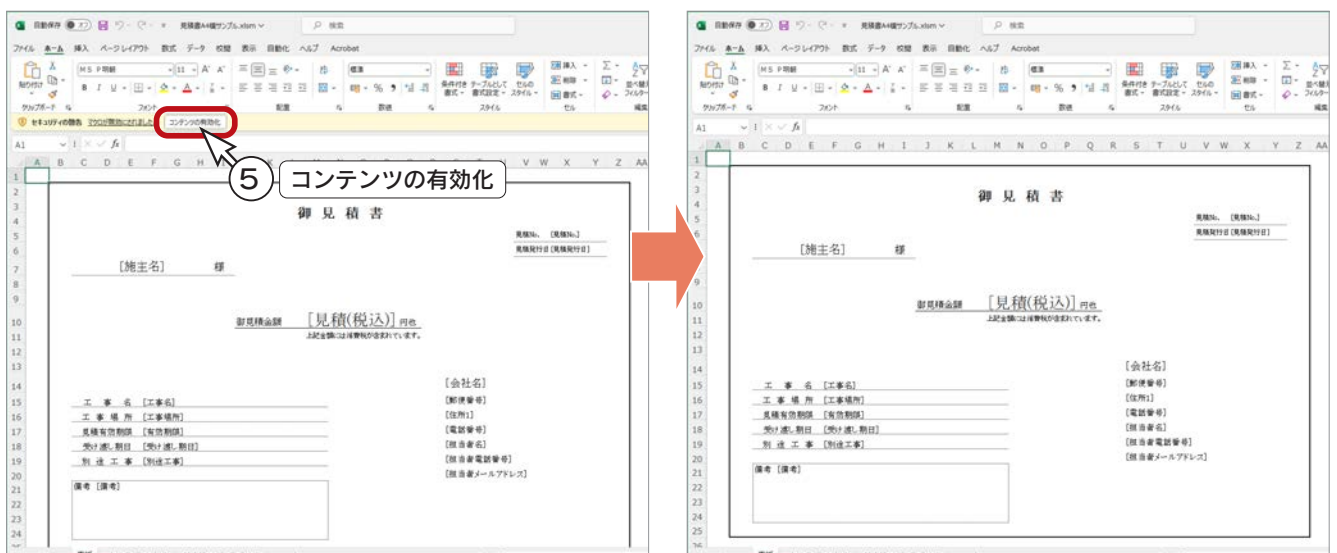
■ ファイルの読み込み

- ①  (Excel 出力) をクリック、または「出力」⇒「Excel 出力」を選択
 - * Excel 出力のダイアログが表示されます。
- ② 「ファイル編集」をクリック
 - * 編集するファイルの選択になります。
- ③ ファイルを選択
 - * 初期は 3 パターンが標準登録されています。
 - 以下の例では、「見積書 A4 横サンプル.xlsx」を選択しています。
- ④ 「OK」をクリック



* Excel が起動しますが、セキュリティの都合上、マクロが無効にされた状態で起動します。

- ⑤ セキュリティの警告の「コンテンツの有効化」をクリック
 - * 選択したファイルが表示され、編集が可能になります。



■ カスタマイズ可能項目

各ファイルごとのカスタマイズ可能項目は、以下のとおりです。

	見積書 A4 横	見積書 A4 縦	実行予算書 A4 横
表紙	フルカスタマイズ可能 シート保護なし	表紙項目と内訳書の共存形式 表紙項目部分のみカスタマイズ可能 内訳書の行数、行高さの指定可能 シート保護なし *内訳書部分を大きくカスタマイズすると 見積書作成で正しく転記されないため、 特に列は変更しないでください。	なし
内訳書	行数・行高さ指定可能	表紙の内訳書部分で足りないときに出現 行数・行高さ指定可能	行数・行高さ指定可能
明細書	行数・行高さ指定可能	行数・行高さ指定可能	行数・行高さ指定可能

*内訳書と明細書は、シート保護されていますが、表内のフォントなどの書式、およびテキストボックスなどのオブジェクトの編集は可能です。

■ 書式設定

ファイル編集で読み込んだ場合のみ、「書式設定」シートがあります。

以下は、「見積書 A4 横サンプル.xlsx」と「見積書 A4 縦サンプル.xlsx」の例です。

見積書 A4 横－書式設定

見積書 A4 縦－書式設定

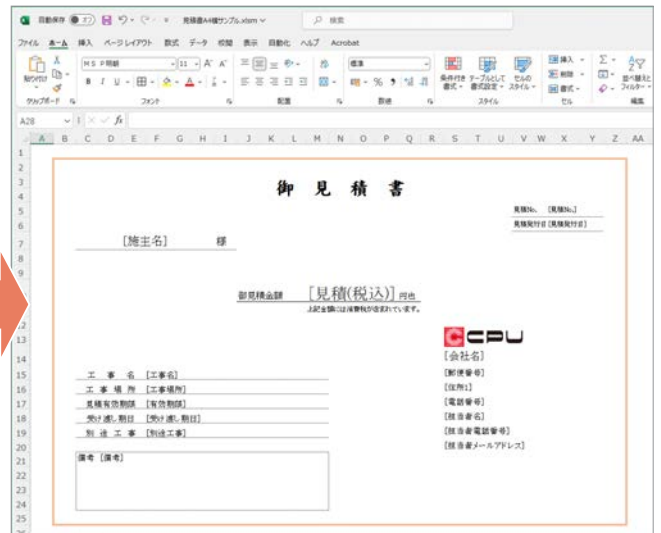
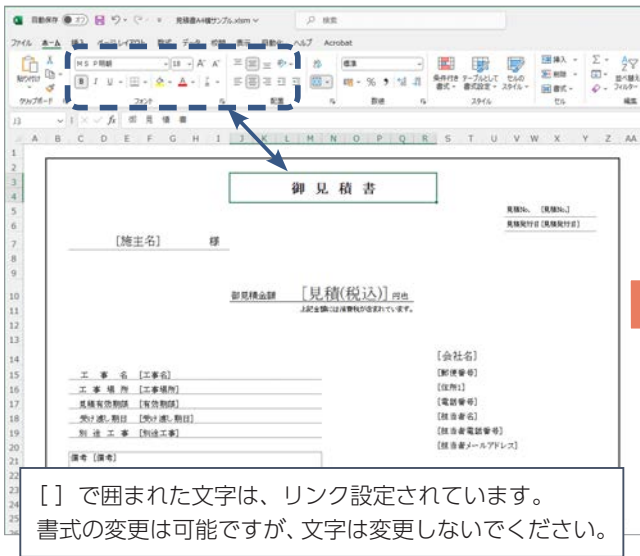
*内訳書と明細書について、行数・行高さ、フォント、フォントサイズなどを指定できます。
フッター中央文字も指定できます。

書式適用 (リセット) …… 書式設定の変更を該当のシートに適用します。

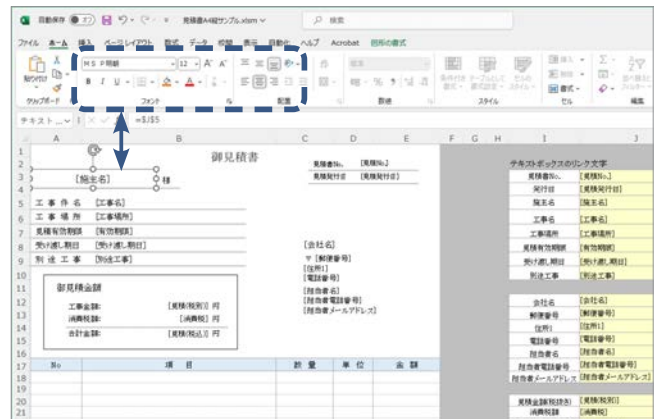
見積書作成 …… 書式設定の変更を該当のシートに適用後、見積書概要、見積書の各種情報を取り込み、内容を反映した表紙、内訳書、明細書を表示します。

■ 表紙のカスタマイズ

「見積書 A4 横」の表紙は、フルカスタマイズが可能です。
表示内容やフォント、フォントサイズを直接編集したり、ロゴの追加や罫線の変更も自由にできます。



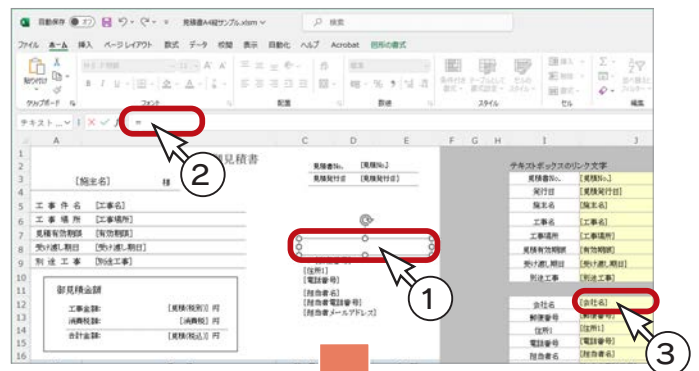
「見積書 A4 縦」の表紙部分は、直接編集が可能です。
また、内訳書、明細書のヘッダー部分、タイトル部分の書式も直接編集可能です。



■ リンク設定

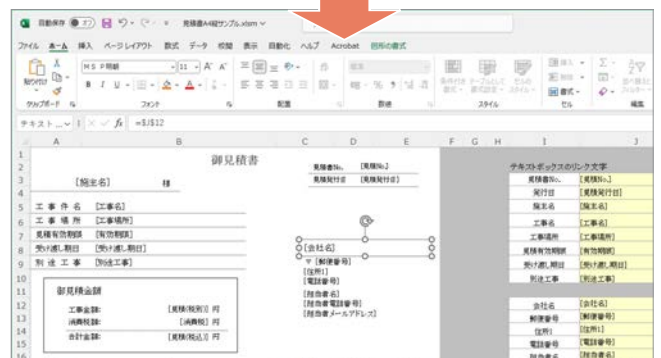
印刷範囲外の項目とテキストボックスとのリンクは、以下のように設定します。

- ①テキストボックスを選択
* 編集モードにしないでください。
- ②関数欄に「=」を入力
- ③印刷範囲外の項目を選択
* 「=」の後ろにアドレスが記入され、テキストボックス内にリンクした文字が表示されます。



編集モードとは

テキストボックスをダブルクリック、または選択状態でF2キーを押すと、ボックス内でカーソルが点滅します。この状態が編集モードです。



設定

メイン画面の設定処理について説明します。

マスター設定を開く

「設定」⇒「マスター設定を開く」を選択すると、マスター設定のダイアログが表示され、各種マスターの設定が可能です。

詳細は、第4章「マスター設定」をご覧ください。

タイプ設定

タイプを切り替えて、見積書を再作成します。
タイプ内のテンプレートを変更して、見積書に反映させることもできます。



(タイプ設定) をクリック、または「設定」⇒「タイプ設定」を選択すると、タイプ編集のダイアログが表示されます。

現在のタイプ

テンプレートの構成

分類	テンプレート	テンプレート	テンプレート
仮設	仮設標準	仮設	仮設標準
基礎	基礎(ベタ基礎)	基礎	基礎(ベタ基礎)概算
木工事	木工事	基礎	基礎(布基礎)概算
屋根	カラーベスト	基礎	基礎(ベタ基礎)
外装	サイディング	基礎	基礎(布基礎)
内装	内装A	木工事	木工事
断熱仕様	断熱仕様+基礎断熱	屋根	カラーベスト
サッシ	サッシオプション	屋根	和瓦葺
木製建具	木製建具オプション	屋根	洋瓦葺
電気設備	電気設備	屋根	鋼板平葺

■ タイプの切り替え

現在のタイプと異なるタイプを選択し、「OK」をクリックすると、選択したタイプで見積書が再作成されます。
タイプのテンプレートをもとに、科目、明細、見積金額も変わります。

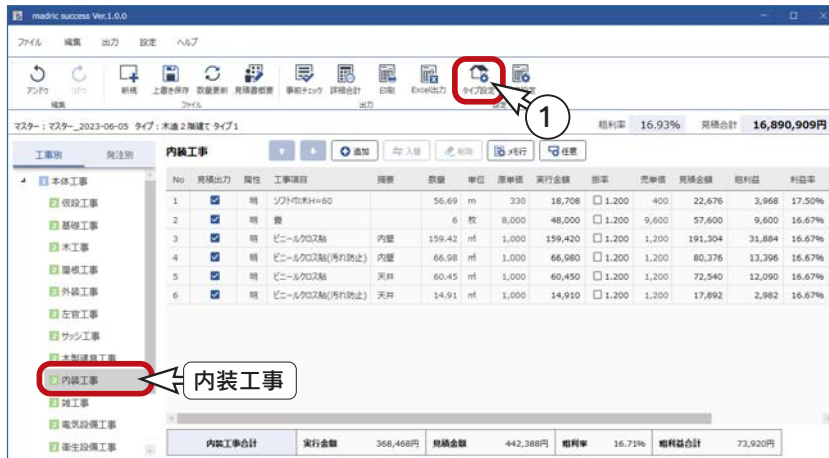
タイプを変更

科目、明細、見積金額がタイプに応じて変わる



OK

■タイプ内のテンプレート変更

現在のタイプのテンプレートを変更して、見積書に反映させることができます。

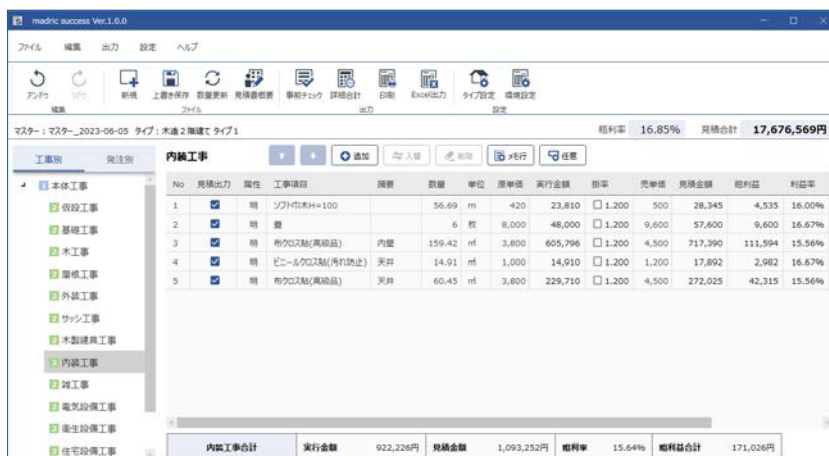


例えば、「内装工事」に6行の明細があったとします。

- ①  (タイプ設定) をクリック、または「設定」⇒「タイプ設定」を選択
- ② 左側のテンプレート (ここでは「内装 A」) を選択
- ③ 右側のテンプレート候補 (ここでは「内装 B」) を選択
- ④  をクリック
* テンプレートが入れ替えられます。
- ⑤ 「OK」をクリック

タイプの別名保存

タイプのテンプレート構成を変更後、「保存」をクリックすると、タイプ名を入力して、新たなタイプとして追加することができます。



変更したテンプレートが、見積書に反映されます。
この例では、「内装工事」の明細が5行になります。

環境設定

見積書の保存・読み込みの初期設定や、消費税、値引き、粗利に関する設定を行います。



(環境設定) をクリック、または「設定」⇒「環境設定」のいずれかを選択すると、環境設定のダイアログが表示されます。



■ 基本設定

基本設定では、以下の項目を設定できます。

数量算出結果 (CSV)	A's の数量算出結果 (CSV) の場所 初期設定は、A's インストール先の 「WORK ¥SEKISAN」 「参照」から変更可能
見積書保存場所	見積書データ (拡張子:mit) の保存場所 初期設定は、A's インストール先の 「DATA」 「参照」から変更可能
端数処理	切り上げ、四捨五入、切り捨てから選択
フォントサイズ	明細のフォントサイズを設定 8～18ピクセルの間で調整可能 初期設定は、13ピクセル



■ 消費税設定

消費税設定では、以下の項目を設定できます。

消費税設定	消費税の税率を入力 (初期値: 10%) 複数税率は未対応
端数処理	切り上げ、四捨五入、切り捨てから選択



■ 詳細合計設定

詳細合計設定では、以下の項目を設定できます。

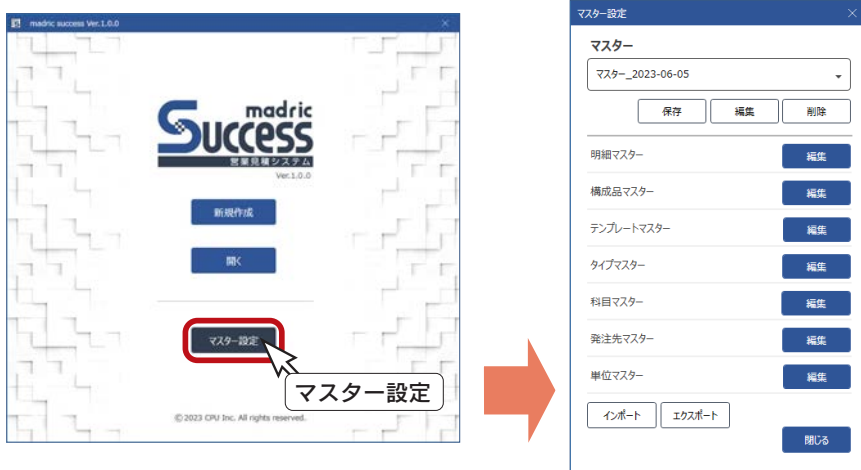
値引きタイトル変更	印刷＆詳細合計に表示される値引きタイトルを変更可能
値引き対象	3種から選択 税込: 税込金額から値引きをする 税別: 税別金額から値引きをする 値引きなし: 値引きをしない
粗利対象	税込、税別から選択



4 マスター設定

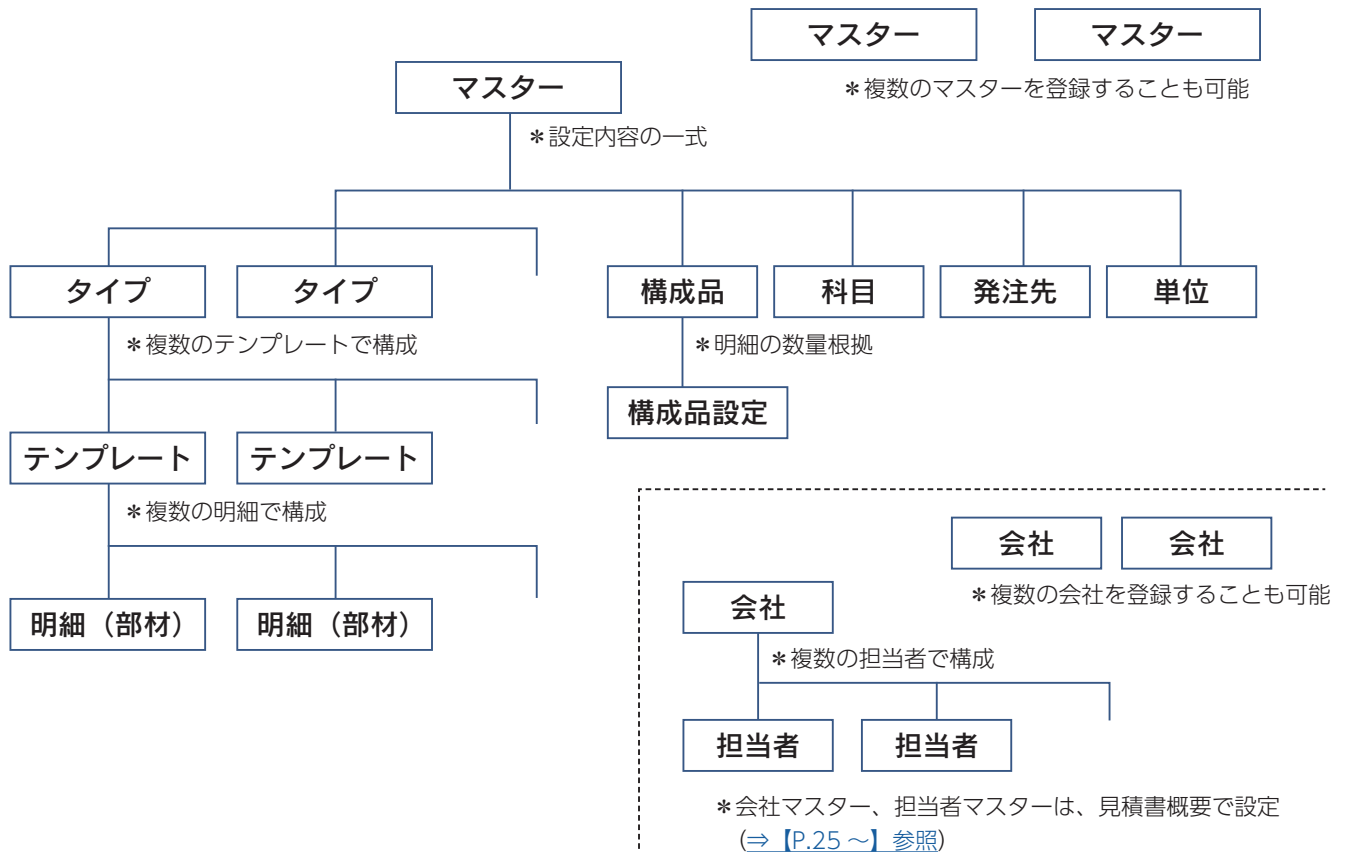
madric success のマスター設定について説明します。
 マスター設定は、以下のいずれかの方法で起動します。

- ・ madric success のスタート画面の「マスター設定」をクリック
- ・ 見積書概要のダイアログにて、「タイプマスター編集」⇒「マスター設定」を選択
- ・ メイン画面にて、「設定」⇒「マスター設定を開く」を選択



マスターの構成

madric success のマスターの構成は、以下のようになっています。



マスターの管理

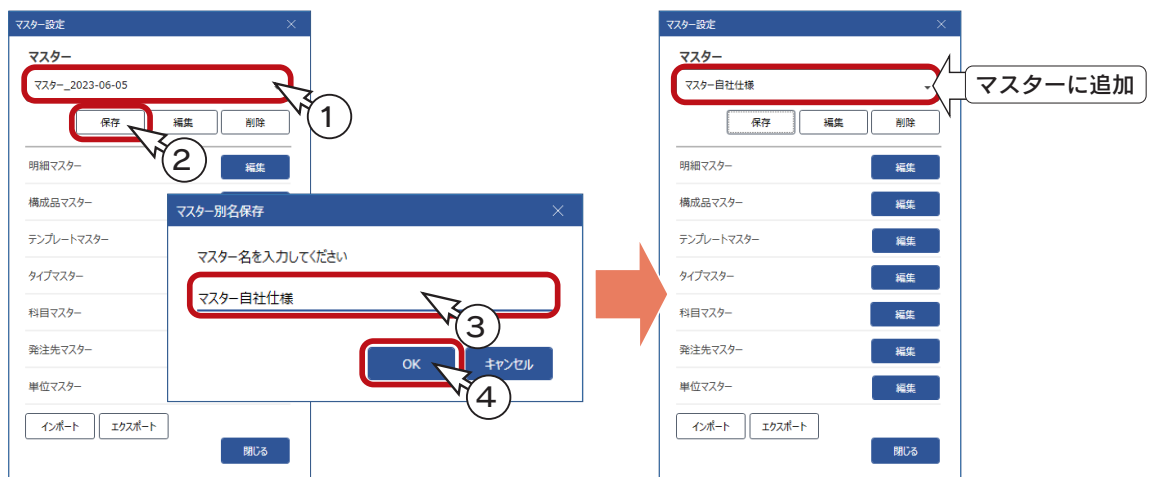
マスター設定のダイアログの上部にて、マスターの別名保存、名称編集、削除が可能です。

madric success オリジナルのマスターは、初回起動時の新規マスター名で入力した名称になっています。マスターを自社用に編集される場合は、madric success オリジナルのマスターを別名保存してから編集されることをお勧めします。

別名保存

現在保存されているマスターを、別名で保存します。以下のように操作します。

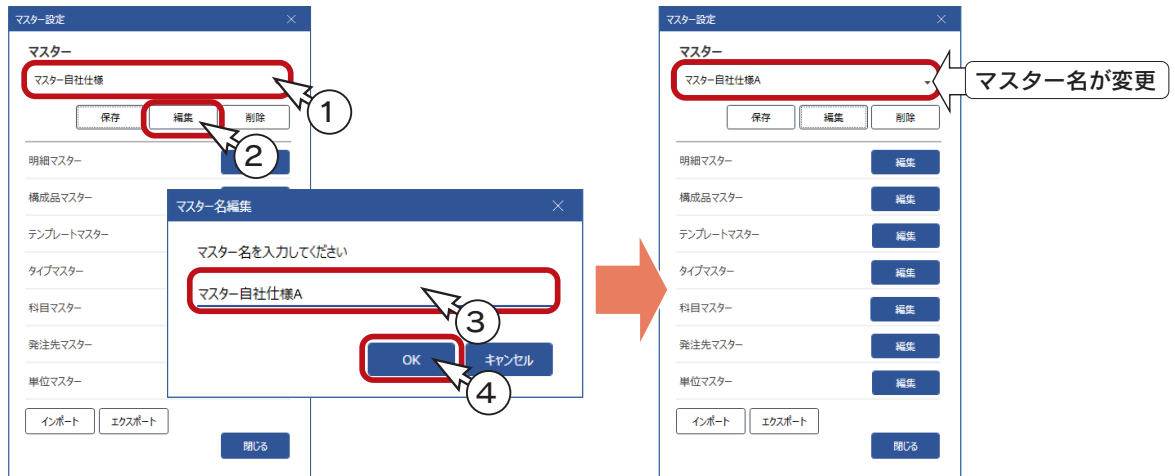
- ①複数のマスターが保存されている場合は、別名保存するマスターを選択
 - * マスター別名保存の画面が表示されます。
- ②「保存」をクリック
 - * マスター別名保存の画面が表示されます。
- ③マスター名を入力
 - * 以下の例では、「マスター自社仕様」と入力しています。
- ④「OK」をクリック
 - * マスターが入力した名称で保存されます。



名称編集

現在保存しているマスターの名称を編集します。以下のように操作します。

- ①複数のマスターが保存されている場合は、名称編集するマスターを選択
- ②「編集」をクリック
 - * マスター名編集の画面が表示されます。
- ③マスター名を変更
 - * 以下の例では、「マスター自社仕様 A」に変更しています。
- ④「OK」をクリック
 - * マスターが入力した名称に変更されます。



削除

現在保存しているマスターを削除します。以下のように操作します。

- ①削除するマスターを選択
- ②「削除」をクリック
 - * 通知の画面が表示されます。
- ③削除してよい場合は「OK」を、
削除を中止する場合は「キャンセル」をクリック
 - * 以下の例では、「キャンセル」をクリックしています。

マスターは、1つは残すようにしてください。
1つも残らない場合は、削除できません。



明細マスター

明細マスターを編集します。

マスター設定ダイアログの明細マスターの「編集」をクリックすると、明細マスターの画面が表示されます。



明細の絞り込み

表示する明細を、工事項目、科目、発注先で絞り込むことができます。

条件を設定し、「検索」をクリックしてください。以下は、科目を「仮設工事」に設定して絞り込んだ例です。



明細の上下移動

明細行をクリック後、 (上へ) または (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。



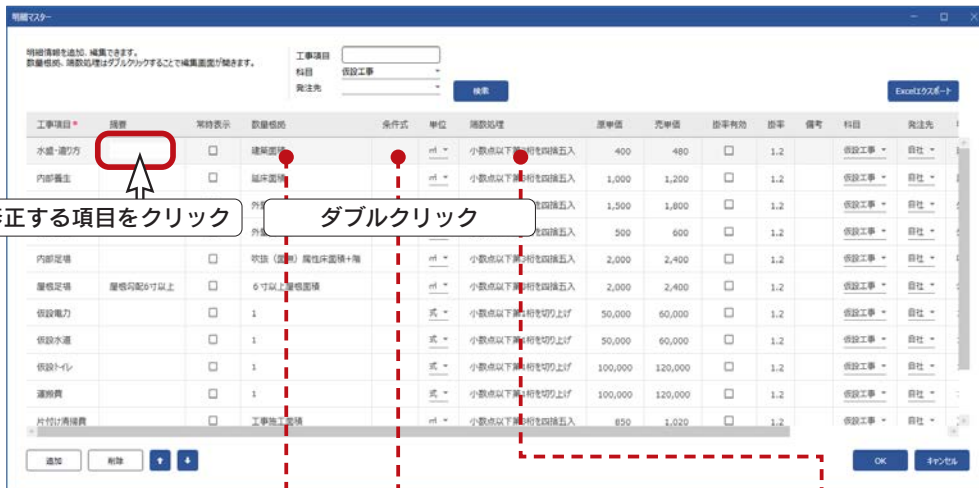
明細情報の修正

既存の明細情報を修正します。
明細情報の項目は、右のとおりです。

- * 直接入力は、項目をクリックすると入力できる状態になります。
- * 有 () 無 () は、クリックして切り替えます。
- * 数量根拠、端数処理は、ダブルクリックすることで編集画面が開きます。

明細情報の項目

工事項目	直接入力 (* 必須入力項目)
摘要	//
常時表示	数量が0の場合に表示の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>)
数量根拠	ダブルクリックで編集画面へ
条件式	ダブルクリックで編集画面へ
単位	単位マスターから選択
端数処理	ダブルクリックで編集画面へ
原単価	直接入力
売単価	//
掛率有効	見積金額の計算に掛率使用の有 (<input checked="" type="checkbox"/>) 無 (<input type="checkbox"/>)
掛率	直接入力
備考	//
科目	科目マスターから選択
発注先	発注先マスターから選択
明細メモ	直接入力
数量根拠メモ	//



修正する項目をクリック

ダブルクリック

数量根拠設定

条件式設定

端数処理設定



* 切り上げ、四捨五入、切り捨てのいずれかに指定し、処理する小数点以下の桁数を指定します。

* 条件式設定の詳細は、[\[P.67\]](#) をご覧ください。

* 数量根拠設定の詳細は、次ページをご覧ください。

数量根拠設定

明細の数量根拠をダブルクリックすると、数量根拠設定のダイアログが表示されます。
現在の数量根拠が表示され、数量根拠を指定し直すことができます。

建築面積の例

計算式の欄は、直接編集が可能です。
画面下側の一覧は、使用できる構成品です。
構成品をクリック後「挿入」をクリックすると、計算式に {} 付で構成品 ID が挿入されます。
「区分」の設定により、構成品一覧の表示が変わります。
「抽出」に文字を入力することにより、設定した文字が含まれている構成品を表示できます。

計算式の欄は、直接編集が可能です。

画面下側の一覧は、使用できる構成品です。

構成品をクリック後「挿入」をクリックすると、計算式に {} 付で構成品 ID が挿入されます。

「区分」の設定により、構成品一覧の表示が変わります。

「抽出」に文字を入力することにより、設定した文字が含まれている構成品を表示できます。

- ・ 計算式の結果がその項目の数量として計上されます。
- ・ 構成品 ID を使用して計算式を作成できます。
- ・ 計算式には、加算「+」、減算「-」、乗算「*」、除算「/」、[(] 「」の演算子が使用できます。
- ・ 構成品 ID は {} で囲む必要があります。中の文字列は書き換えないようにしてください。
- ・ {} だけ記述した場合は、数値「1」を意味します。(1 と記述したことと同じ)
- ・ 計算式が空、もしくは 0 のときは設定できません。
- ・ 計算値の単位は、明細行で設定変更が可能です。
- ・ 計算値の値は、明細行の端数処理の設定に基づいて、四捨五入または、切り上げ、切り捨てを行います。

計算値は参考値

計算値は、現在参照している CSV ファイルをもとに計算した参考値です。
CSV ファイルの内容により異なります。

数値 1 の例

計算式の欄は、直接編集が可能です。
画面下側の一覧は、使用できる構成品です。
構成品をクリック後「挿入」をクリックすると、計算式に {} 付で構成品 ID が挿入されます。
「区分」の設定により、構成品一覧の表示が変わります。
「抽出」に文字を入力することにより、設定した文字が含まれている構成品を表示できます。

■ 計算式の例

複数の構成品を使った計算式の例を紹介します。

明細マスターにて「木工事」で検索を実行し、「構造用合板 12m/m」の行を表示します。
数量根拠をダブルクリックすると、計算式を確認できます。

木工事で検索

構造用合板 12m/m

ダブルクリック

計算式 : $(\{KHO_001870\} + \{KHO_001888\} + \{KHO_001900\}) / 1.656$
構成品式 : (洋室系床面積 + 水周り系床面積 + 収納系床面積) / 1.656

計算過程 : $(63.760000000000005 + 14.91 + 1.61) / 1.656$

計算値 : 55 枚

数量根拠 : 床面積

構成品一覧

構成品区分	構成品	構成品ID	単位	参考値	構成品Y/E
全体面積	建築面積	KHO_000001	㎡	53.83	
部屋面積	押入/戸面積	KHO_000005	㎡	1.66	

この計算式を入力してみましょう。

- ①明細マスターの画面で「追加」をクリック
- ②工事項目を入力（ここでは「計算式テスト」）
- ③単位、端数処理を設定
* 後で設定してもかまいませんが、ここでは「構造用合板 12m/m」と同じにします。
単位「枚」、端数処理「小数点以下第1桁を切り上げ」です。
- ④数量根拠をダブルクリック
* 数量根拠設定のダイアログが表示されます。
- ⑤区分に「床面積」と入力
* 床面積の構成品が表示されます。

1 追加

2 計算式テスト

3 単位、端数処理を設定

4 数量根拠をダブルクリック

5 区分に「床面積」と入力

ダブルクリック

端数処理設定

処理方法: 切り上げ 四捨五入 切り捨て

小数点以下の桁数: 1 ※1-9の範囲で入力してください

印刷: 1235

数量根拠設定

工事項目: 計算式テスト

計算式: 1

構成品式: 1

計算過程: 1

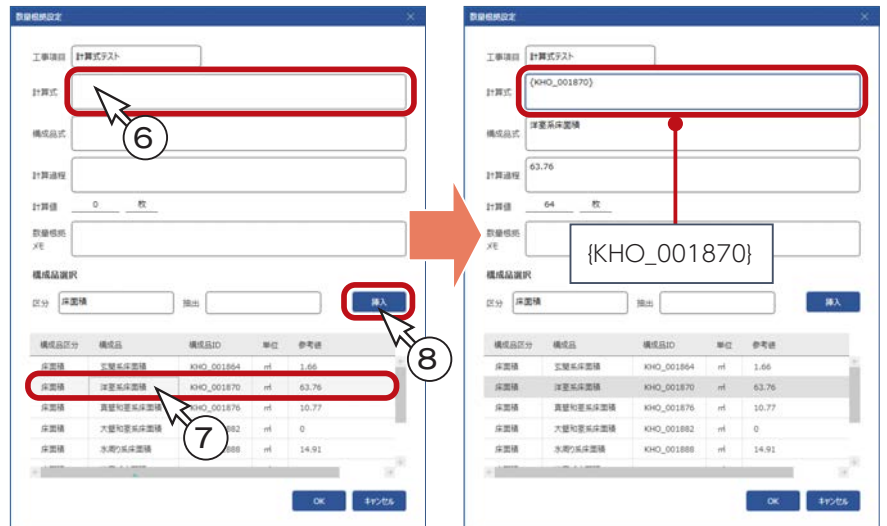
計算値: 1 枚

数量根拠: 床面積

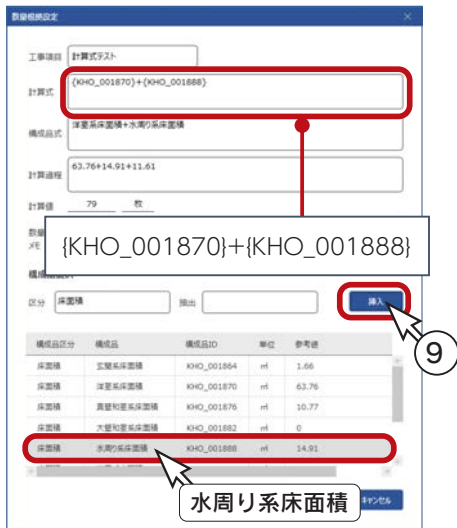
構成品一覧

構成品区分	構成品	構成品ID	単位	参考値
床面積	玄関系床面積	KHO_001864	㎡	1.66
床面積	洋室系床面積	KHO_001870	㎡	63.76
床面積	真鍮和室系床面積	KHO_001876	㎡	10.77
床面積	次室和室系床面積	KHO_001882	㎡	0
床面積	水周り系床面積	KHO_001888	㎡	14.91

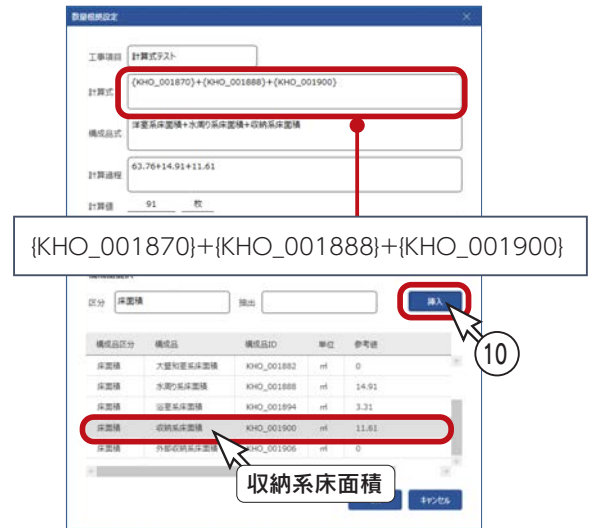
- ⑥計算式の「1」を削除
- ⑦構成品の「洋室系床面積」を選択
- ⑧「挿入」をクリック
*計算式に {KHO_001870} が
入力されます。



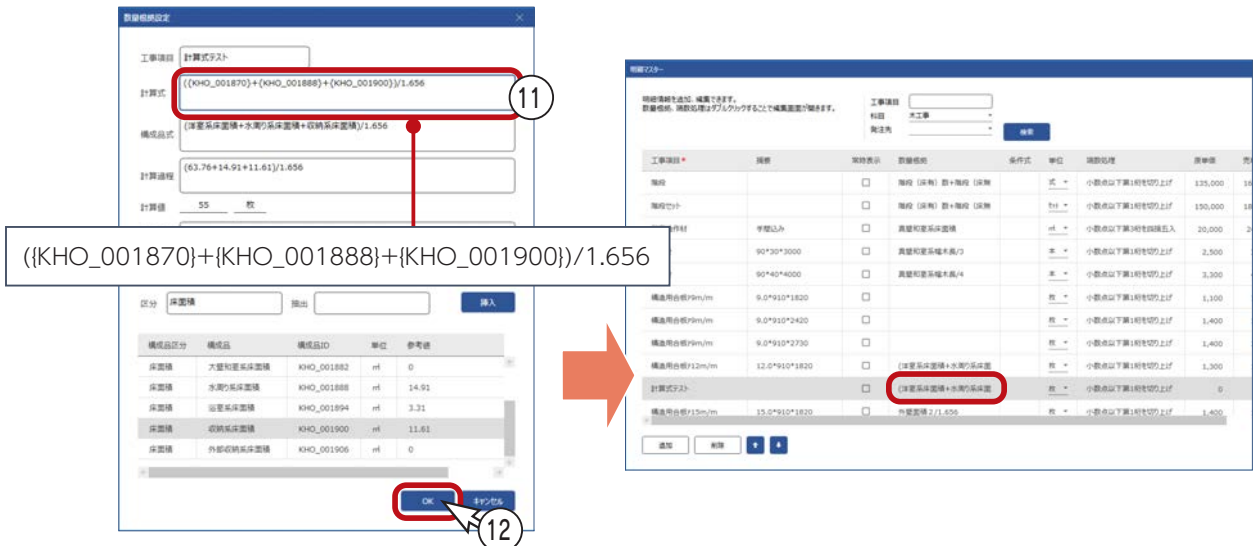
- ⑨計算式に「+」を追加後、
「水周り系床面積」を選択して「挿入」をクリック



- ⑩計算式に「+」を追加後、
「収納系床面積」を選択して「挿入」をクリック



- ⑪計算式に「()/1.656」を追加
* 1.656は、910 × 1820の板1枚の面積です。
- ⑫「OK」をクリック
* 明細の数量根拠に反映されます。



条件式設定

明細の条件式をダブルクリックすると、条件式設定のダイアログが表示されます。
明細を見積書に反映する条件式を設定することができます。



■ 条件式

数量根拠と同様に、条件式欄に構成部品を取り込み、演算記号、等号、比較記号で式を入力します。
画面下側の一覧は、使用できる構成部品です。
構成部品をクリック後「挿入」をクリックすると、条件式に {} 付で構成部品 ID が挿入されます。
「区分」の設定により、構成部品一覧の表示が変わります。
「抽出」に文字を入力することにより、設定した文字が含まれている構成部品を表示できます。

- ・ 構成部品 ID を使用して条件式を作成できます。
- ・ 条件式には「<」「<=」「>」「>=」「=」「!=」と、演算記号（「+」「-」「*」「/」「()」「」）が使用できます。
- ・ 「かつ」は「*」、「もしくは」は「+」を使います。
- ・ 構成部品 ID は {} で囲む必要があります。中の文字列は書き換えないようにしてください。
- ・ 「0<X<100」のような複合形式の不等号は、「(0<X)*(X<100)」と記述します。

例 1 :	条件 =	床面積が 10 以上のときに見積に反映する
	条件式 =	{KHO_000002}>=10
例 2 :	条件 =	床面積が 10 より大きくかつ 100 以下のときに見積に反映する
	条件式 =	(10<{KHO_000002})*({KHO_000002}<=100)
例 3 :	条件 =	床面積が 10 以下もしくは 100 より大きいときに見積に反映する
	条件式 =	({KHO_000002}<=10)+(100<{KHO_000002})
例 4 :	条件 =	床面積が 100 のときに見積に反映する
	条件式 =	{KHO_000002}=100
		※ 「=」 は全く同じかどうかの判断ですが、条件式の根拠数量に面積などの整数（小数の値がないもの）以外の数量が混在するとき、その値と全く同じになることはまれなので、使用時には注意が必要です。 根拠数量が全て箇所数や本数などの場合には使用できます。
例 5 :	条件 =	床面積が 100 以外のときに見積に反映する
	条件式 =	{KHO_000002}!=100
		※ 「!=」 も 「=」 と同様、使用時には注意が必要です。

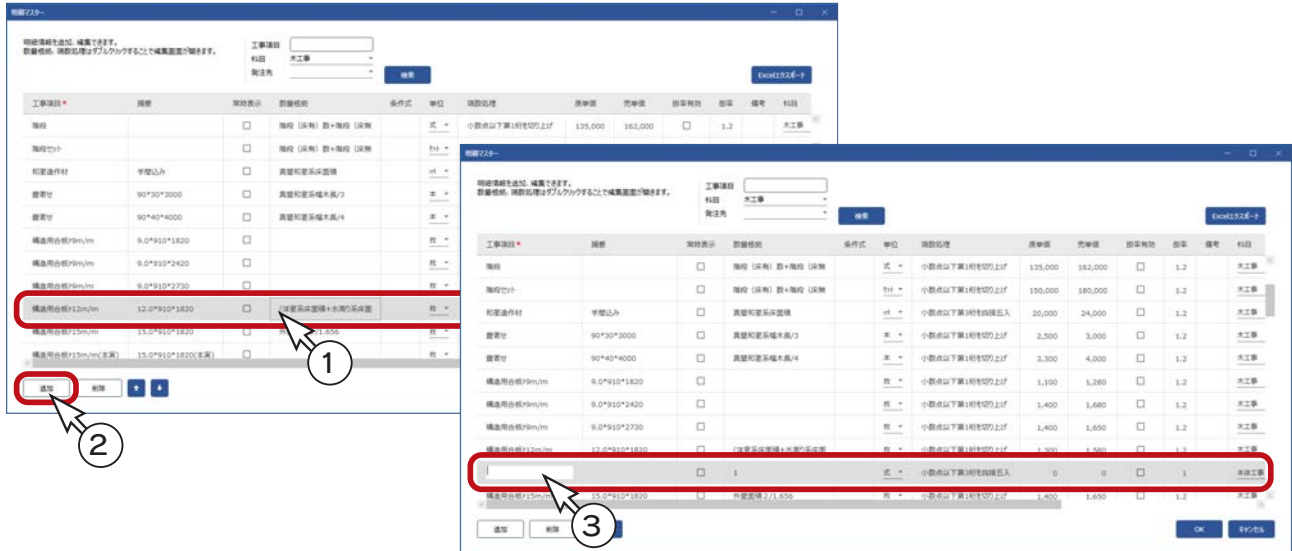
■ 判定

式が成り立つときは、判定が「○」で見積に反映します。
判定が「×」だと見積に反映しません。
なお、条件式が空のときは、常に見積に反映されます。

明細の追加

明細を追加します。以下のように操作します。

- ①追加する行を選択
- ②「追加」をクリック
* 選択した行の下に、空白の行が挿入で追加されます。
- ③明細情報を入力 (⇒ [P.63](#) 参照)
* 「工事項目」は、必須入力項目です。

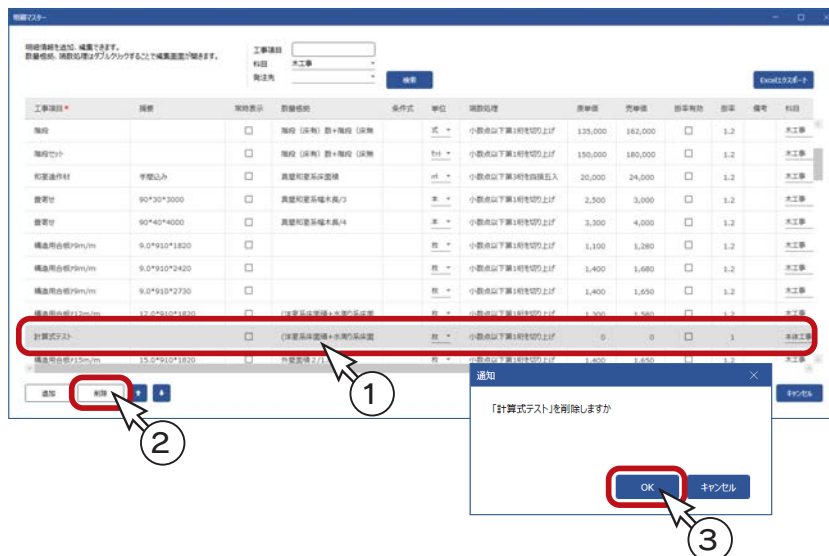


明細の削除

明細を削除します。以下のように操作します。

- ①削除する明細行を選択
- ②「削除」をクリック
* 確認のメッセージが表示されます。
- ③削除してよい場合は、「OK」をクリック
* 明細が削除されます。

テンプレートで使用中の明細は、削除できません。



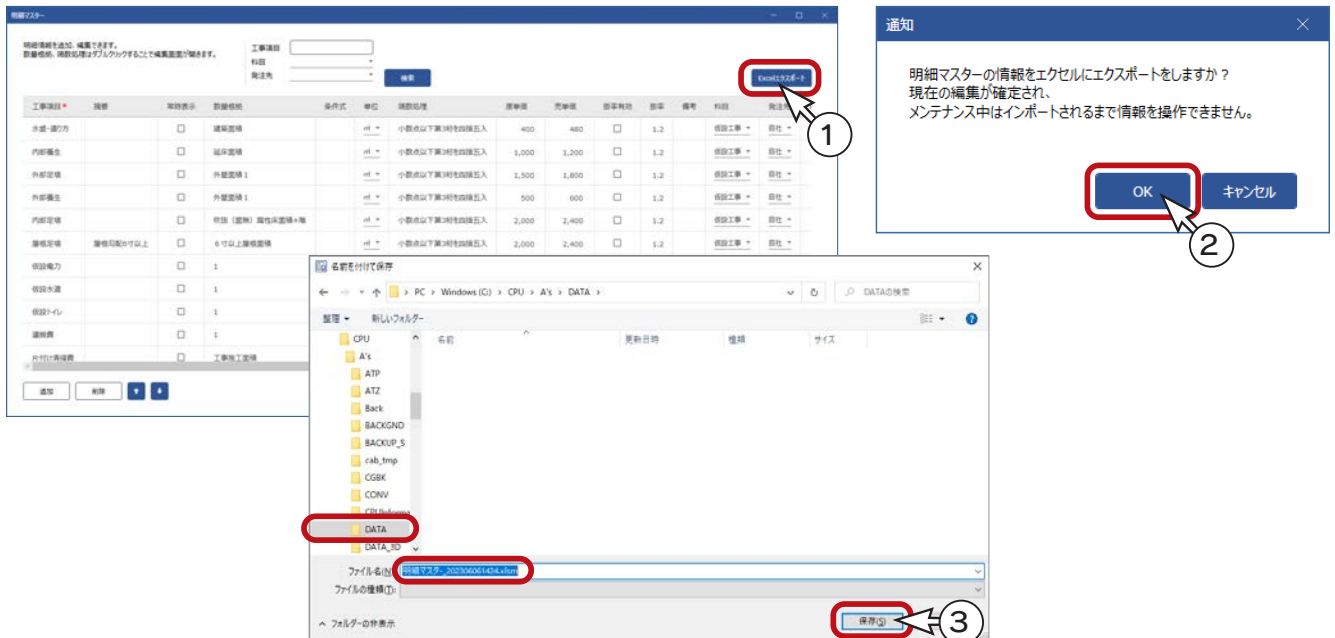
Excel によるメンテナンス

明細マスターの内容を Excel 形式でエクスポートし、Excel でメンテナンス（既存明細情報の変更、新規明細情報の追加）をすることができます。

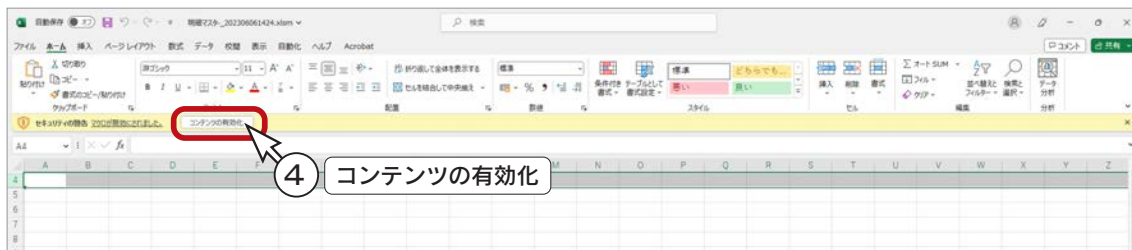
Excel 2019 以降に対応しています。
お使いの Excel によって画面イメージが異なることがありますので、ご了承ください。

■ エクスポート

- ①明細マスター画面の「Excel エクスポート」をクリック
- ②メッセージが表示されるので、内容をご確認の上「OK」をクリック
*名前を付けて保存のダイアログが表示されます。
- ③保存先、ファイル名を設定し「保存」をクリック
*保存先の初期設定は、A's インストール先の「DATA」フォルダーです。
*ファイル名の初期設定は、「明細マスター」に日時が付加されます。



- * Excel が起動しますが、セキュリティの都合上、マクロが無効にされた状態で起動します。
- ④自動処理を行うために、セキュリティの警告の「コンテンツの有効化」をクリック
* Excel 画面に明細マスターの内容が表示されます。



マスターのロック

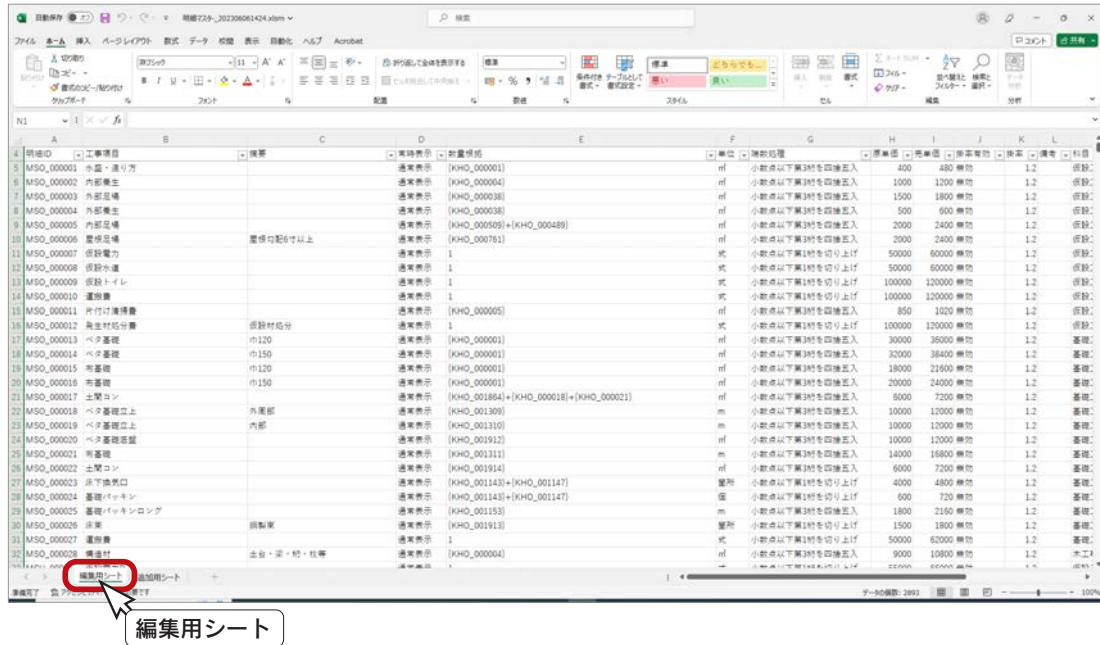
エクスポートした時点で、madric success の画面上からのメンテナンスは禁止（停止）されます。
(この状態での見積書作成は可能)
Excel 上でメンテナンスを行い、編集後のファイルをインポートすることで、madric success 上のメンテナンスが再開されます。

■ 編集用シート

編集用シートでは、既存明細の情報を変更できます。

「明細 ID」は、変更不可のためロックされています。

単位、科目、発注先はプルダウンメニューから選択できますが、内容を追加・編集することは、Excel 上からはできません。数量根拠は、構成 ID と計算式を使って直接編集できます。

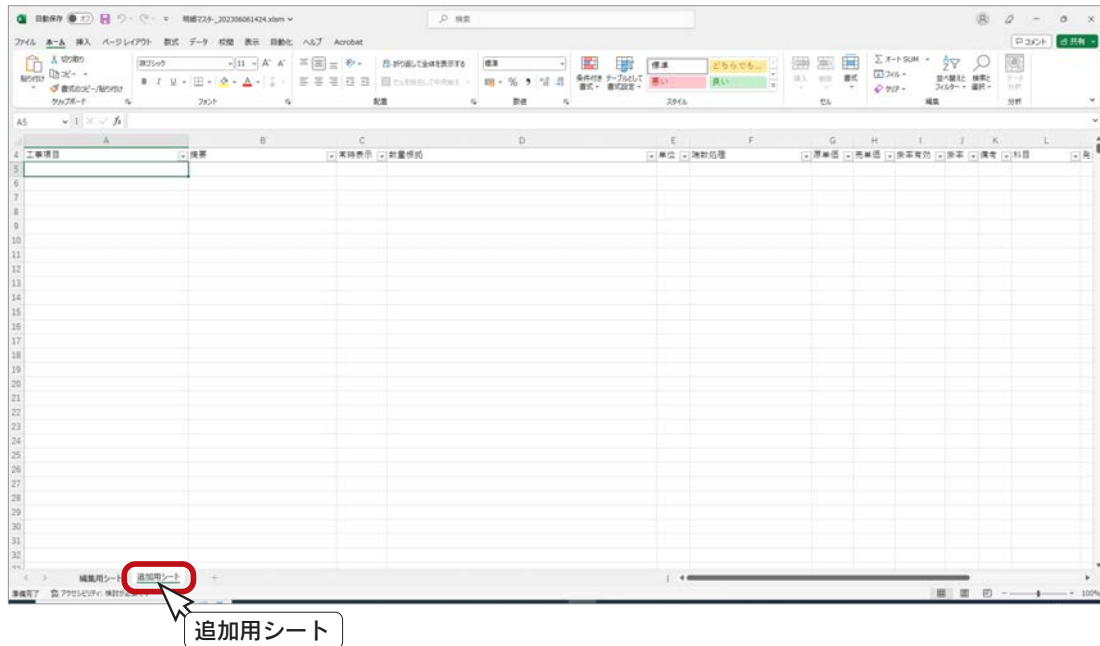


■ 追加用シート

追加用シートでは、新規明細の情報を追加できます。

編集用シートと同様に入力します。

「明細 ID」は、自動で付けられますので、入力欄はありません。



■ 上書き保存して閉じる

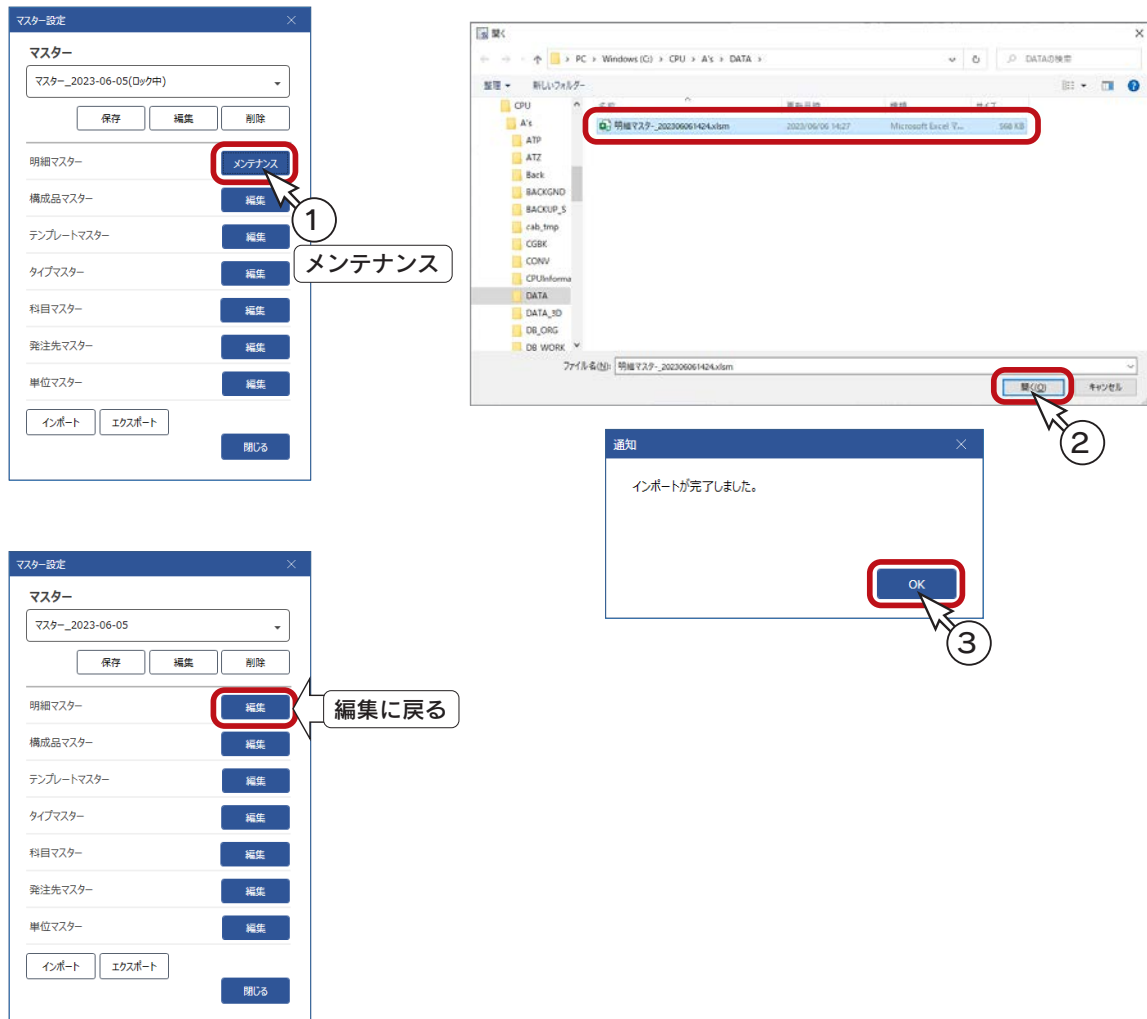
メンテナンスが完了したら、上書き保存後に Excel を閉じてください。

編集した Excel を起動したままインポートを実行すると、正しくインポートが行われません。

■ インポート

メンテナンス後の Excel ファイルをインポートします。

- ① マスター設定のダイアログの「メンテナンス」をクリック
* 開くのダイアログが表示されます。
- ② Excel ファイルを選択し「開く」をクリック
- ③ 処理後、「インポートが完了しました。」と表示されるので、「OK」をクリック
* マスター設定のダイアログの表示が、「編集」に戻ります。



構成品マスター

構成品マスターを編集します。

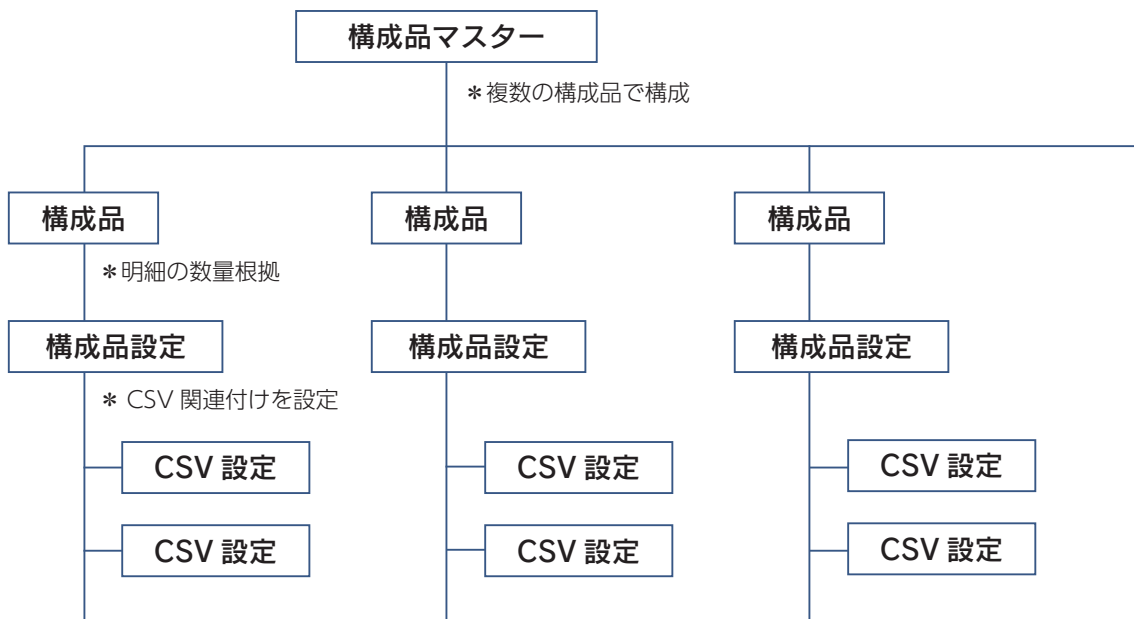
マスター設定ダイアログの構成品マスターの「編集」をクリックすると、構成品マスターのダイアログが表示され、既存の構成品が一覧表示されます。



構成品とは

構成品とは、A's の数量算出で自動的に保存される CSV ファイルの内容を指定の条件で絞込み、集計した数量情報です。明細の数量根拠として指定します。

構成品マスターの階層図



* CSV 関連付けの数は、構成品により異なります。

■ 構成品情報の修正

既存の構成品情報を修正します。
構成品情報の項目は、右のとおりです。

- * 直接入力は、項目をクリックすると入力できる状態になります。
- * 「編集」をクリックすると、構成品設定のダイアログが表示されます。

構成品情報の項目

構成品区分	直接入力
構成品	// (* 必須入力項目)
単位	単位マスターから選択
構成品メモ	直接入力
編集	構成品設定へ



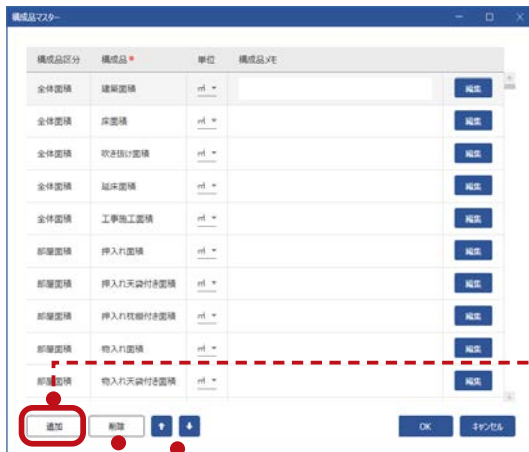
構成品設定



* 構成品設定につきましては、次ページをご覧ください。

■ 構成品の追加

「追加」をクリックすると、空白の状態の構成品設定のダイアログが表示され、構成品を新規追加できます。



空白の構成品設定



■ 構成品の削除

構成品をクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。

明細で使用中の構成品は、削除できません。

■ 構成品の上下移動

構成品をクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。

構成品設定

構成品の「編集」をクリックすると、構成品設定のダイアログが表示されます。
A'sの数量算出のCSVファイルとの関連付けが、一覧で表示されます。
関連付けの数は、構成品によって異なります。

玄関系床面積の例



洋室系床面積の例



- * 構成品名、単位、メモは、構成品情報と同じですが、ここでも修正が可能です。
- * 関連付けの「編集」をクリックすると、構成品 CSV 設定のダイアログが表示されます。

■ 関連付けの追加

「追加」をクリックすると、空白の状態の構成品 CSV 設定のダイアログが表示され、関連付けを新規追加できます。



空白の構成品 CSV 設定



* 構成品 CSV 設定につきましては、次ページをご覧ください。

構成品 CSV 設定へ

■ 関連付けの削除

関連付けをクリック後、「削除」をクリックすると、関連付けを削除します。

削除の確認はありません。削除を取り消したい場合は「キャンセル」をクリックして構成品設定のダイアログを閉じてください。

■ 関連付けの上下移動

関連付けをクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。

構成品 CSV 設定

構成品設定のダイアログにて、関連付けの「編集」をクリックすると、構成品 CSV 設定のダイアログが表示されます。A's の数量算出の CSV ファイルとの関連付けを設定します。

CSV ファイルの確認を

CSV 設定を行うためには、A's の数量算出の CSV ファイルが必要です。保存先を確認してください。



構成品 CSV 設定



■ 構成品名、単位

構成品名、単位は、構成品情報を表示します。

■ CSV ファイル

関連付けられている CSV ファイル名を表示します。

読み込み先は、「環境設定」⇒「基本設定」の「数量算出結果 (CSV)」で設定されているフォルダー（初期設定は A's のインストール先の「WORK ¥SEKISAN」）です。「参照」をクリックすると、読み込み先を変更できます。

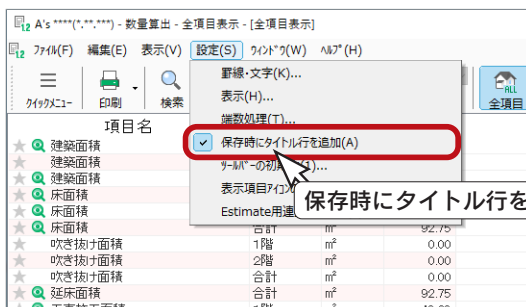
■ CSV ファイルの内容

CSV ファイルの内容を、ダイアログの下側に表示します。

読み込み先に CSV ファイルが無い場合は、空白で表示されます。

保存時にタイトル行を追加

A's の数量算出に、CSV ファイル出力に関する設定として、「設定」⇒「保存時にタイトル行を追加」があります。初期設定は ON です。CSV ファイルの内容に、タイトル行が表示されます。



保存時にタイトル行を追加



■ 条件

絞り込みの条件を、3段階まで設定できます。
 右の「建築面積」の例では、条件1と条件2が設定されています。

	列	条件(一致)
条件1	1	建築面積
条件2	2	合計
条件3	0	

条件1に、「1」列目の「建築面積」を設定していますが、「建築面積」が複数あるので、条件2に、「2」列目の「合計」を設定しています。
 「建築面積」の「合計」行が、集計対象行になります。

建築面積の例

■ 集計方法

数量の集計方法を、以下のいずれかに設定します。

集計対象列を指定……列番号を入力し、加算・減算のいずれかに設定します。

値を1として集計……数量が1になります。

右の例では、「集計対象列を指定」で「4」列目を「加算」に設定しています。
 条件1、2により、建築面積の合計行が絞り込まれ、「4」列目の数量が集計対象になります。

CSVの検索

検索対象列、検索文字を指定して「検索」をクリックすると、CSVファイルに含まれる文字列を検索して絞り込むことができます。

右クリックで挿入

下の表から右クリックで各行内容を挿入できます。

条件1に登録
 条件2に登録
 条件3に登録
 対象列に登録

構成品例－建築面積

設定済みの構成品「建築面積」を例に、マスター設定から見積書作成までの流れを説明します。

■ 構成品マスター

構成品「建築面積」

A'sの数量算出で自動拾いされる項目は、全て構成品として登録済みです。

構成品設定

構成品 CSV 設定

全体数量 .csv

条件

集計方法

集計対象

*条件、集計方法の詳細は、前ページをご覧ください。

■ 明細マスター

明細を作成 (この例では「水盛・遣り方」)

数量根拠設定

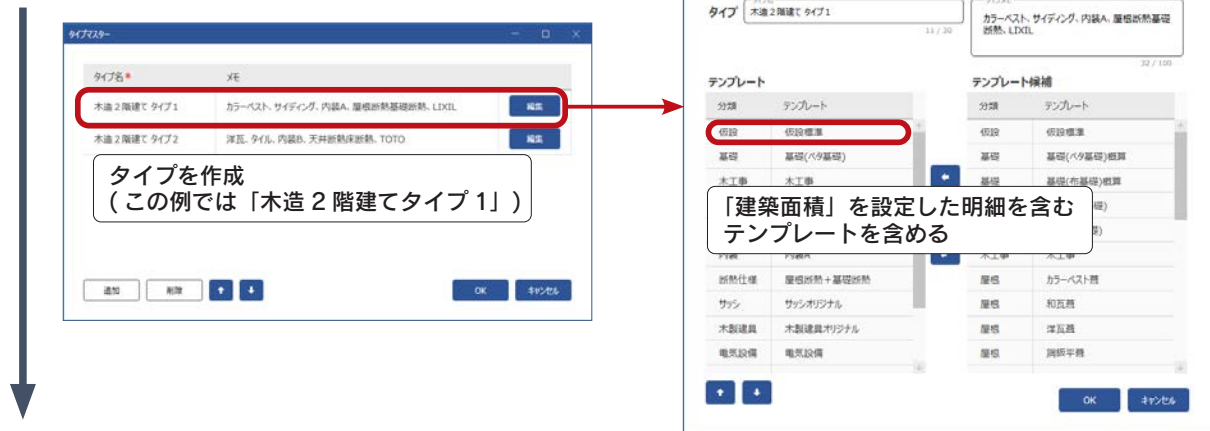
「建築面積」を指定

構成品区分	構成品	構成品ID	単位	参考値	構成品yE
全体数量	建築面積	KHO_000001	m ²	53.83	
全体数量	床面積	KHO_000002	m ²	106	
全体数量	物入れ/物置	KHO_000003	m ²	0	
全体数量	延床面積	KHO_000004	m ²	106	
全体数量	工事施工面積	KHO_000005	m ²	106	
部屋面積	押入れ面積	KHO_000006	m ²	1.66	

■ テンプレートマスター



■ タイプマスター

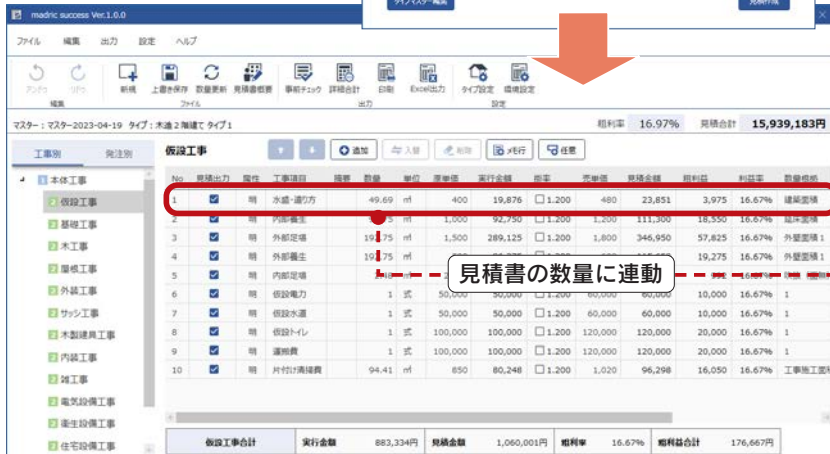


■ 見積書作成

見積書概要でタイプを選択し、見積作成を実行します。



見積書と連動した CSV ファイル



項目名	A	B	C	D	E	F	G
1 項目名	階層	単位	数量				
2 建築面積	1階	m ²	49.69				
3 建築面積	2階	m ²	0				
4 建築面積	合計	m ²	49.69				
5 床面積	1階	m ²	91.75				
6 床面積	2階	m ²	47.72				
7 床面積	合計	m ²	139.47				
8 吹き抜け面積	1階	m ²	0				
9 吹き抜け面積	2階	m ²	0				
10 吹き抜け面積	合計	m ²	0				
11 延床面積	合計	m ²	139.47				
12 工事施工面積	1階	m ²	49.69				
13 工事施工面積	2階	m ²	44.72				
14 工事施工面積	合計	m ²	94.41				
15 押入れ面積	1階	m ²	0				
16 押入れ面積	2階	m ²	0				
17 押入れ面積	合計	m ²	0				
18 押入れ天袋付き面積	1階	m ²	0				
19 押入れ天袋付き面積	2階	m ²	0				
20 押入れ天袋付き面積	合計	m ²	0				
21 押入れ天袋付き面積	1階	m ²	0				

構成品例－建具 (引違 16520)

設定済みの構成品「引違 16520」を例に、マスター設定から見積書作成までの流れを説明します。
基本的には「建築面積」と同様です。

■ 構成品マスター

構成品マスター

構成品「引違 16520」

A's の数量算出で自動拾いされる建具も、全て構成品として登録済みです。

建具.csv では、13 列目が「営業見積用建具総称」になっています。この列を、条件 1 に設定します。

構成品設定

構成品 CSV 設定

CSVファイル: 建具.csv

列: 13
条件(一致): 引違 16520

集計方法: 値を 1 として集計

値を 1 として集計

営業見積用建具総称

■ 明細マスター

明細マスター

明細を作成 (この例では「引き違い 16520-2」)

数量根拠設定

「引違 16520」を指定

■ テンプレートマスター

テンプレートを作成
(この例では「サッシオリジナル」)

「引違 16520」を設定した明細を含める

The screenshot shows the 'テンプレートマスター' (Template Master) window. On the left, there is a list of templates with columns for '分類' (Category), 'テンプレート名' (Template Name), and 'メモ' (Memo). The 'サッシオリジナル' (Sun Original) template is highlighted with a red box. An arrow points from this box to the right-hand window, which shows a detailed list of items for this template. A red box highlights a specific item with the note '「引違 16520」を設定した明細を含める' (Include details with '引違 16520' set).

■ タイプマスター

タイプを作成
(この例では「木造 2 階建てタイプ 1」)

「引違 16520」を設定した明細を含む
テンプレートを含める

The screenshot shows the 'タイプマスター' (Type Master) window. On the left, there is a list of types with columns for 'タイプ名' (Type Name) and 'メモ' (Memo). The '木造 2階建てタイプ1' (Wood 2-story Type 1) type is highlighted with a red box. An arrow points from this box to the right-hand window, which shows a detailed configuration for this type. A red box highlights a specific template with the note '「引違 16520」を設定した明細を含むテンプレートを含める' (Include templates with details of '引違 16520').

■ 見積書作成

見積書概要でタイプを選択し、
見積作成を実行します。

タイプを選択

見積書の数量に連動

見積書と連動した CSV ファイル

集計対象

The screenshot shows the '見積書作成' (Estimate Creation) process. At the top, there is a '見積書概要' (Estimate Summary) window where a type is selected. A red box highlights the 'タイプ' (Type) dropdown menu with the note 'タイプを選択' (Select type). Below this, the main '見積書' (Estimate) window is shown, displaying a list of items. A red box highlights a specific item with the note '見積書の数量に連動' (Linked to estimate quantity). To the right, a 'CSV ファイル' (CSV File) window is shown, displaying a table of data. A red box highlights a specific row in the CSV file with the note '集計対象' (Target for consolidation).

テンプレートマスター

テンプレートマスターを編集します。

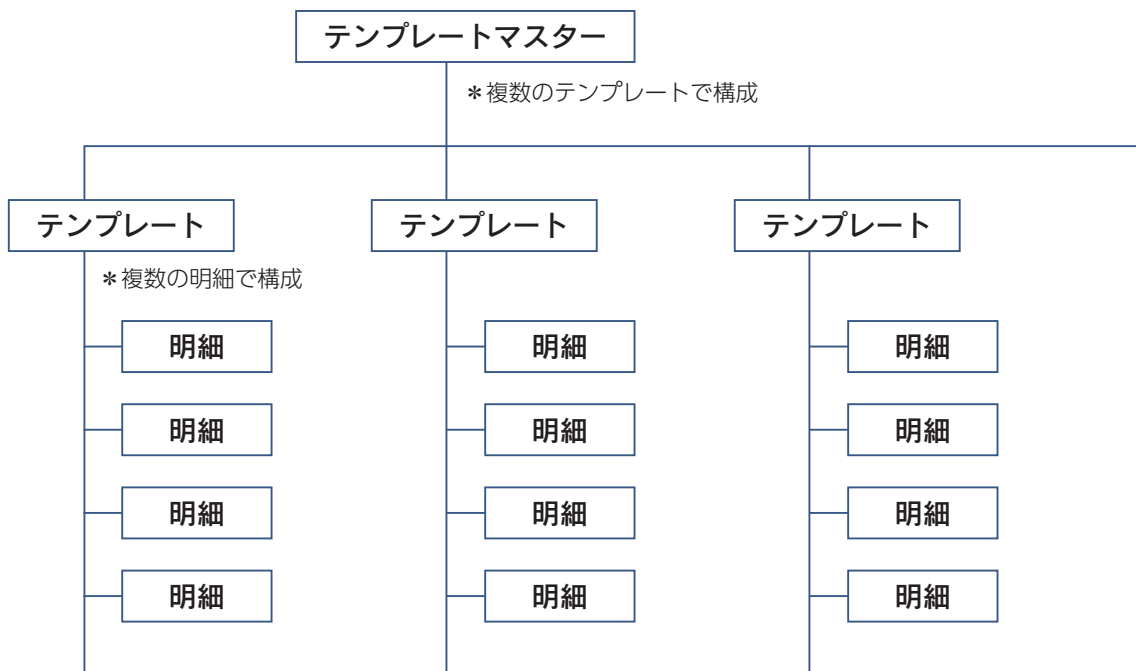
マスター設定ダイアログのテンプレートマスターの「編集」をクリックすると、テンプレートマスターのダイアログが表示され、既存のテンプレートが一覧表示されます。



テンプレートとは

テンプレートとは、複数の明細で構成される集まりです。
グレードや工事科目などに応じて作成します。

テンプレートマスターの階層図



* 明細の数は、テンプレートにより異なります。

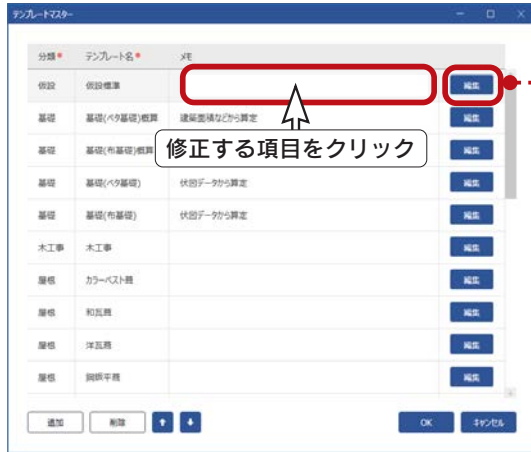
■ テンプレート情報の修正

既存のテンプレート情報を修正します。
テンプレート情報の項目は、右のとおりです。

- * 直接入力は、項目をクリックすると入力できる状態になります。
- * 「編集」をクリックすると、テンプレート編集のダイアログが表示されます。

テンプレート情報の項目

分類	直接入力 (* 必須入力項目)
テンプレート名	// (* 必須入力項目)
メモ	//
編集	テンプレート編集へ



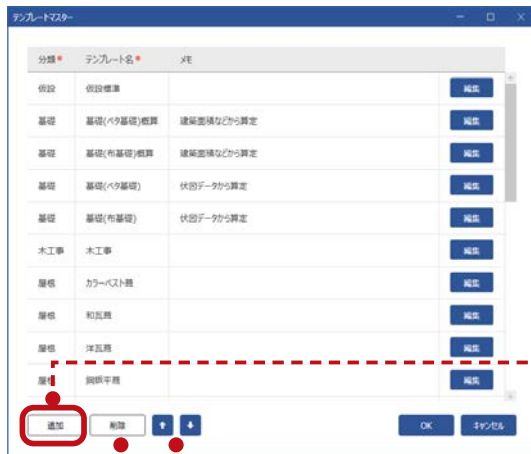
テンプレート編集



* テンプレート編集につきましては、次ページをご覧ください。

■ テンプレートの追加

「追加」をクリックすると、空白の状態でのテンプレート編集のダイアログが表示され、テンプレートを新規追加できます。



空白のテンプレート編集





■ テンプレートの削除

テンプレートをクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。

タイプで使用中のテンプレートは、削除できません。

■ テンプレートの上下移動

テンプレートをクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。

テンプレート編集

テンプレートの「編集」をクリックすると、テンプレート編集のダイアログが表示されます。
 テンプレートに構成されている明細が、一覧で表示されます。
 明細の数は、テンプレートにより異なります。以下は、「仮設標準」を選択した例です。



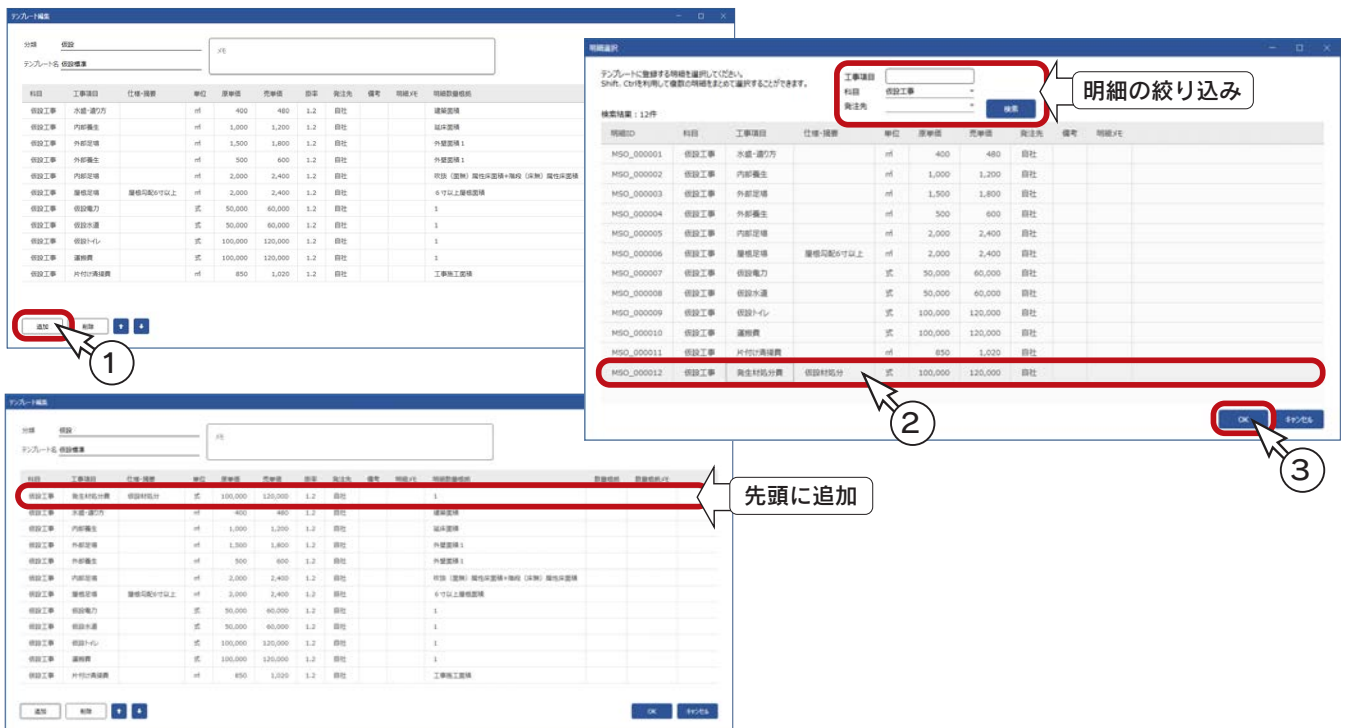
仮設標準の例

* 分類、テンプレート名、メモは、テンプレート情報と同じですが、ここでも修正が可能です。

明細追加

明細マスターから明細を選択して追加します。以下のように操作します。

- ① 「追加」をクリック
 - * 明細選択の画面が表示されます。
 - * 条件を変更し「検索」をクリックすると、絞り込み結果を変更することができます。
 - 以下の例では、科目を「仮設工事」で絞り込んでいます。
- ② 追加する明細を選択
 - * 以下の例では、「発生材処分費」を選択しています。
 - * Shift キー、Ctrl キーを利用して、複数の明細をまとめて選択することができます。
- ③ 「OK」をクリック
 - * 先頭に追加されます。



■ 明細削除

明細行をクリック後、「削除」をクリックすると、明細行を削除します。



削除の確認はありません。削除を取り消したい場合は「キャンセル」をクリックしてテンプレート編集のダイアログを閉じてください。

■ 明細上下移動

明細行をクリック後、（上へ）または（下へ）をクリックすることにより、順番を入れ替えます。



■ テンプレート数量根拠設定

明細行の「数量根拠」をダブルクリックすると、テンプレート数量根拠設定のダイアログが表示されます。明細ごとに設定されている数量根拠ではなく、テンプレートにより数量根拠を使い分ける場合に設定します。タイルや塗装など、適用箇所を部材として固定できない項目などに使用します。

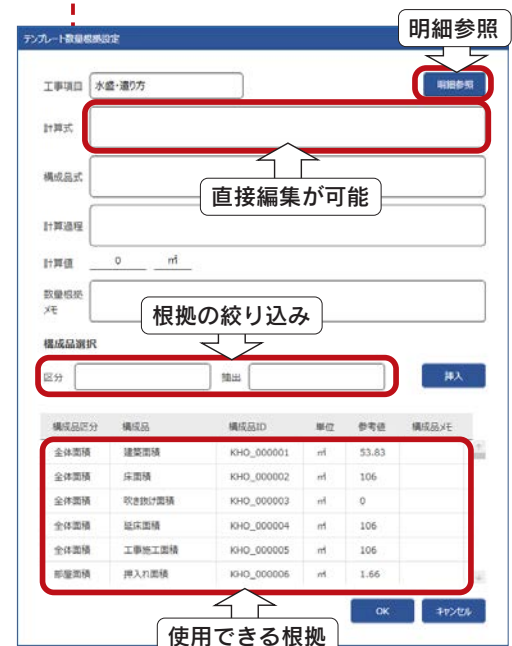


テンプレート数量根拠設定

設定方法は、明細の数量根拠設定と同じです。「明細参照」をクリックすると、明細の数量根拠が読み込まれます。

計算式の欄は、直接編集が可能です。画面下側の一覧は、使用できる根拠です。根拠をクリック後「挿入」をクリックすると、計算式に {} 付で根拠が挿入されます。「区分」の設定により、根拠一覧の表示が変わります。「抽出」に文字を入力することにより、設定した文字が含まれている根拠を表示できます。

- ・ 計算式の結果がその項目の数量として積算されます。
- ・ 数量の根拠を使用して計算式を作成できます。
- ・ 計算式には加算「+」、減算「-」、乗算「*」、除算「/」、〔()〕の演算子が使用できます。
- ・ 根拠は {} で囲む必要があります。中の文字列は書き換えないようにしてください。
- ・ 根拠の数量の単位はそれぞれの根拠の単位です。
- ・ {} だけ記述した場合は、数値「1」を意味します。(1 と記述したことと同じ)
- ・ 計算式が空、もしくは 0 のときは設定できません。
- ・ 計算値の値は、端数処理項目の設定に基づいて、四捨五入または、切り上げ、切り捨てを行います。



テンプレート数量根拠を優先

テンプレート数量根拠が設定されている場合、見積作成時は、明細数量根拠ではなく、テンプレート数量根拠を優先します。

タイプマスター

タイプマスターを編集します。

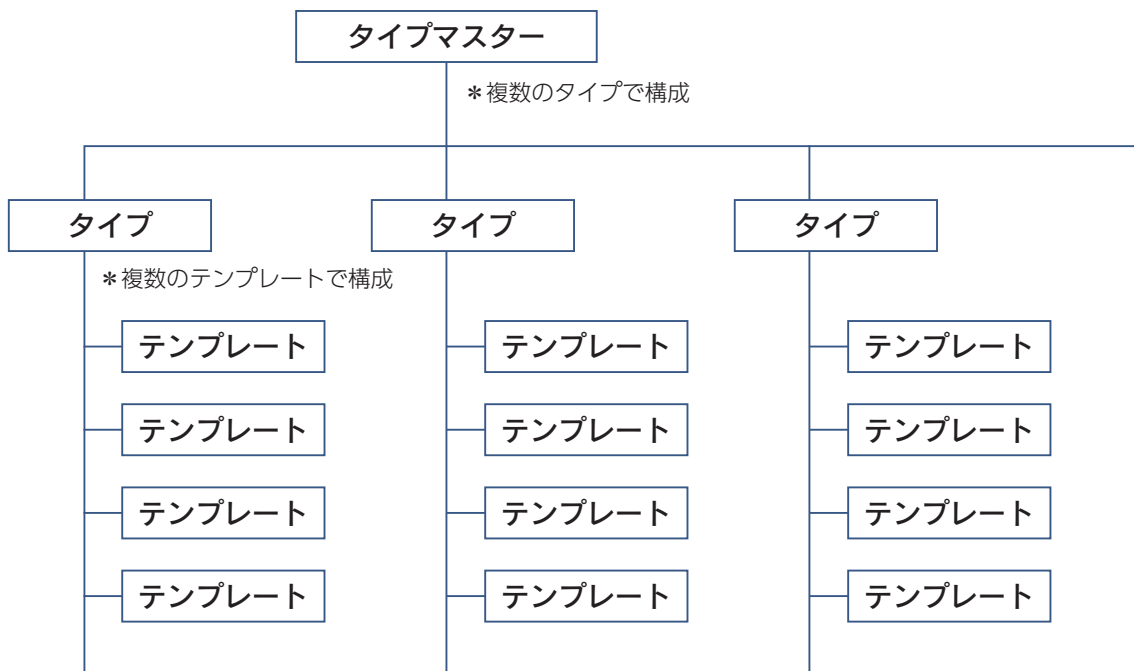
マスター設定ダイアログのタイプマスターの「編集」をクリックすると、タイプマスターのダイアログが表示され、既存のタイプが一覧表示されます。



タイプとは

タイプとは、複数のテンプレートで構成される集まりです。
見積書の明細一式がそろるように、テンプレートを構成します。

タイプマスターの階層図



* テンプレートの数は、タイプにより異なります。

タイプ編集

タイプの「編集」をクリックすると、タイプ編集のダイアログが表示されます。
 タイプに構成されているテンプレートの確認、変更が可能です。
 以下は、「木造2階建てタイプ1」を選択した例です。

木造2階建てタイプ1の例



■ タイプ、メモ

直接入力での修正が可能です。
 タイプ名は、必須入力項目です。

■ テンプレートの追加

右側のテンプレート候補を選択し  をクリックします。リストの最後に追加されます。




■ テンプレートの削除

左側のテンプレートを選択し  をクリックします。




■ テンプレートの入替

左側のテンプレートと右側のテンプレート候補をそれぞれ選択し  をクリックします。
複数行を選択して、まとめて入れ替えることも可能です。

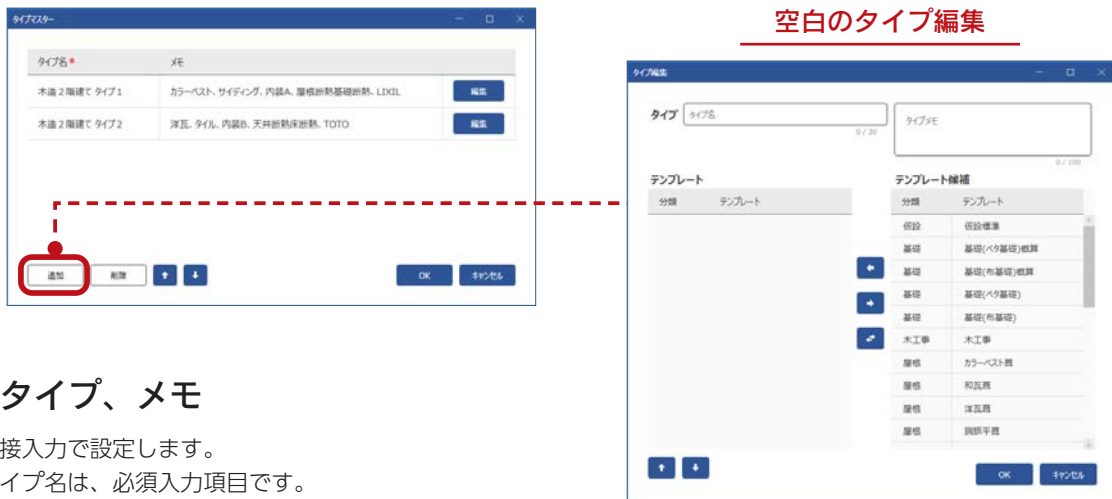


見積書概要、メイン画面でタイプ編集

見積書概要のダイアログの「タイプマスター編集」をクリックすると、タイプ編集のダイアログが表示されます。
メイン画面で、 (タイプ設定) をクリック、または「設定」⇒「タイプ設定」を選択した場合も、タイプ編集のダイアログが表示されます。既存のタイプのテンプレート構成を変更後、別名保存が可能です。(⇒ [【P.30】参照](#))

■ タイプ追加




「追加」をクリックすると、テンプレートの構成が空白の状態タイプ編集のダイアログが表示されます。
既存タイプの編集と同様の操作で、新規タイプを追加できます。



■ タイプ、メモ

直接入力設定します。
タイプ名は、必須入力項目です。

■ テンプレート構成の設定

- 追加…………… 右側のテンプレート候補を選択し  をクリック (リストの最後に追加)
- 削除…………… 左側のテンプレートを選択し  をクリック
- 入替…………… 左側のテンプレートと右側のテンプレート候補をそれぞれ選択し  をクリック

タイプ削除

タイプをクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。



タイプ上下移動

タイプをクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。



科目マスター

科目マスターを編集します。

マスター設定ダイアログの科目マスターの「編集」をクリックすると、科目マスターのダイアログが表示され、既存の科目が一覧表示されます。

科目マスター



科目マスターの使用場面

■ 明細マスター

明細マスターの科目は、科目マスターから選択します。

明細マスター



■ メイン画面

メイン画面では、工事別を表示した場合に科目をツリー表示します。

科目をクリックすると、科目の明細を表示します。

メイン画面



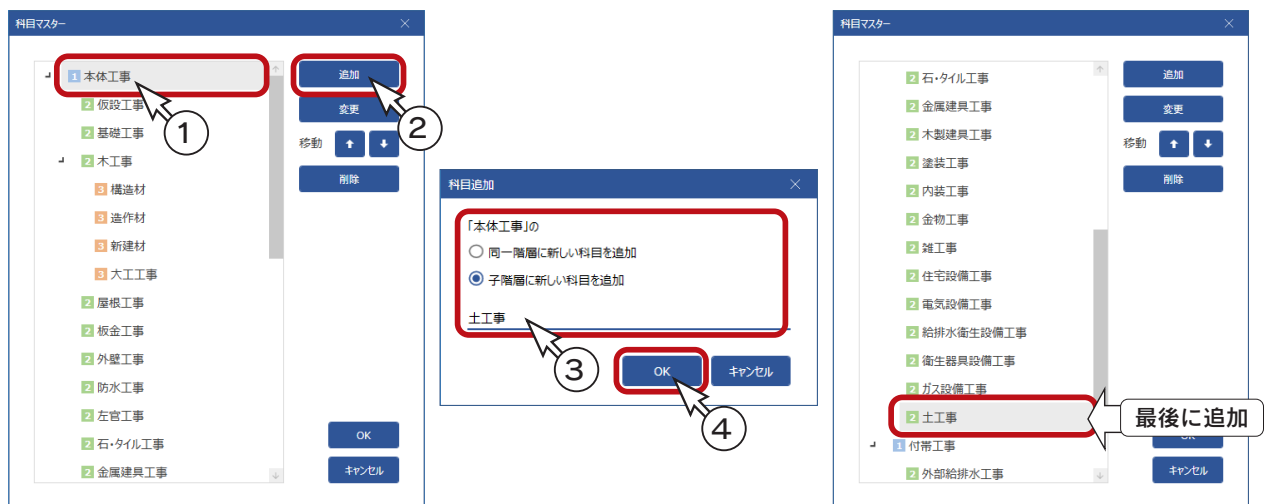
科目マスター編集

科目マスターのダイアログにて、科目の新規追加、名称変更、表示順移動、削除が可能です。

■ 科目追加

科目を新規追加します。以下のように操作します。

- ①追加先を指定
 - * ツリーの科目から選択します。以下の例では、「本体工事」を選択しています。
- ②「追加」をクリック
 - * 科目追加の画面が表示されます。
- ③追加する階層を指定し、追加する科目名を入力
 - * 以下の例では、「子階層に新しい科目を追加」に指定し、「土工事」と入力しています。
- ④「OK」をクリック
 - * 指定した階層（ここでは「本体工事」の子階層）の最後に追加されます。



科目は5階層まで作成できます。

■ 科目名変更

科目名を変更します。以下のように操作します。

- ①科目名変更する科目を選択
 - * ツリーの科目から選択します。
 - 右の例では、「土工事」を選択しています。
- ②「変更」をクリック
 - * 科目名変更の画面が表示されます。
- ③科目名を変更し、「OK」をクリック
 - * 科目名が変更されます。





■ 科目削除

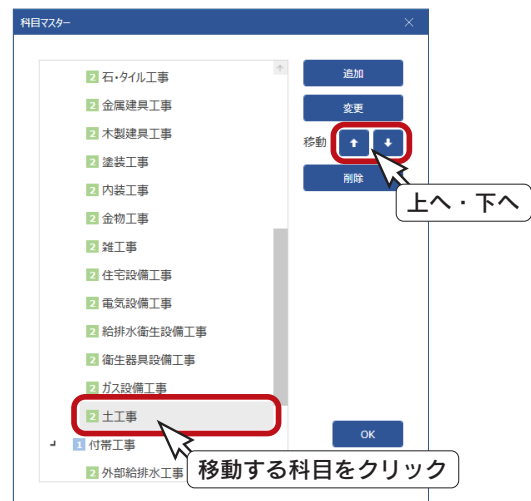
科目をクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。



■ 科目上下移動

科目をクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。同一階層で移動が可能です。

ドラッグ&ドロップで順番を入れ替えることもできます。この操作では、別階層への移動も可能です。



発注先マスター

発注先マスターを編集します。

マスター設定ダイアログの発注先マスターの「編集」をクリックすると、発注先マスターのダイアログが表示され、既存の発注先が一覧表示されます。



発注先マスターの使用場面

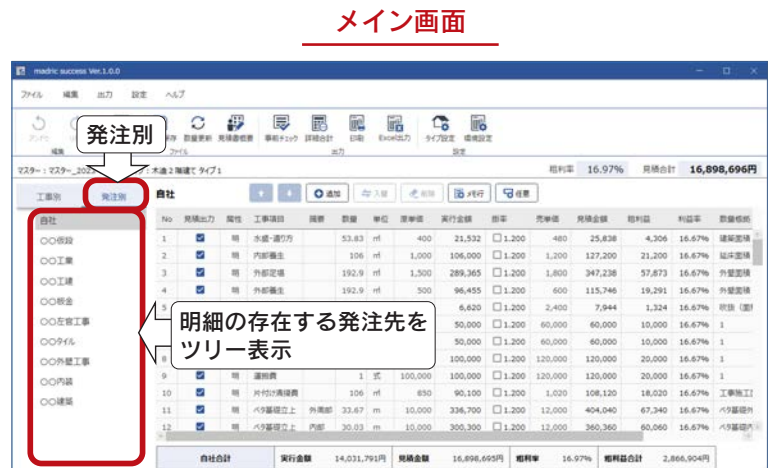
■ 明細マスター

明細マスターの発注先は、発注先マスターから選択します。



■ メイン画面

メイン画面では、発注別を表示した場合に発注先をツリー表示します。発注先をクリックすると、発注先の明細を表示します。



発注先マスター編集

発注先マスターのダイアログにて、発注先情報の修正、新規追加、削除、表示順移動が可能です。

発注先情報の項目

■ 発注先情報の修正

既存の発注先情報を修正します。
 発注先情報の項目は、右のとおりです。
 項目をクリックすると、修正できる状態になります。

発注先名	直接入力 (* 必須入力項目)
事業者登録番号	//
住所	//
電話番号	//
FAX 番号	//
担当者	//
メールアドレス	//
メモ	//



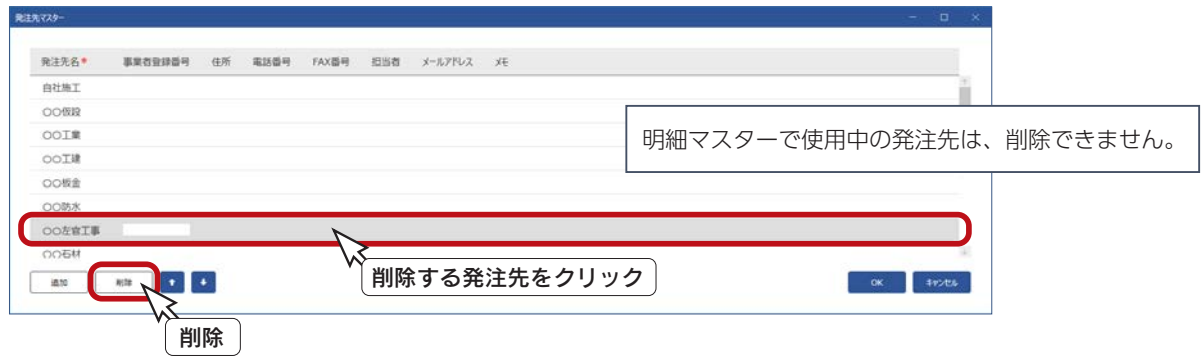
■ 発注先追加

発注先行を選択した状態で「追加」をクリックすると、選択行の次に空白の行が追加されますので、発注先情報を入力してください。「発注先名」は、必須入力項目です。
 なお、発注先行を選択していない場合は、最終行に追加されます。



■ 発注先削除

発注先をクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。



■ 発注先上下移動

発注先をクリック後、 (上へ) または  (下へ) をクリックすることにより、順番を入れ替えます。



単位マスター

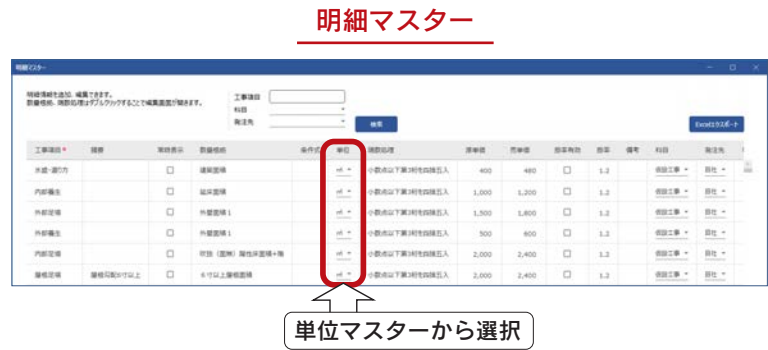
単位マスターを編集します。
 マスター設定ダイアログの単位マスターの「編集」をクリックすると、単位マスターのダイアログが表示され、既存の単位が一覧表示されます。



単位マスターの使用場面

■ 明細マスター

明細マスターの単位は、単位マスターから選択します。



■ 構成品マスター

構成品マスターの単位は、単位マスターから選択します。



■ メイン画面

メイン画面では、明細の単位を変更する場合に単位マスターから選択します。
 単位をダブルクリックすると、単位一覧が表示されます。



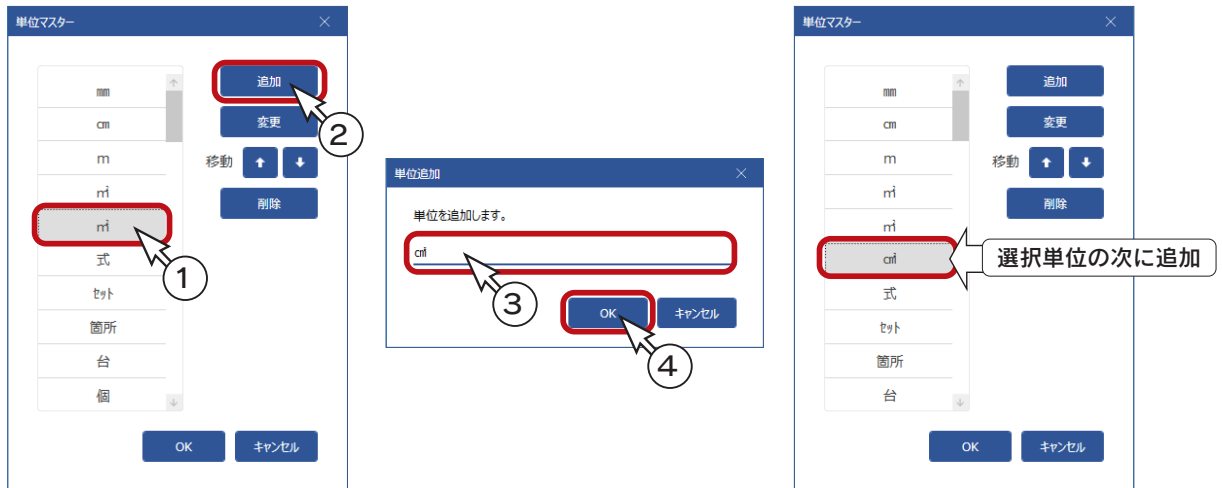
単位マスター編集

単位マスターのダイアログにて、単位の新規追加、名称変更、表示順移動、削除が可能です。

■ 単位追加

単位を新規追加します。以下のように操作します。

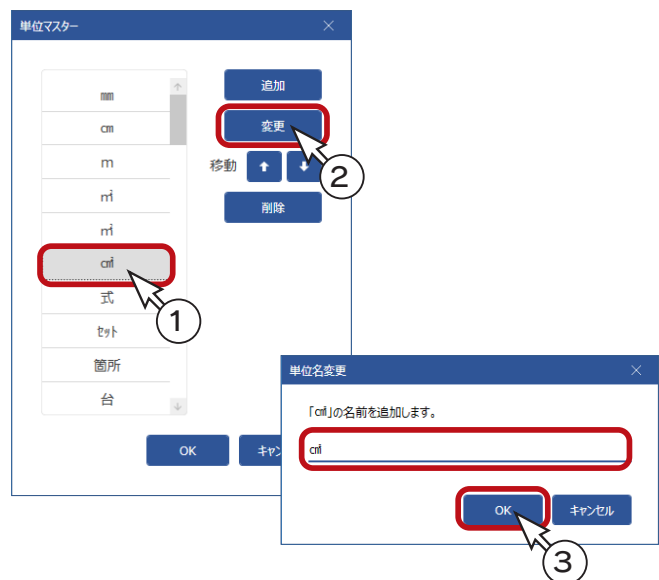
- ①追加先を指定
 - * 追加先は指定しなくてもかまいません。
 - 追加先を指定しない場合は、最後に追加されます。
- ②「追加」をクリック
 - * 単位追加の画面が表示されます。
- ③追加する単位を入力
 - * 以下の例では、「cm」を入力しています。
- ④「OK」をクリック
 - * 選択単位の次に追加されます。



■ 単位名変更

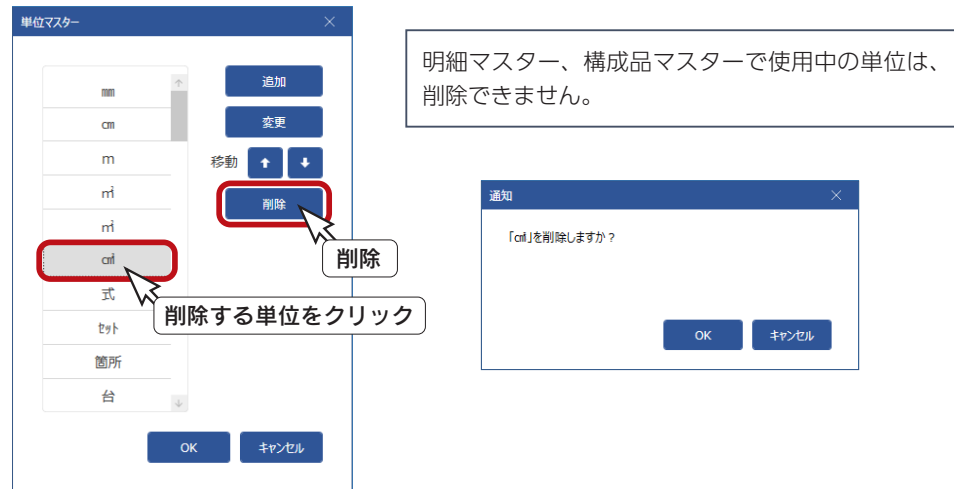
単位名を変更します。以下のように操作します。

- ①単位名変更する単位を選択
 - * 右の例では、「cm」を選択しています。
- ②「変更」をクリック
 - * 単位名変更の画面が表示されます。
- ③単位名を変更し、「OK」をクリック
 - * 単位名が変更されます。




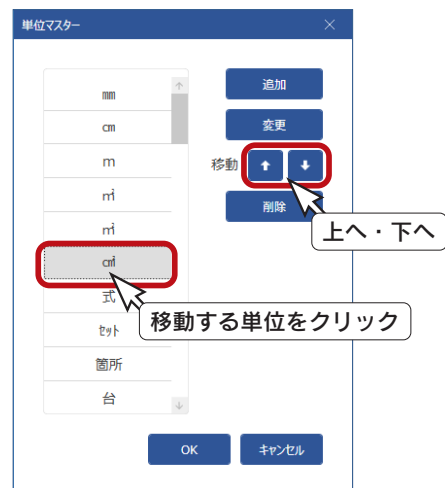
■ 単位削除

単位をクリック後、「削除」をクリックすると、確認のメッセージが表示されますので、削除してよい場合は「OK」をクリックします。



■ 単位上下移動

単位をクリック後、（上へ）または（下へ）をクリックすることにより、順番を入れ替えます。



インポート・エクスポート

マスターをバックアップしたり、他の PC に転用する場合は、インポート・エクスポートを使用します。
ここでは、PC に保存したデータを他の PC に移動後、インポートする場合について説明します。

Madric Drive 保存

弊社のデータ共有サービス「Madric Drive」に保存することで、マスターをクラウド上で共有し、一元管理が可能です。詳細は、第 5 章「Madric Drive 保存」をご覧ください。

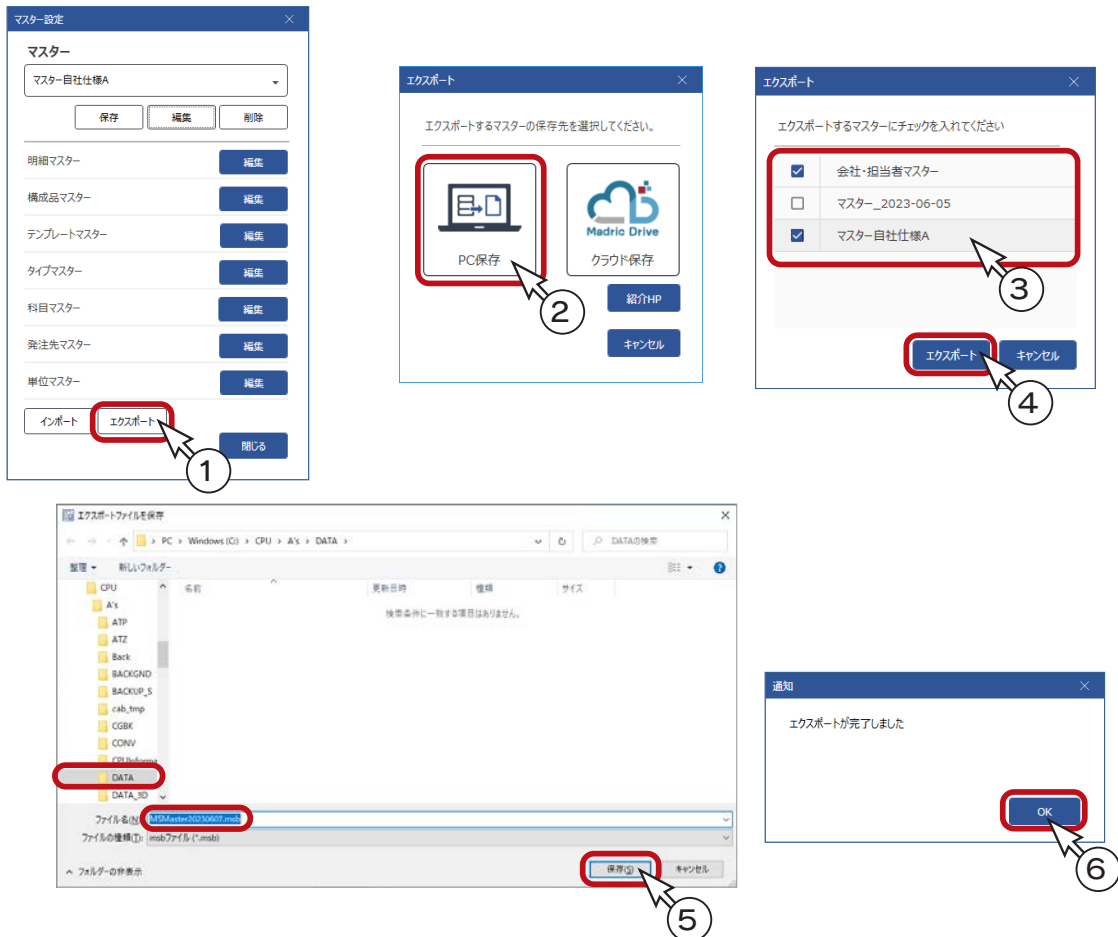
エクスポート (PC 保存)

マスターを PC に保存します。

複数のマスターが作成されている場合は、保存するマスターを指定できます。

また、会社マスター、担当者マスターも同時に保存できます。

- ① マスター設定ダイアログの「エクスポート」をクリック
* 保存先選択の画面が表示されます。
- ② 「PC 保存」をクリック
* エクスポートの画面が表示されます。
- ③ エクスポートするマスターを指定
* 以下の例では、「会社・担当者マスター」と「マスター自社仕様 A」を指定しています。
- ④ 「エクスポート」をクリック
* エクスポートファイルを保存の画面になります。
- ⑤ 保存先、ファイル名を設定し、「保存」をクリック
* 保存先の初期設定は、A's インストール先の「DATA」フォルダーです。
* ファイル名の初期設定は、「MSMaster○○○○○○○○.msb」(○○○○○○○○は日付)です。
- ⑥ 処理後、「エクスポートが完了しました」と表示されるので、「OK」をクリック

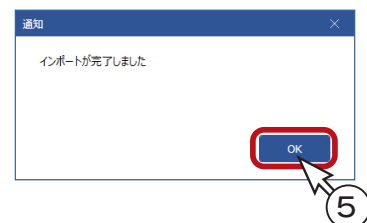
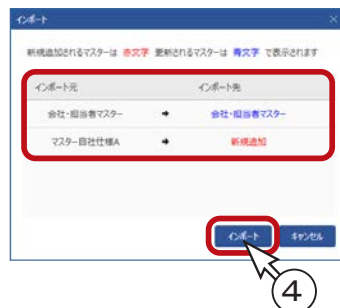
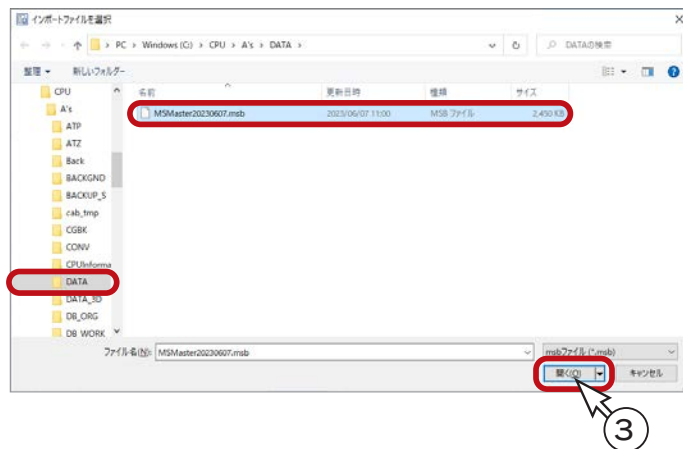


インポート (PC から)

エクスポートしたマスターを読み込んで適用します。

インポートの前に、インポートするマスターの保存先とファイル名をご確認ください。

- ①マスター設定ダイアログの「インポート」をクリック
* インポート元選択の画面が表示されます。
- ②「PC から」をクリック
* インポートファイルを選択の画面が表示されます。
- ③インポートするファイルを指定し、「開く」をクリック
* インポートの画面に、インポート元とインポート先の確認が表示されます。
* 新規追加されるマスターは赤文字、更新されるマスターは青文字で表示されます。
- ④インポートを実行してよい場合は、「インポート」をクリック
- ⑤処理後、「インポートが完了しました」と表示されるので、「OK」をクリック



5

Madric Drive 保存

madric success の Madric Drive 保存について説明します。

madric success の各種マスターやデータを、Madric Drive に保存でき、管理および共有できます。

また、見積書の PDF 出力データを、お施主様も閲覧可能なコンテンツとして提供することもできます。



Madric Drive を標準搭載

madric success には、Madric Drive が標準搭載されています。
madric success の契約プランに応じて、Madric Drive の保存容量が異なります。

Madric Drive 単独版について

Madric Drive は、madric success がインストールされていない環境でも動作させることができます。
コンテンツ管理のインポート・エクスポート、および専用ページ作成・管理作業が可能です。

マスターの共有

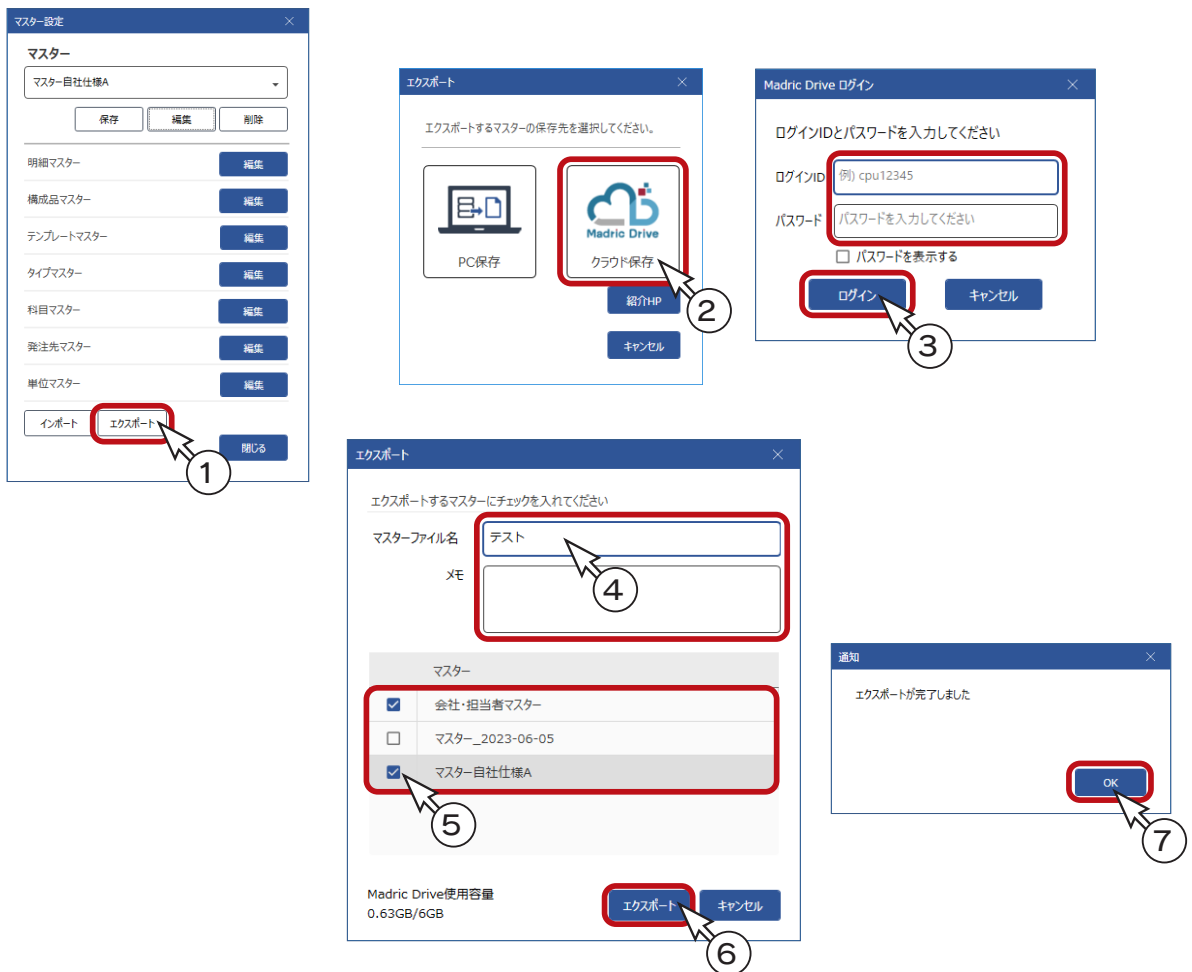
madric success のマスターを Madric Drive の領域へアップロードし、そこからインポートできます。
 同じ Madric Drive のアカウントを使用する範囲で、マスターの受け渡しが可能です。

エクスポート（クラウド保存）

マスターを Madric Drive の領域へアップロードします。
 複数のマスターが作成されている場合は、保存するマスターを指定できます。
 また、会社マスター、担当者マスターも同時に保存できます。

- ①マスター設定ダイアログの「エクスポート」をクリック
 * 保存先選択の画面が表示されます。
- ②「クラウド保存」をクリック
 * Madric Drive のログイン画面が表示されます。
- ③使用者の ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリック
 * エクスポートの画面が表示されます。
- ④マスターファイル名を入力
 * 以下の例では、「テスト」と入力しています。必要に応じて、メモを入力します。
- ⑤エクスポートするマスターを指定
 * 以下の例では、「会社・担当者マスター」と「マスター自社仕様 A」を指定しています。
- ⑥「エクスポート」をクリック
- ⑦処理後、「エクスポートが完了しました」と表示されるので、「OK」をクリック

使用者の ID・パスワードとは
 使用者の ID・パスワードとは、総合管理システムで登録したものです。管理者の方にご確認ください。また、ご自身で確認・変更できる場合もあります。詳細は、Madric Drive のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



インポート (クラウドから)

Madric Drive の領域へアップロードしたマスターを読み込んで適用します。

- ① マスター設定ダイアログの「インポート」をクリック
* インポート元選択の画面が表示されます。
- ② 「クラウドから」をクリック
* Madric Drive のログイン画面が表示されます。
- ③ 使用者の ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリック
* インポートファイルを選択の画面が表示されます。
- ④ インポートするファイルを指定し、「開く」をクリック
* インポートの画面に、インポート元とインポート先の確認が表示されます。
* 新規追加されるマスターは赤文字、更新されるマスターは青文字で表示されます。
- ⑤ インポートを実行してよい場合は、「インポート」をクリック
- ⑥ 処理後、「インポートが完了しました」と表示されるので、「OK」をクリック



Madric Drive でマスター管理

Madric Drive の領域へアップロードされたマスターは、「総合管理システム」上でメンテナンスができます。

総合管理システムへのログイン方法は、ここでは説明を省略させていただきます。
Madric Drive のマニュアル、ヘルプをご覧ください。

総合管理システムにログインし、DB 管理の「success」をクリックします。
アップロードされているマスターの一覧が表示されます。
それぞれの「編集」をクリックすると、マスター編集のダイアログが表示されます。
削除、表示 ON/OFF 設定、メモの記入ができます。

The screenshot shows the 'success' interface for 'DB管理 - success'. The left sidebar has a menu with 'DB管理' selected, and 'success' is highlighted. The main area displays a table with the following data:

表示	マスターファイル名 (msb)	アップロード日時	アップロード担当者	ダウンロード数	編集
✓	テスト	2023-06-14 15:19:21	cpu_*****001	0	編集

The '編集' button in the table is highlighted with a red box and an arrow pointing to the 'マスター編集' dialog box. The dialog box contains the following fields:

- マスターファイル名 必須: テスト
- 備考: 100文字まで入力いただけます。
- 表示: 表示する

At the bottom of the dialog box are three buttons: OK, キャンセル, and 削除.

表示 ON/OFF は、madric success でのマスターのインポート（クラウドから）時の設定です。
「表示する」を OFF () にすると、インポート（クラウドから）時に表示されません。

見積データのクラウド保存

madric success で保存した見積データ (*.mlt) を、Madric Drive のコンテンツとしてアップロードします。
アップロード方法には、以下の2つがあります。

- ・ A's から連携して起動した madric success で、見積データ (*.mlt) の保存先を「DATA」フォルダーとした場合、A's の保存終了時に、その他のコンテンツとともに、Madric Drive にアップロードする
- ・ Madric Drive のコンテンツ管理で、「インポート」により見積データ (*.mlt) をアップロードするフォルダー、ファイルを指定してアップロードが可能

A's の保存終了時にアップロード

Madric Drive の既存プラン編集から A's を起動し、madric success にて見積データ (*.mlt) を保存後、Madric Drive にアップロードするまでを、トレーニング形式で説明します。

■ Madric Drive の既存プラン読み込み

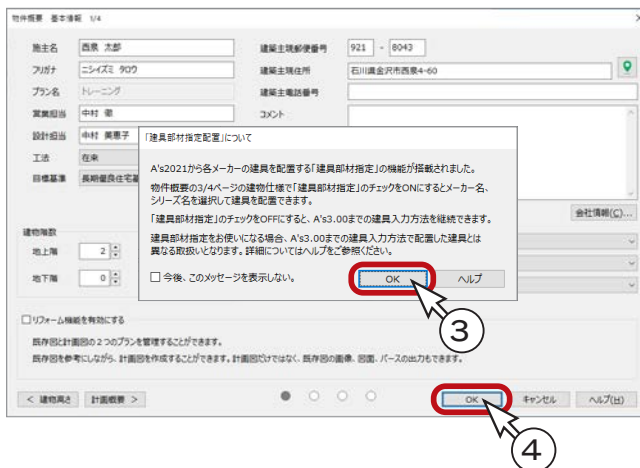


① 「Madric Drive」にて、既存プランの「作図」をクリック

- * この例では、「西泉 太郎」のプランから「トレーニング」を選択しています。
- * プラン起動の確認画面が表示されます。

② 「OK」をクリック

- * A's が起動し、物件概要が表示されます。

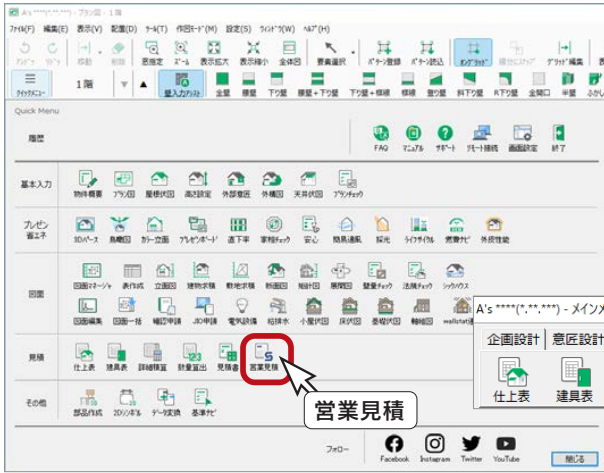



③ 「建具部材指定配置」についてメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上「OK」をクリック

④ 物件概要の「OK」をクリック

以後の操作は、プラン図、屋根伏図は、入力済みであることを前提に説明しています。

■ madric success の起動



クイックメニュー、またはメインメニューの  (営業見積) をクリックします。
*メインメニューでは「見積・積算」タブにあります。



madric success が起動し、見積書概要のダイアログが表示されます。
見積書概要を入力し、「見積作成」をクリックしてください。
見積書作成後、madric success のメイン画面が表示されます。

*見積書概要の詳細は、第 2 章「見積書概要」をご覧ください。



*見積書編集の詳細は、第 3 章「見積書作成」をご覧ください。

■ 見積書保存

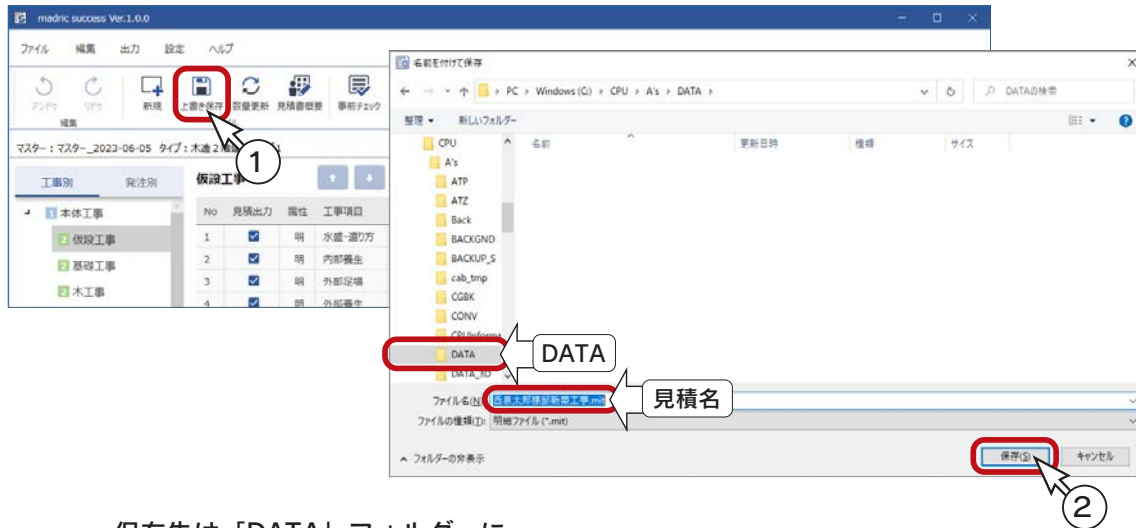
見積書編集後、見積データ (*.mlt) を保存します。

- ①  (上書き保存) をクリック

*一度も保存していないので、名前を付けて保存のダイアログが表示されます。

*「ファイル」⇒「上書き保存」、または「名前を付けて保存」を選択してもかまいません。

- ②保存先、ファイル名を設定し「保存」をクリック



保存先は「DATA」フォルダーに

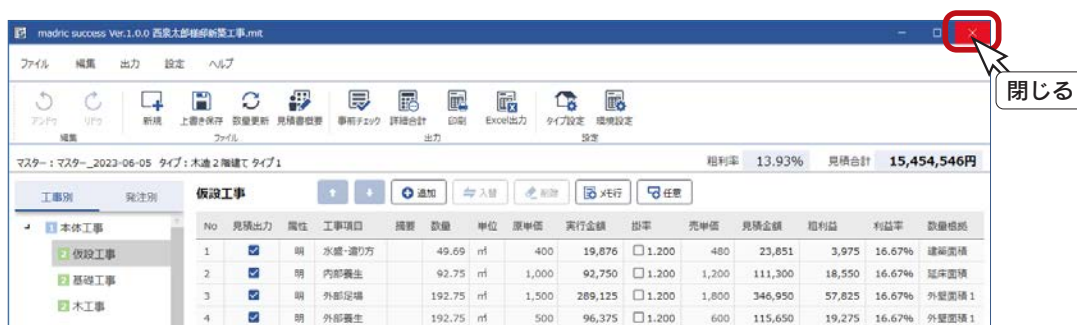
A's インストール先の「DATA」フォルダーに保存された見積データがアップロード対象になりますので、異なる場合は変更してください。

初期設定は「DATA」フォルダーです。「設定」⇒「環境設定」⇒「基本設定」の「見積書保存場所」で確認、変更できます。

■ madric success の終了

見積書編集を終了し、madric success の画面を閉じます。

「ファイル」⇒「終了」を選択します。タイトルバー右端の  (閉じる) をクリックしてもかまいません。



保存に関するメッセージが表示されます。


ここでは、保存済みなので「保存しない」でかまいません。

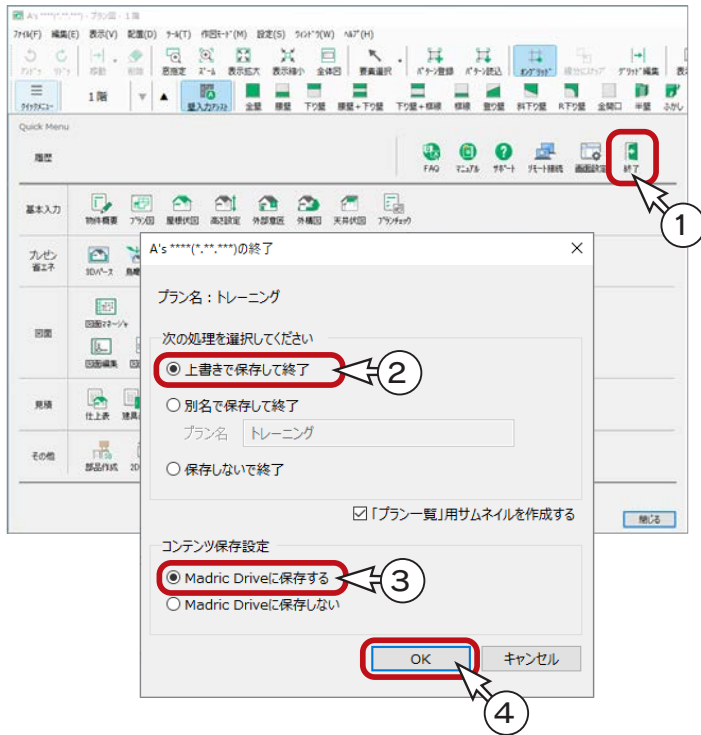
なお、保存後に見積書を編集した場合は、「保存」をクリックしてください。



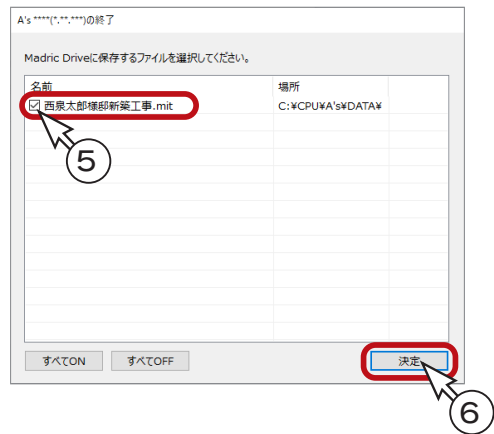
■ A's を保存して終了

madric success にて見積データ (*.mlt) を保存後、A's を保存して終了します。

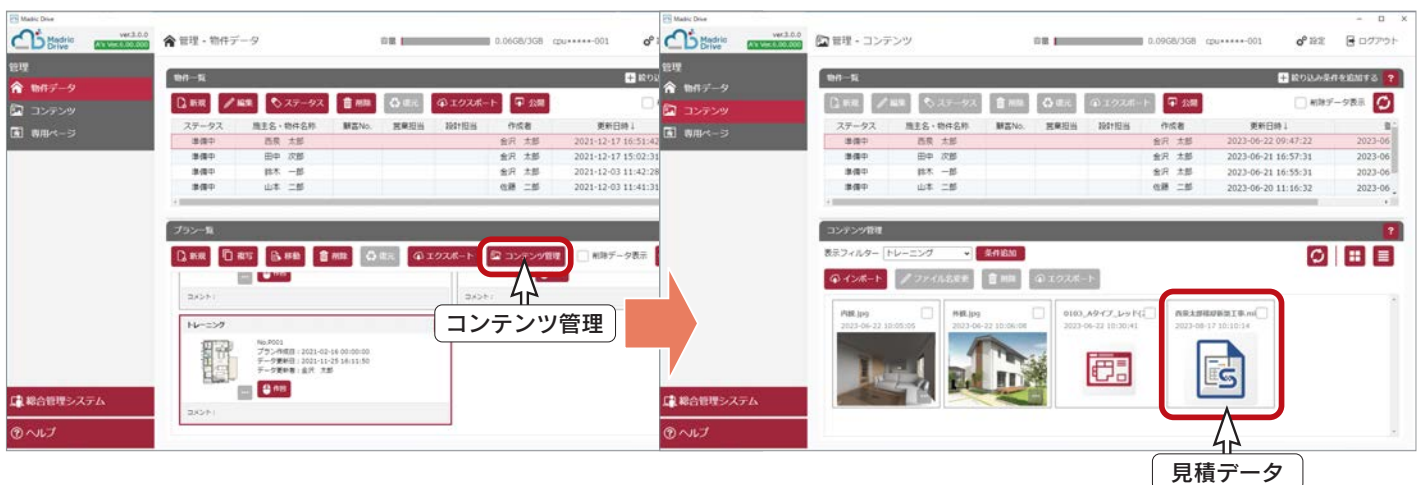
- ① クイックメニュー、またはメインメニューの  (終了) をクリック
* 終了の画面が表示されます。
- ② 「上書きで保存して終了」が選択されていることを確認
- ③ コンテンツ保存設定は、「Madric Drive に保存する」が選択されていることを確認
- ④ 「OK」をクリック
* ファイル選択の画面が表示されます。
- ⑤ 保存した見積データ (*.mlt) にチェックが入っていることを確認
- ⑥ 「決定」をクリック



アップロード対象
A's インストール先の「DATA」フォルダーに保存された見積データ (*.mlt)、PDF データがアップロード対象になります。



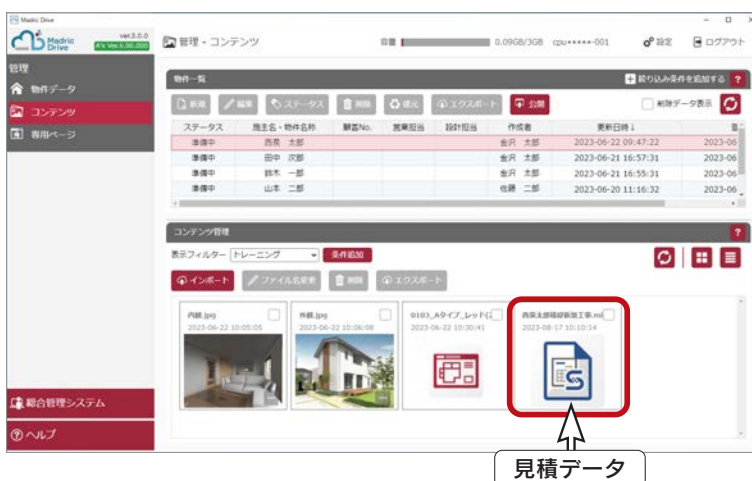
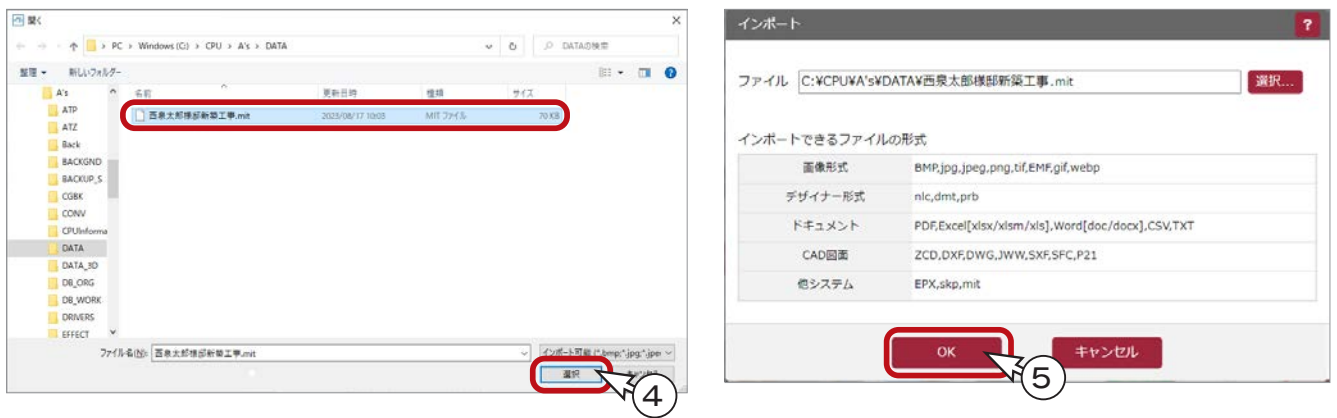
- * 保存処理後、Madric Drive に戻ります。
- * 「コンテンツ管理」をクリックして確認すると、アップロードした PDF データが追加されています。



Madric Drive でインポート

保存した見積データ (*.mlt) を、Madric Drive でインポートします。
フォルダー、ファイルを選択してインポートすることができます。

- ① 「コンテンツ」を開き、物件一覧からインポート対象の施主名・物件名称を選択
- ② 「インポート」をクリック
 - * インポートのダイアログが表示されます。
 - * インポートできるファイルの形式が記載されていますので、ご確認ください。
- ③ 「選択」をクリック
- ④ フォルダー、ファイルを選択し、「選択」をクリック
 - * 以下の例では、「西泉太郎様邸新築工事 .mlt」を選択しています。
- ⑤ インポートのダイアログに戻るので、「OK」をクリック
- ⑥ インポートが完了すると、メッセージが表示されるので、「閉じる」をクリック

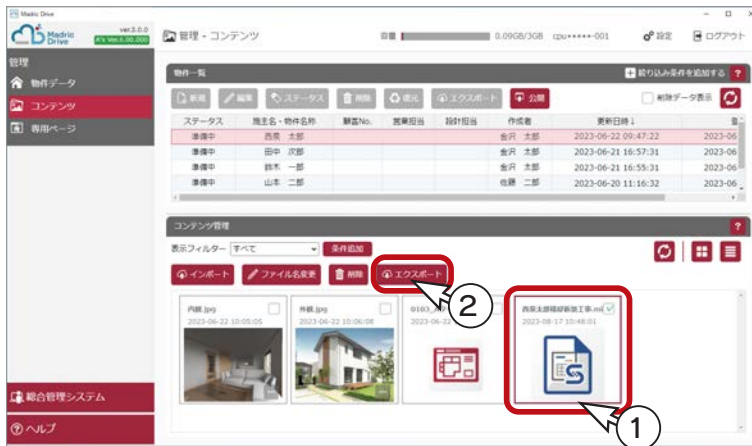


* コンテンツ一覧の最後尾に、インポートした
見積データが追加されています。

Madric Drive でエクスポート


コンテンツに追加した見積データ (*.mlt) を、Madric Drive でエクスポートします。

- ① 「コンテンツ」を開き、エクスポートする見積データ (*.mlt) を選択
- ② 「エクスポート」をクリック
*名前を付けて保存のダイアログが表示されます。
- ③保存先、ファイル名を設定し「保存」をクリック
*以下の例では、デスクトップに「見積データ」フォルダーを作成し、保存先に指定しています。
ファイル名は、見積データ (.mlt) のまま（ここでは「西泉太郎様邸新築工事.mlt」）にしています。
- ④エクスポート処理後、メッセージが表示されるので、「閉じる」をクリック



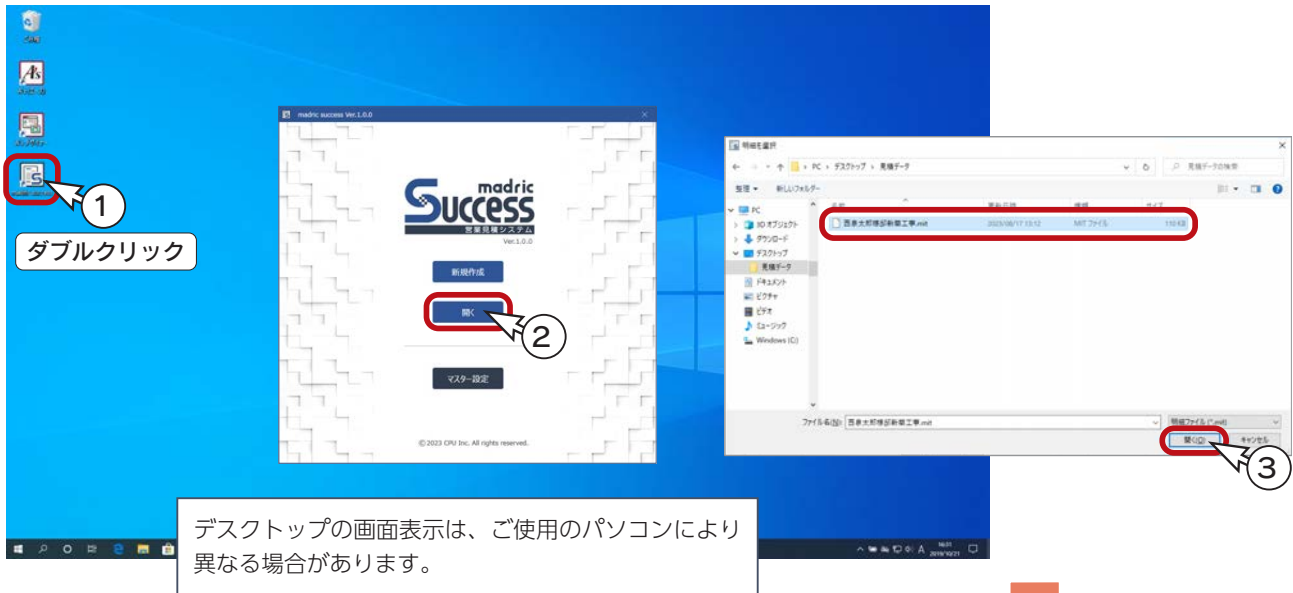
madric success で開く

エクスポートした見積データ (*.mlt) を madric success で開く場合は、以下のように操作します。

- ① デスクトップの  (madric success) をダブルクリック
 - * スタート画面が表示されます。
- ② 「開く」をクリック
 - * 明細を選択のダイアログが表示されます。
- ③ 見積データを選択し、「開く」をクリック
 - * madric success のメイン画面に、見積データが表示されます。

メイン画面から開くには

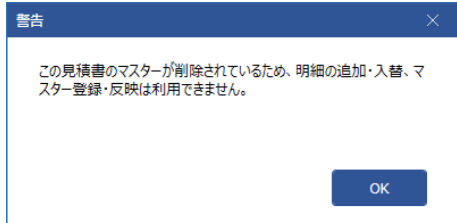
madric success のメイン画面で、「ファイル」⇒「スタート画面へ戻る」を選択してください。スタート画面が表示され、「開く」をクリックできます。




No	見積出力	属性	工事項目	現表	数量	単位	原単価	実行金額	比率	売単価	見積金額	粗利益	利益率	数量価格	テンプレート
1		料	仮設工事		1	式		883,334			1,060,001	176,667	16.67%		
2		料	基礎工事		1	式		1,167,260			1,402,712	235,452	16.79%		
3		料	木工事		1	式		5,205,576			6,347,310	1,141,734	17.99%		
4		料	屋根工事		1	式		340,770			405,836	65,066	16.03%		
5		料	外装工事		1	式		600,778			723,548	126,770	17.42%		
6		料	サッシ工事		1	式		937,400			1,124,880	187,480	16.67%		
7		料	木製建具工事		1	式		583,200			699,840	116,640	16.67%		
8		料	内装工事		1	式		335,436			402,796	67,360	16.72%		
9		料	雑工事		1	式		268,423			325,960	57,537	17.65%		
10		料	電気設備工事		1	式		551,500			670,300	118,800	17.72%		
11		料	衛生設備工事		1	式		960,000			1,152,000	192,000	16.67%		
12		料	住宅設備工事		1	式		850,000			1,020,000	170,000	16.67%		
本體工事合計							実行金額	12,683,677円	見積金額	15,339,183円	粗利率	17.31%	粗利益合計	2,655,506円	

！ マスターが異なる場合

保存済みの見積書は、見積書作成時のマスターとリンクしています。見積書を開いた際に、リンクしているマスターが存在しない場合は、警告が表示されます。明細の追加・入替、マスター登録・反映は利用できません。



PDF データのクラウド保存

madric success で保存した見積書の PDF データを、Madric Drive のコンテンツとしてアップロードします。アップロード方法は、基本的には見積データ (*.mlt) と同じです。以下の 2 つがあります。

- ・ A's から連携して起動した madric success で、PDF の保存先を「DATA」フォルダーとした場合、A's の保存終了時に、その他のコンテンツとともに、Madric Drive にアップロードする
- ・ Madric Drive のコンテンツ管理で、「インポート」により PDF データをアップロードするフォルダー、ファイルを指定してアップロードが可能

A's の保存終了時にアップロード

Madric Drive の既存プラン編集から A's を起動し、madric success にて PDF データを保存後、Madric Drive にアップロードするまでを、トレーニング形式で説明します。

■ Madric Drive の既存プラン読み込み



① 「Madric Drive」にて、既存プランの「作図」をクリック

- * この例では、「西泉 太郎」のプランから「トレーニング」を選択しています。
- * プラン起動の確認画面が表示されます。

② 「OK」をクリック

- * A's が起動し、物件概要が表示されます。

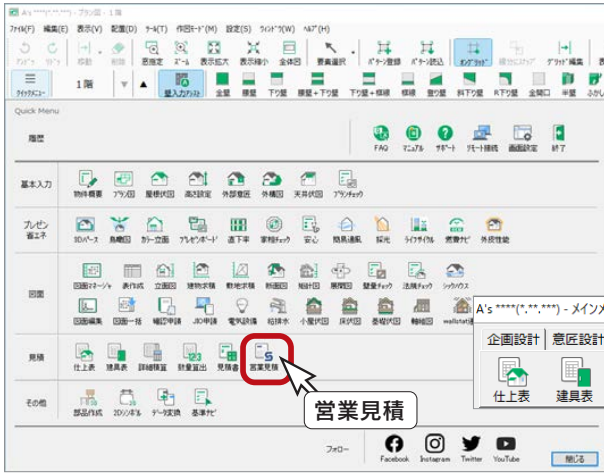



③ 「建具部材指定配置」についてメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上「OK」をクリック

④ 物件概要の「OK」をクリック

以後の操作は、プラン図、屋根伏図は、入力済みであることを前提に説明しています。

■ madric success の起動



クイックメニュー、またはメインメニューの  (営業見積) をクリックします。
*メインメニューでは「見積・積算」タブにあります。



madric success が起動し、見積書概要のダイアログが表示されます。
見積書概要を入力し、「見積作成」をクリックしてください。
見積書作成後、madric success のメイン画面が表示されます。


*見積書概要の詳細は、第 2 章「見積書概要」をご覧ください。



*見積書編集の詳細は、第 3 章「見積書作成」をご覧ください。

■ PDF 保存

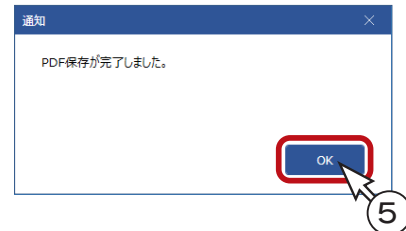
見積書を PDF データとして保存します。

- ①  (印刷) をクリック、または「出力」⇒「印刷」を選択
*印刷設定のダイアログが表示されます。
- ②印刷形式等を設定
- ③「PDF 保存」にチェック () を入れる
- ④「保存」をクリック
- ⑤処理後、「PDF 保存が完了しました。」と表示されるので、「OK」をクリック



— 保存先、ファイル名 —

保存先は、A's インストール先の「DATA」フォルダーです。
ファイル名は、見積書情報の見積名が入力されている場合は、「見積名+見積書+日時」になります。
見積名が入力されていない場合は、「見積書+日時」になります。



— プレビュー後に PDF 保存も可能 —

「PDF 保存」にチェックを入れない場合は、「保存」ボタンが「印刷」ボタンになります。
「印刷」をクリックすると、既定のブラウザに見積書がプレビューされます。
ブラウザの印刷で、送信先を「PDF に保存」に設定すると、保存先、ファイル名を指定して、PDF ファイルに保存することができます。




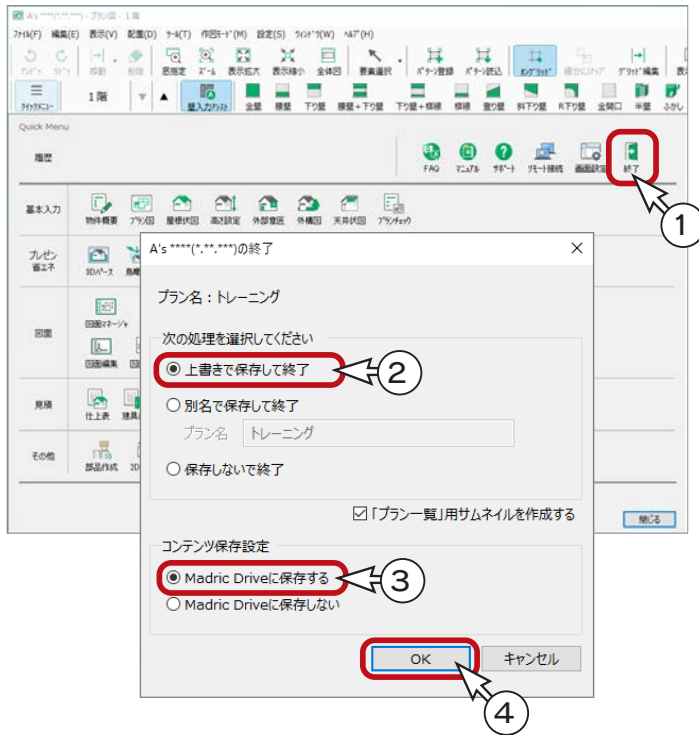
■ madric success の終了

PDF データ保存後は、madric success を終了してください。

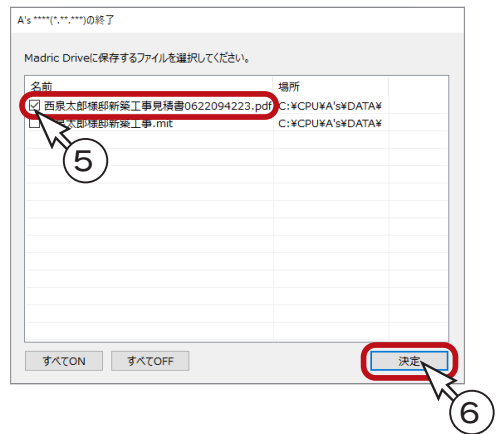
■ A's を保存して終了

madric success にて PDF データを保存後、A's を保存して終了します。

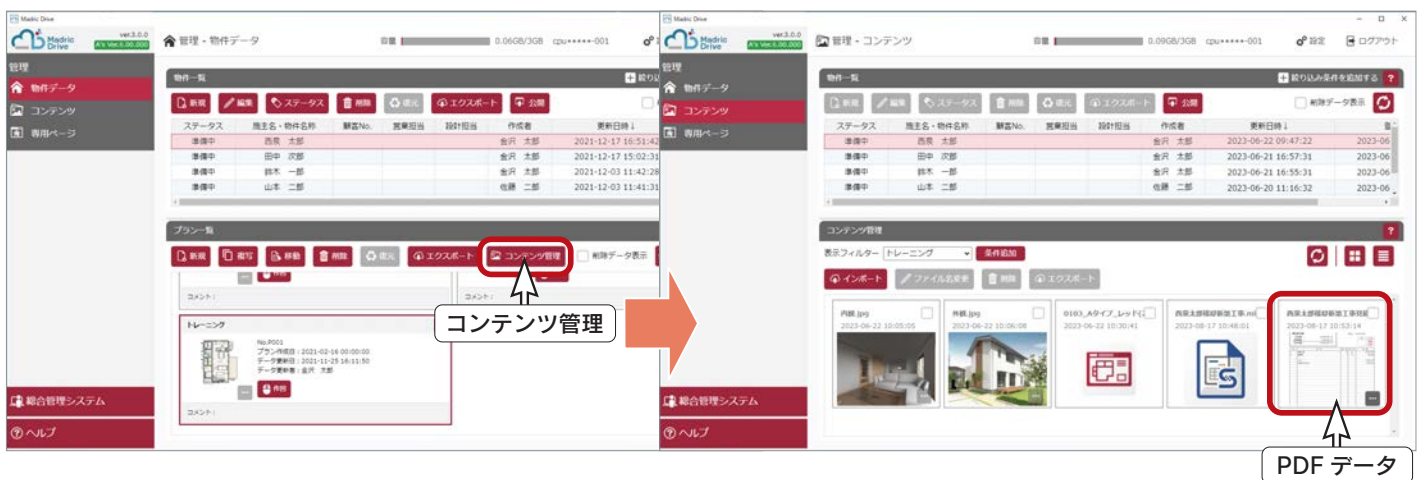
- ①クイックメニュー、またはメインメニューの  (終了) をクリック
* 終了の画面が表示されます。
- ②「上書きで保存して終了」が選択されていることを確認
- ③コンテンツ保存設定は、「Madric Drive に保存する」が選択されていることを確認
- ④「OK」をクリック
* ファイル選択の画面が表示されます。
- ⑤保存した PDF データにチェックが入っていることを確認
- ⑥「決定」をクリック




アップロード対象
A's インストール先の「DATA」フォルダーに保存された見積データ (*.mlt)、PDF データがアップロード対象になります。



- * 保存処理後、Madric Drive に戻ります。
- * 「コンテンツ管理」をクリックして確認すると、アップロードした PDF データが追加されています。

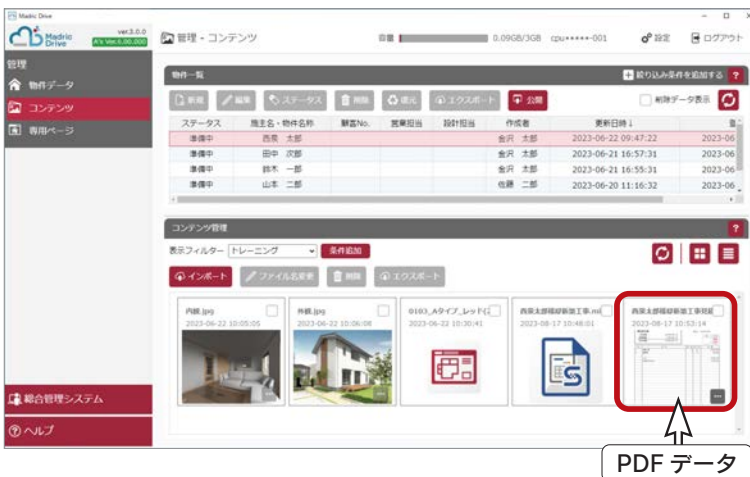
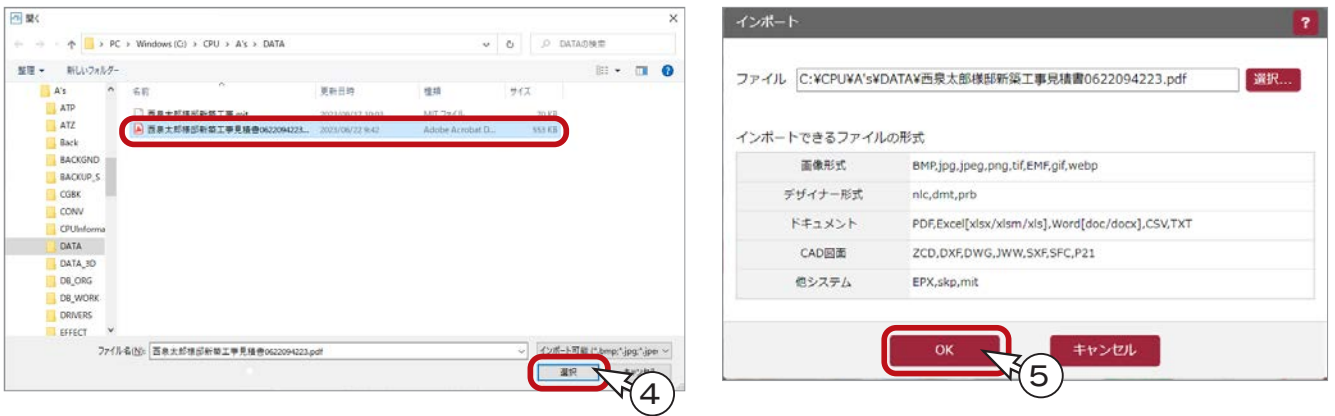


- * PDF データの  をクリックすると、ブラウザ上で PDF データを開いて、確認することができます。

Madric Drive でインポート

保存した PDF データを、Madric Drive でインポートします。
フォルダー、ファイルを指定してインポートすることができます。

- ① 「コンテンツ」を開き、物件一覧からインポート対象の施主名・物件名称を選択
- ② 「インポート」をクリック
 - * インポートのダイアログが表示されます。
 - * インポートできるファイルの形式が記載されていますので、ご確認ください。
- ③ 「選択」をクリック
- ④ フォルダー、ファイルを指定し、「選択」をクリック
 - * 以下の例では、「西泉太郎様邸新築工事見積書 0622094223.pdf」を選択しています。
- ⑤ インポートのダイアログに戻るので、「OK」をクリック
- ⑥ インポートが完了すると、メッセージが表示されるので、「閉じる」をクリック



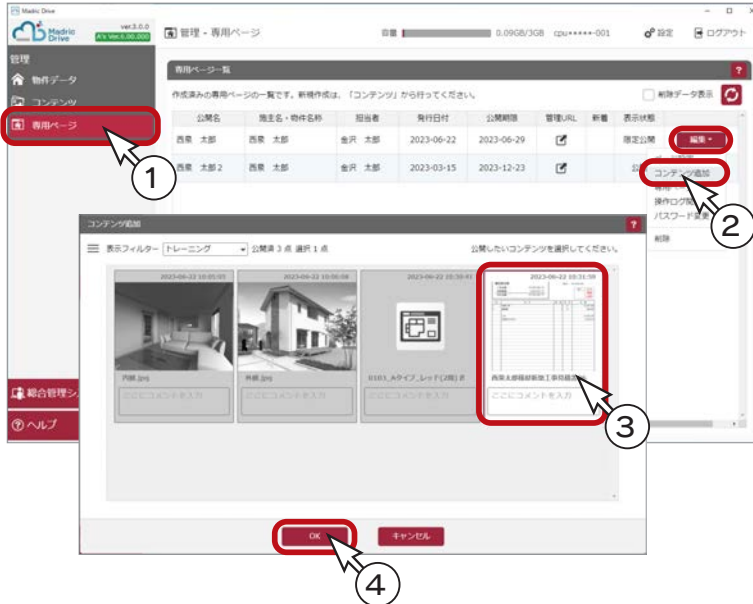
* コンテンツ一覧の最後尾に、インポートした PDF データが追加されています。

Madric Drive で公開

以後は、Madric Drive にて、専用ページにアップロードして公開します。
詳細につきましては、Madric Drive のマニュアル・ヘルプをご覧ください。

■ コンテンツ追加

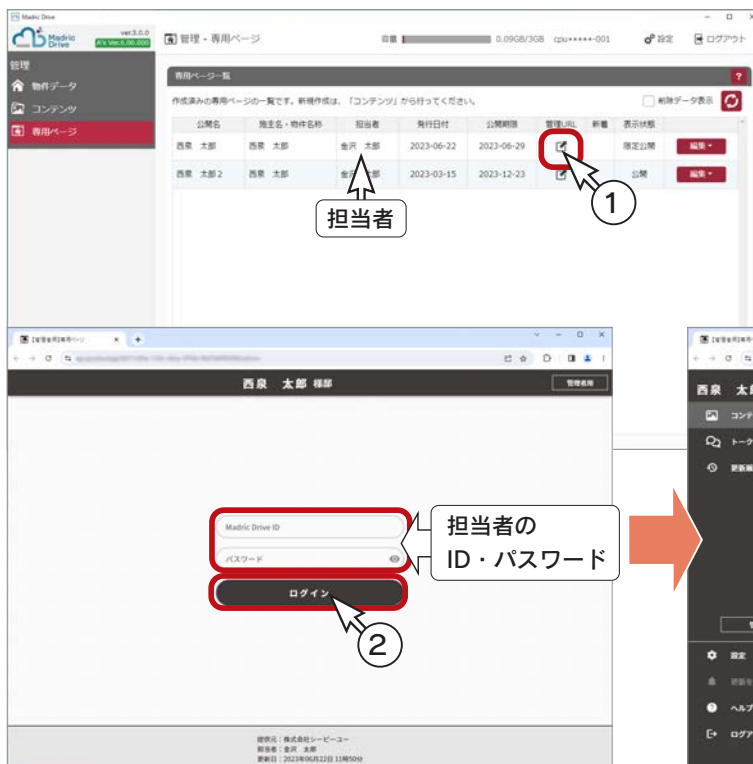
例えば、専用ページが既に作成されている場合は、コンテンツ追加を実行します。




- ① Madric Drive にて、「専用ページ」を表示
- ② コンテンツを追加する専用ページの「編集」をクリックし、「コンテンツ追加」を選択
- ③ PDF データをクリック
- ④ 「OK」をクリック

■【管理者用】専用ページ

コンテンツ追加後は、専用ページで表示することができます。専用ページには、【管理者用】と【お客様用】があります。
【管理者用】専用ページは、以下のように表示します。



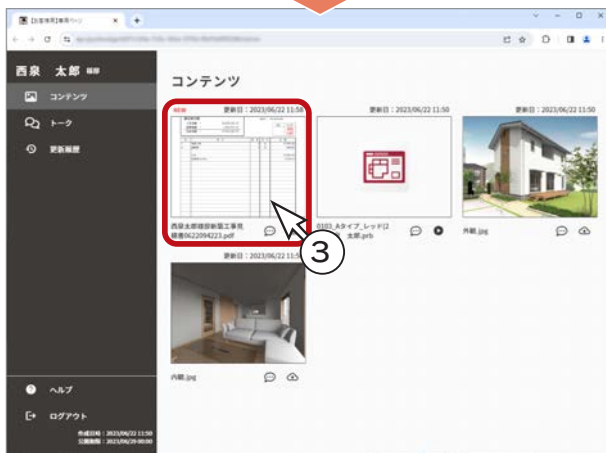
- ① コンテンツを追加した専用ページの  をクリック
* ログイン画面が表示されます。
- ② 担当者の ID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリック
* 【管理者用】専用ページが表示されます。
* ブラウザ上で PDF データを開いて、確認することができます。

■【お客様用】専用ページー PC 版

【お客様用】専用ページは、PC、タブレット、スマートフォンに適應しており、それぞれの端末に応じた表示になります。PCでは、メールを受信し、メール内の URL から【お客様用】専用ページを表示します。

- ①メールに表示されている URL をクリック
 - * パスワード無の場合は、すぐに【お客様用】専用ページが表示されます。
- ②パスワード有の場合は、パスワードを入力し、「ログイン」をクリック
 - * 【お客様用】専用ページが表示されます。

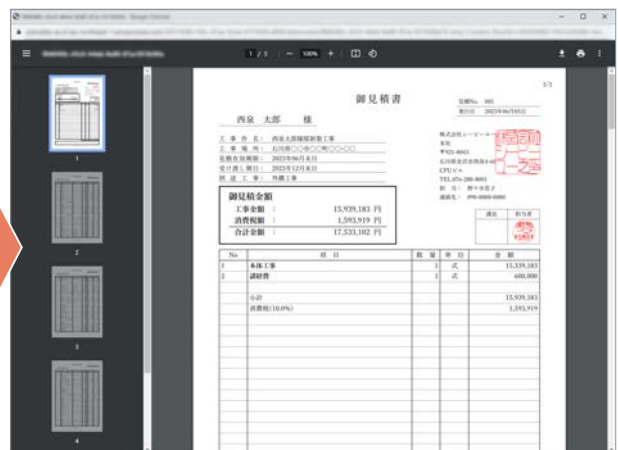
パスワード有の場合



メール受信の例



- ③ PDF データのサムネイルをクリック
 - * ダウンロードページになります。
- ④ PDF データのサムネイルをクリック
 - * 別ブラウザに PDF が表示され、スクロールしたり、ページを切り替えて確認できます。



■【お客様用】専用ページスマートフォン版

スマートフォンでは、メール（またはLINE）を受信し、メール（またはLINE）内の URL から【お客様用】専用ページを表示します。以下は、メール受信の例です。

- ①メールに表示されている URL をタップ
 - * パスワード無の場合は、すぐに【お客様用】専用ページが表示されます。
- ②パスワード有の場合は、パスワードを入力し、「ログイン」をタップ
 - * 【お客様用】専用ページが表示されます。
- ③ PDF データのサムネイルをタップ
 - * ダウンロードページになります。
- ④ PDF データのサムネイルをタップ
 - * PDF が表示され、スクロールして確認できます。



madric success 単独起動の場合

A's がインストールされていない環境で、madric success から Madric Drive 保存を利用する場合について説明します。

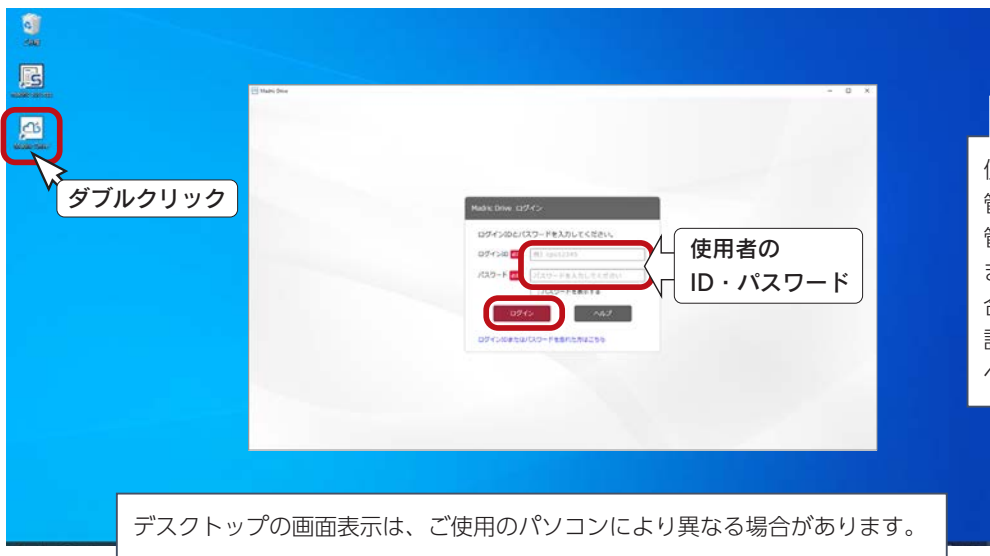
マスターの保存・管理について

マスターの保存・管理は、madric success 単独起動の場合も、A's 連携の場合と同じです。
「マスターの共有」 [\[P.102 ~ 104\]](#) をご覧ください。

Madric Drive の起動

デスクトップのショートカット  (Madric Drive) をダブルクリックします。

ログイン画面が表示されますので、使用者の ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックしてください。
Madric Drive の物件データ管理が起動します。



使用者の ID・パスワードとは
 使用者の ID・パスワードとは、総合管理システムで登録したものです。管理者の方にご確認ください。また、ご自身で確認・変更できる場合もあります。詳細は、Madric Drive のマニュアル・ヘルプをご覧ください。

デスクトップの画面表示は、ご使用のパソコンにより異なる場合があります。

新規物件の作成

Madric Drive では、物件ごとに見積書等のデータを保存します。

物件一覧の「新規」をクリックすると、物件情報が表示されますので、物件情報を入力します。

「施主名・物件名称」は必須項目なので、以下の例では「田中 三郎」と入力しています。

「登録」をクリックすると、物件一覧に「田中 三郎」が表示されます。

「田中 三郎」様邸の見積書等のデータを保存できる領域ができました。



コンテンツのインポート

新規作成した物件のコンテンツに、madric success で保存した見積データ (*.mlt)、PDF データをインポートします。インポートの操作は、A's 連携の場合と同じです。(⇒ [\[P.109\]](#) 参照)
以下は、見積データ (*.mlt)、PDF データをインポートした例です。



見積データのエクスポート

コンテンツにインポートした見積データ (*.mlt) は、エクスポートすることで、madric success で読み込むことができます。エクスポートの操作は、A's 連携の場合と同じです。(⇒ [\[P.110\]](#) 参照)

PDF データの公開

コンテンツにインポートした PDF データは、専用ページにアップロードして公開することができます。公開の操作は、A's 連携の場合と同じです。(⇒ [\[P.117 ~\]](#) 参照)

- 1) 本書の内容の一部、または全部を株式会社シーピーユーの書面による許可なく複製、送信すること、及び他の言語に翻訳することを禁じます。
- 2) 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 3) 本書は予告なく変更することがあります。
- 4) 本書とプログラムの動作が異なる場合は、プログラムが優先します。
- 5) 表記上の固有商品は各社の商標または登録商標です。

madric success マニュアル

2023年8月29日 第1版発行

発行所 株式会社シーピーユー
〒921-8043 金沢市西泉4-60
[大代表] TEL (076) 241-0001
FAX (076) 241-0002
